Nikon

ニコンデジタルカメラ

COOLPIX S200

クールピクス S200

使用説明書



Jp

この使用説明書では、以下のような方法で、知りたいことを簡単に探し出すことができます。

目次 から → 📖vi ～x

撮影、再生、メニューなど、項目別に探すことができます。

目的別かんたん検索 から → 📖xi ～ xii

使いたい機能や知りたい機能を、かんたんに探すことができます。
機能名がわからなくても大丈夫です。

索引 から → 📖133 ～ 135

さまざまな項目が五十音順に一覧にまとめられているので、
機能名や用語がわかっているときに便利です。

警告メッセージ から → 📖120 ～ 123

液晶モニターに表示されている警告メッセージから、
今のカメラの状態を知ることができます。

故障かな？と思ったら から → 📖124 ～ 128

カメラの動作がおかしいときに、原因を調べるのに役立ちます。

ヘルプ機能について

このカメラにはヘルプ機能が付いています。メニュー操作時などに、液晶モニターでその項目の意味などを調べることができます。詳しくは P.11 をご覧ください。

商標説明

- Microsoft®およびWindows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh®、Mac OS®、QuickTime® は米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Adobe および Adobe Acrobat は Adobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SD ロゴおよび PictBridge ロゴは商標です。
- D- ライティングは apical アピカル社の技術によるものです。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

はじめに

撮影の準備

簡単な撮影と再生
ー オート撮影モードで撮影する

高感度モードで撮影する

シーンモードで撮影する

ブレ軽減モードで撮影する

フェイスクリアーモードで撮影する

再生機能を使いこなす

動画を撮影する / 再生する

音声レコード機能を使う

テレビやパソコン、プリンターに
接続する

MENU 撮影、再生、
セットアップメニューを使う

付録

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。

この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は次のようになっています。

危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

△ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告（カメラについて）

分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池、電源を抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
電池を取る すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。

使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉じんの発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。
発光禁止	**車の運転者等にむけてフラッシュを発光しないこと** 事故の原因となります。
発光禁止	**フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと** 視力障害の原因となります。 特に乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。
保管注意	**幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだときは、直ちに医師にご相談ください。
警告	**指定の電池または専用 AC アダプターを使用すること** 指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。
使用禁止	**AC アダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠ 注意（カメラについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
保管注意	**製品は、幼児の手の届かない所に置くこと** ケガの原因になることがあります。
保管注意	**使用しないときは、電源を OFF にしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること** 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
移動注意	**三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと** 転倒したりぶつけたりして、ケガの原因になることがあります。
使用注意	**飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従うこと** 本機器が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与えるおそれがあります。病院で使う際も、病院の指示に従ってください。
電池を取る プラグを抜く	**長期間使用しないときは、電源（電池や AC アダプター）を外すこと** 電池の液漏れにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。 AC アダプターをご使用の際には、AC アダプターを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
発光禁止	**内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと** やけどや発火の原因となることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。
放置禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと** 内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
禁止	**付属の CD-ROM を音楽用 CD プレーヤーで使用しないこと** 機器に損傷を与えたり大きな音がして、聴力に悪影響を及ぼすことがあります。

⚠ 危険（専用 Li-ion リチャージャブルバッテリーについて）

禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	**電池をショート、分解しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**専用の充電器を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
使用禁止	**Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL10 は、ニコンデジタルカメラ専用の充電池で、COOLPIX S200 に対応しています。EN-EL10 に対応していない機器には使用しないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
危険	**ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないこと** ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。 持ち運ぶときは付属のバッテリーケースに入れてください。
危険	**電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠ 警告（専用 Li-ion リチャージャブルバッテリーについて）

保管注意	**電池は幼児の手の届かない所に置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだときは、直ちに医師にご相談ください。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
使用禁止	**変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電をやめること** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービスセンターまたはリサイクル協力店にご持参いただくか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。
警告	**電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠ 注意（専用 Li-ion リチャージャブルバッテリーについて）

注意	**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となることがあります。

⚠ 警告（バッテリーチャージャーについて）

分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出した時は、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはニコンサービスセンターに修理を依頼してください。
使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
プラグを抜く すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電源プラグを抜く際、やけどに充分注意してください。 ご購入店またはニコンサービスセンターに修理を依頼してください。
使用禁止	**雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
警告	**電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布で拭き取ること** そのまま使用すると、火災の原因になります。
感電注意	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと** 感電の原因となることがあります。
禁止	**電源コードを傷つけたり、加工したりしないこと** **また、重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、むりに曲げたりしないこと** 電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。

⚠ 注意（バッテリーチャージャーについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
放置禁止	**製品は、幼児の手の届く所に置かないこと** ケガの原因になることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもり製品が変形し、火災の原因となることがあります。

目 次

安全上のご注意 ii
目的別かんたん検索 xi

はじめに 1
使用説明書について 1
ご確認ください 2
各部の名称 4
ストラップの取り付け方 4
液晶モニターの表示内容 6
撮影時 6
再生時 7
主なボタン操作とヘルプの使い方 8
▶（撮影 / 再生切り換え）ボタン 8
MODE（モード）ボタン 8
MENU（メニュー）ボタン 9
電源を ON/OFF するには 11
ヘルプの表示方法 11

撮影の準備 12
バッテリーを充電する 12
バッテリーを入れる 14
バッテリーを取り出すときは 15
表示言語と日時を設定する 16
SD カードを入れる 18
SD カードを取り出すときは 19

簡単な撮影と再生ー（オート撮影）モードで撮影する............... 20

ステップ 1 電源を ON にして（オート撮影）を選ぶ............................. 20

ステップ 2 カメラを構え、構図を決める... 22

ステップ 3 ピントを合わせてシャッターボタンを押す............................ 24

ステップ 4 撮影した画像を確認する / 削除する..................................... 26

フラッシュを使う.. 28

セルフタイマーを使う.. 30

マクロ（接写）モードを使う.. 31

露出を補正する.. 32

高感度モードで撮影する 33

シーンモードで撮影する.. 34

シーンモードの種類と特徴.. 35

［パノラマアシスト］を使った撮影方法... 40

ブレ軽減モードで撮影する 42

フェイスクリアーモードで撮影する....................................... 43

フェイスクリアーメニュー... 44

再生機能を使いこなす.. 45

複数の画像を一覧表示する（サムネイル表示モード）........................ 45

画像を拡大する.. 46

画像を編集する.. 47

画像の暗い部分を明るく補正する（D- ライティング）........................ 48

画像の手ブレを補正する（電子式手ブレ補正）.................................. 49

画像の一部を切り抜く（トリミング）.. 50

小さいサイズの画像を作成する（スモールピクチャー）...................... 51

画像に音声メモを付ける... 52

特定の日付の画像を選ぶ... 54

カレンダーモードで日付を選ぶ... 54

撮影日一覧モードで日付を選ぶ... 55

カレンダー / 撮影日一覧メニュー.. 57

動画を撮影する / 再生する 58
動画を撮影する..................58
動画メニュー..................59
動画設定..................60
電子式手ブレ補正..................61
AF-MODE..................61
微速度撮影をする..................62
ストップモーション撮影をする..................63
動画を再生する..................64
動画ファイルを削除する..................64

音声レコード機能を使う..................65
音声を録音する..................65
音声を再生する..................67
音声データをコピーする..................69

テレビやパソコン、プリンターに接続する..................70
テレビに接続する..................70
パソコンに接続する..................71
カメラとパソコンを接続する前に..................71
USB 通信方式の設定方法..................72
カメラからパソコンに画像を転送する..................73
プリンターに接続する..................75
カメラとプリンターを接続する..................76
1 コマだけプリントする..................77
複数の画像をプリントする..................79
SD カードにプリントする画像や枚数を設定する（プリント指定）......81

MENU 撮影、再生、セットアップメニューを使う 83

撮影に関する設定—撮影メニュー 83

撮影メニュー / 高感度メニューの表示方法 84
画像モード 84
WB ホワイトバランス 86
連写 88
BSS BSS 90
ISO ISO 感度設定 91
ピクチャーカラー 91
eVR 電子式手ブレ補正 92
同時に設定できる機能の制限 93

再生に関する設定—再生メニュー 94

再生メニューの表示方法 94
D- ライティング 48
プリント指定 81
スライドショー 96
削除 97
プロテクト設定 98
転送マーク設定 98
スモールピクチャー 51
音声メモ 52
画像コピー 99

カメラに関する基本設定—セットアップメニュー 100

セットアップメニューの表示方法 101
MENU メニュー切り換え 101
高速起動 102
オープニング画面 102
日時設定 103
モニター設定 106
DATE デート写し込み 107
操作音 109
オートパワーオフ 109
IN/ メモリー / カードの初期化 110

言語/LANGUAGE 111
インターフェース 111
設定クリアー 112
Ver. バージョン情報 113

付録 114
別売アクセサリー 114
推奨 SD カード一覧 114
記録データのファイル名とフォルダ名 115
カメラのお手入れ方法 116
クリーニングについて 116
保管について 116
取り扱い上のご注意 117
カメラについて 117
バッテリーについて 118
警告メッセージ 120
故障かな？と思ったら 124
主な仕様 129
このカメラの準拠規格 132
索引 133
アフターサービスについて 136

目的別かんたん検索

使いたい機能や知りたい機能から、説明が記載されているページをかんたんに調べることができます。

カメラの○○について知りたい

使いたい機能・知りたい機能	キーワード	
液晶モニターの表示の意味を知りたい	液晶モニター	6 ～ 7
液晶モニターの警告表示の意味を知りたい	警告メッセージ	120 ～ 123
メニューの操作方法がわからない	メニューの操作方法	9
メニューの意味を知りたい	ヘルプ機能	11
バッテリーの残量を確認したい	バッテリー残量の表示	20
どんなアクセサリーが使えるの？	別売アクセサリー	114
SD カードを買いたい	推奨 SD カード	114
カメラを点検や修理に出したい	アフターサービスについて	136
カメラを掃除したい	カメラのお手入れ方法	116

カメラの設定を○○したい

使いたい機能・知りたい機能	キーワード	
液晶モニターがすぐに消えないようにしたい	オートパワーオフ	109
液晶モニターの明るさを調整したい	画面の明るさ	106
内蔵時計の時刻を合わせ直したい	日時設定	16、103
海外に行くので、内蔵時計を現地時刻に合わせたい	時差のある地域で使うには	103
最初の設定に戻したい	設定クリアー、初期設定一覧	112
メニューに表示される言語を変えたい	言語 /Language	111
メニューの見え方を変えたい	メニュー切り換え	101
カメラを操作するときやシャッターをきるときに鳴る電子音を出さないようにしたい	操作音	109

撮影するときに○○したい

使いたい機能・知りたい機能	キーワード	📖
とにかく簡単に撮影したい	オート撮影モード	20
撮影シーンに合わせて簡単に撮影したい	シーンモード	34
望遠側で手ブレを気にしないで写真を撮りたい	ブレ軽減モード	42
薄暗いところでも手ブレを気にしないで写真を撮りたい	高感度モード	33
自動的に人の顔にピントを合わせて撮影したい	フェイスクリアーモード	43
動画を撮影したい	動画モード	58
内蔵フラッシュを使いたい	フラッシュモード	28
セルフタイマーを使いたい	セルフタイマー	30
草花や昆虫など小さなものを接写したい	マクロモード、 クローズアップモード	31、38
画像を明るく、または暗くしたい	露出補正	32
大きくプリントするための画像を撮影したい	画質モード	84
撮影できるコマ数を増やしたい	画質モード	84

撮影した画像で○○したい

使いたい機能・知りたい機能	キーワード	📖
撮影した画像をカメラで見たい	画像をカメラで再生する	26、45
いらない画像を 1 コマずつ消したい	画像を削除する	26、97
いらない画像をまとめて消したい	削除	97
画像を拡大して、ピントの具合を確認したい	拡大表示	27、46
大切な画像なので、誤って削除しないようにしたい	プロテクト設定	98
暗くなってしまった部分を明るく修正したい	D- ライティング	48
ブレてしまった画像を補正したい	電子式手ブレ補正	49
画像の一部を切り抜きたい	トリミング	50
撮影した画像のサイズを小さくしたい	スモールピクチャー	51
撮影日で検索したい	カレンダーモード、 撮影日一覧モード	54、55
画像をテレビで見たい	テレビに接続する	70
画像をパソコンに転送したい	パソコンに接続する	71
プリンターに直接カメラをつないで印刷したい	プリンターに接続する	75
画像に日付を入れて印刷したい	日付プリント	107
プリントサービス店にプリントを依頼したい	プリント指定	75、81

はじめに

使用説明書について

ニコンデジタルカメラ COOLPIX S200 をお買い上げくださいまして、まことにありがとうございます。

お使いになる前に、この使用説明書をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

●本文中のマークについて

カメラの故障を防ぐために、使用前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。

カメラを使用する場合に、便利な情報を記載しています。

カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。

関連情報を記載した参照ページを記載しています。

●表記について

- SD メモリーカードを「SD カード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。

●本文中のイラストについて

本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入 1 年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

●カスタマー登録

下記のホームページからカスタマー登録が行えます。

https://reg.nikon-image.com/

付属の「登録のご案内」に記載されている登録コードをご用意ください。

●カスタマーサポート

下記のホームページでサポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/index.htm

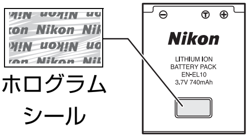
●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してお使いいただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、AC アダプターなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- Li-ion リチャージャブルバッテリーEN-EL10 には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品の Li-ion リチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が出せないことや、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。



- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故や故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●使用説明書について

- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、下記のホームページから使用説明書の PDF ファイルをダウンロードすることができます。

  http://www.nikon-image.com/jpn/support/manual/

  ニコンサービスセンターで新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限していることがありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡 / 廃棄するときのご注意

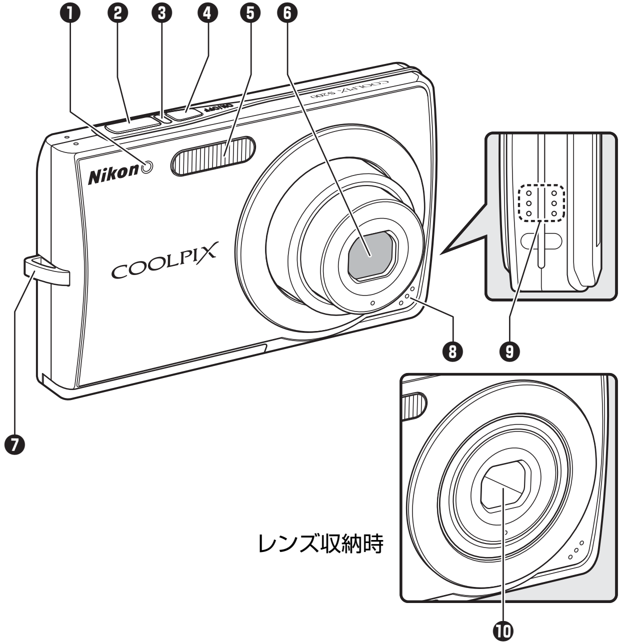
メモリー（SD カード / カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には消去されません。譲渡 / 廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーを譲渡 / 廃棄する際は、市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、［**オープニング画面**］の［**撮影した画像**］（102）も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡 / 廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄する場合は、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

●ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、ラジオやテレビの近くでお使いになると、受信障害を引き起こすことがあります。
使用説明書にしたがって正しくお取り扱いください。

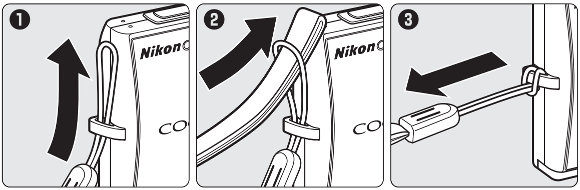
各部の名称



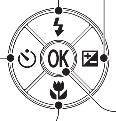
1	セルフタイマーランプ...30、118	6	レンズ...116、129
2	シャッターボタン...24	7	ストラップ取り付け部
3	電源ランプ ...20、109	8	マイク...52、58、65
4	電源スイッチ...11、20	9	スピーカー...53、64、67
5	内蔵フラッシュ...28	10	レンズバリアー

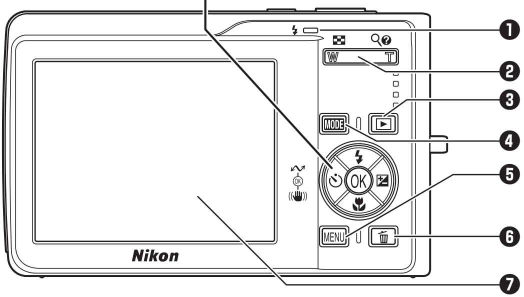
ストラップの取り付け方

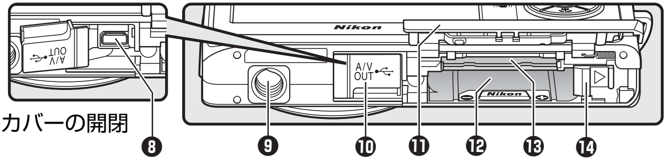
図のように付属のストラップを取り付けます。



マルチセレクター（🔍9）







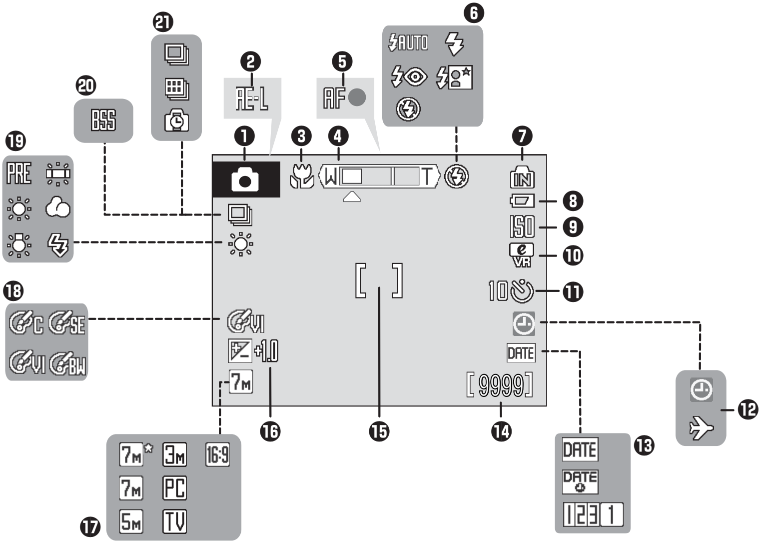
端子カバーの開閉

1	フラッシュランプ......................29
2	ズームボタン.............................23 • W：広角ズーム.................. 23 • T：望遠ズーム ....23 • ⊞：サムネイル表示 ....45 • 🔍：拡大 ....46 • ❓：ヘルプ 11
3	▶（撮影 / 再生切り換え）ボタン ....8、26
4	MODE（モード）ボタン...................8
5	MENU（メニュー）ボタン ....9、84、94
6	🗑（削除）ボタン .... 26、53、64、68
7	液晶モニター ....6、7、106
8	ケーブル接続端子 ....70、73、76
9	三脚ネジ穴
10	端子カバー / パワーコネクターカバー（別売の AC アダプター接続時に使用）......................... 114
11	バッテリー /SD カードカバー 14, 18
12	バッテリー室 14
13	SD カードスロット 18
14	バッテリーロックレバー .....14、15

液晶モニターの表示内容

説明のために、すべての表示を点灯させています。

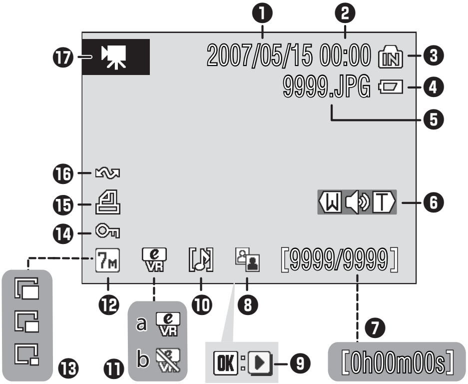
撮影時



1	撮影モード※ ......20、33、34、42、43、58	12	時計マーク .... 120 ワールドタイム 103
2	AE-L 表示....................................41	13	デート写し込み 107
3	マクロモード...............................31	14	記録可能コマ数（静止画）.....20、85 記録可能時間（動画）........ 58、60
4	ズーム表示 .... 23、31	15	AF エリア 24
5	AF 表示......................................24	16	露出補正値................................. 32
6	フラッシュモード........................28	17	画像モード................................. 84
7	内蔵メモリー表示........................21	18	ピクチャーカラー 91
8	バッテリー残量...........................20	19	ホワイトバランス 86
9	ISO 感度表示 .... 29、91	20	BSS... 90
10	電子式手ブレ補正表示...... 28、92	21	連写モード................................. 88
11	セルフタイマー...........................30		

※ 撮影モードによって表示されるアイコンが異なります。各撮影モードを参照してください。

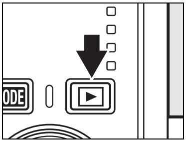
再生時



1	撮影日 16
2	撮影時刻 16
3	内蔵メモリー表示........................26
4	バッテリー残量............................20
5	ファイル名 115
6	音量 53, 64
7	画像の番号 / 全画像数................26 動画の再生時間............................64
8	D- ライティング済み表示...........48
9	動画再生ガイド............................64
10	音声メモ表示 53
11	a 手ブレ補正済み表示 .... 49 b 手ブレ補正不可ガイド .....49、92
12	画像モード 84
13	スモールピクチャー.................... 51
14	プロテクト表示 98
15	プリント指定表示 81
16	転送マーク .... 74、98
17	動画モード 64

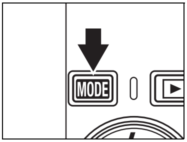
主なボタン操作とヘルプの使い方

▶（撮影 / 再生切り換え）ボタン



- 撮影時（撮影モード）に ▶ ボタンを押すと、撮影した画像を再生します（☞26）。画像を再生時（再生モード）に押すと、撮影モードに切り換わります。画像を再生時にシャッターボタンを押しても撮影モードに切り換わります。
- 電源がOFFの状態で▶ボタンを押し続けると、再生モード（☞27）で電源が ON になります。

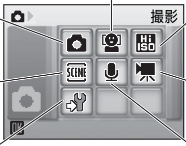
MODE（モード）ボタン



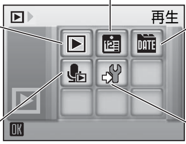
撮影時に MODE ボタンを押すと、撮影モードメニューが表示され、再生時に押すと、再生モードメニューが表示されます。撮影 / 再生モードメニューの各モードを選ぶには、マルチセレクターを使います。各モードのアイコンを選び、OK ボタンを押すと選んだモードになります。

- ▶ ボタンを押して、撮影モードメニューと再生モードメニューを切り換えることができます。

撮影モードメニュー

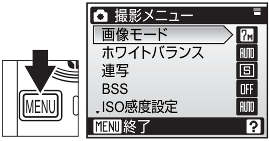


再生モードメニュー



MENU（メニュー）ボタン

MENU ボタンを押すと、選んでいるモードに応じてメニューが表示されます。



メニュー名	
撮影メニュー	83
高感度メニュー	83
シーンメニュー	34
フェイスクリアーメニュー	44
動画メニュー	59

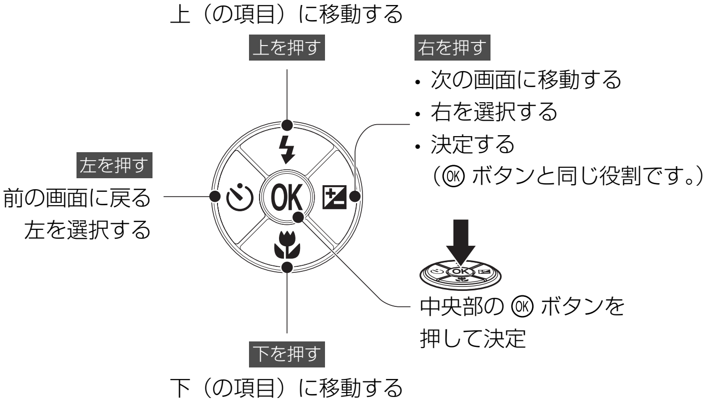
メニュー名	
再生メニュー	94
カレンダーメニュー	57
撮影日一覧メニュー	57
プリントメニュー	79

※セットアップメニューは、撮影モードメニュー / 再生モードメニューから を選ぶと表示されます（8、100）。

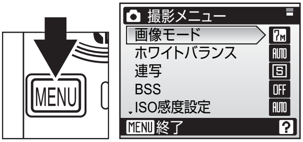
メニュー項目の設定

メニューの操作にはマルチセレクターを使用します。

マルチセレクターの使い方

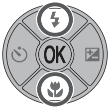


メニュー項目の設定方法



MENU ボタンを押して、
メニューを表示します。

マルチセレクターの上または下
を押して、セットしたい
メニュー項目を選びます。

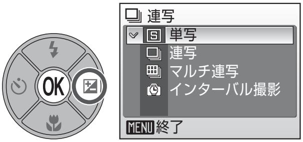


メニュー画面が 2 ページ以上ある場合は、マルチセレクターの上または下を押して画面を切り換えることができます。

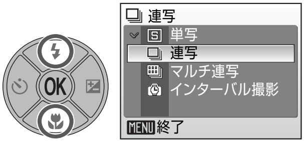
メニュー画面が2ページ以上あるとき



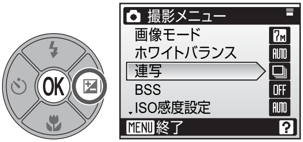
下にもメニュー項目があるとき



OK ボタン、または
マルチセレクターの右を
押すと、選択したメニューの
設定画面が表示されます。



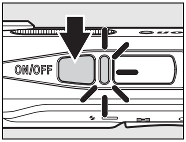
上または下を押して、
設定する内容を選びます。



OK ボタン、または
マルチセレクターの右を
押すと、設定が有効になり、
各メニュー画面に戻ります。

- メニュー項目にさらに設定画面がある場合は、右または OK ボタンを押すと表示されます。マルチセレクターの上または下を押して、設定したいメニュー項目を選択してください。
- 1 つ前のメニュー画面に戻るには、マルチセレクターの左を押します。
- メニューを終了するには、MENU ボタンを押します。

電源を ON/OFF するには

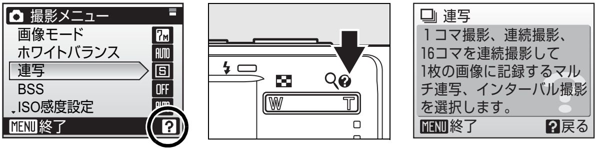


電源スイッチを押すと、電源ランプと液晶モニターが点灯します。電源ランプ（緑）が点灯しているときに、電源スイッチを押すと、電源は OFF になります。

電源が OFF の状態で ▶ ボタンを押し続けると、1 コマ再生モードで電源が ON になります（26）。

ヘルプの表示方法

? が右下に表示されるメニュー画面で ?（T）ボタンを押すと、選択中の項目に関するヘルプ（簡単な説明）が表示されます。



- 元のメニュー画面に戻るには、もう一度 ?（T）ボタンを押します。
- MENU ボタンを押すと、撮影または再生に戻ります。

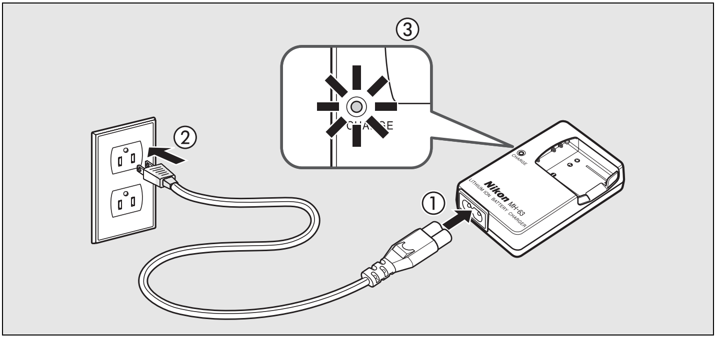
撮影の準備

バッテリーを充電する

ご購入直後や、付属の Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL10（リチウムイオン充電池）の残量が少なくなったときは、付属のバッテリーチャージャー MH-63（充電器）でバッテリーを充電してください。

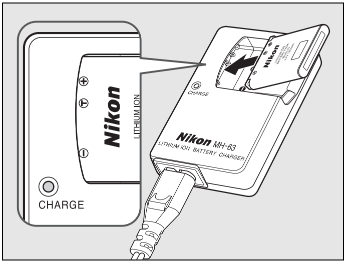
1 バッテリーチャージャーの電源コードを接続する

- 電源コードの AC プラグを AC プラグ差し込み口に（①）、電源プラグをコンセントに差し込みます（②）。
CHARGE ランプが点灯して、通電中であることをお知らせします（③）。

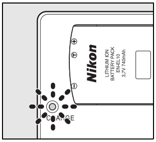


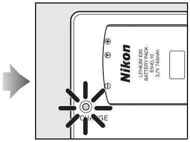
2 リチャージャブルバッテリーを充電する

- リチャージャブルバッテリーをバッテリーチャージャーにセットします。



- CHARGE ランプが点滅し、充電が始まります。CHARGE ランプが点灯したら、充電完了です。
- 残量がないバッテリーの場合、充電時間は、約 100 分です。





CHARGE ランプの状態と意味は次のとおりです。

CHARGE ランプ	意味
点滅	バッテリーは充電中です。
点灯	バッテリーの充電が完了しました。
速い点滅	• 使用可能な温度ではありません。 室温（5 ℃～ 35 ℃）で充電してください。 • バッテリーの異常です。ただちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。バッテリーおよびバッテリーチャージャーはご購入店やニコンサービスセンターにお持ちください。

3 充電が完了したら、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外し、電源プラグをコンセントから抜く

✔ バッテリーチャージャーについてのご注意

- 付属のバッテリーチャージャーMH-63は、ニコンLi-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL10以外には使用できません。
- バッテリーチャージャーを使用する際には、必ず「安全上のご注意」の「警告」、「注意」（v）の注意事項をお守りください。
- カメラに付属の電源コードは、MH-63以外の機器に接続しないでください。この電源コードは、日本国内専用（AC100V 対応）です。日本国外でお使いになる場合は、別売の専用コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービスセンターにお問い合わせください。また、オンラインショップ（ニコンダイレクト）http://shop.nikon-image.com/ でもお求めいただけます。

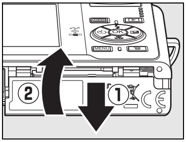
✔ バッテリーについてのご注意

- リチャージャブルバッテリーをお使いになるときは、必ず「安全上のご注意」の「危険」、「警告」、「注意」（iv）の注意事項をお守りください。
- 「取り扱い上のご注意　バッテリーについて」（118）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。

バッテリーを入れる

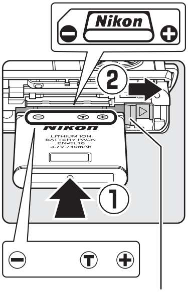
付属のバッテリーチャージャーMH-63で充電したLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL10 をカメラに入れます。

1 バッテリー/SD カードカバーを開ける



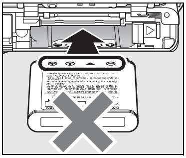
2 バッテリーを入れる

- バッテリー室内の表示を見ながら、+とーを正しい向きで入れてください。
- オレンジ色のバッテリーロックレバーをバッテリー側面で押しながら（①）、バッテリーを差し込んでください（②）。奥まで差し込むと、バッテリーロックレバーが戻り、バッテリーが固定されます。

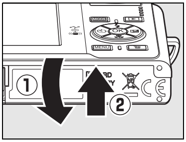


☑ 逆挿入注意

バッテリーの向きを間違えると、カメラが破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

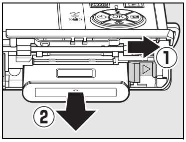


3 バッテリー /SD カードカバーを閉じる



バッテリーを取り出すときは

電源ランプが消灯していることを確認してから、バッテリー/SD カードカバーを開けてください。オレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押すと（①）、バッテリーが押し出されるので、まっすぐに引き抜いてください（②）。



- カメラを使った直後は、バッテリーが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

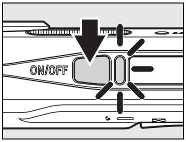
AC 電源について

別売の ACアダプター EH-62D をお使いになると、家庭用コンセント（AC100V）から COOLPIX S200 へ電源を供給できます。EH-62D 以外の ACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。ACアダプター EH-62D の使用方法については、ACアダプターの使用説明書および「AC アダプター EH-62D の取り付け方」（114）をご覧ください。

表示言語と日時を設定する

ご購入後はじめて電源を ON にすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

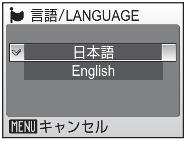
1 電源スイッチを押して、電源を ON にする



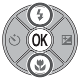
- 電源ランプと液晶モニターが点灯します。

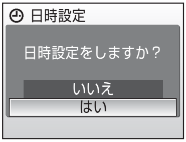
2 マルチセレクターで表示言語を選び、OK ボタンを押す





3 ［はい］を選び、OK ボタンを押す

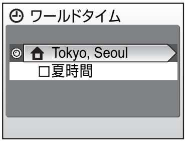




- 日時設定を中止するときは［いいえ］を選びます。

4 OK ボタンを押す





- ［**自宅の設定**］画面が表示されます。

夏時間を設定するには

夏時間（サマータイム）が現在実施されているときは、［**ワールドタイム**］画面で［**夏時間**］のチェックボックスをオン（✔）にしてから、現在の日時を設定します。

① マルチセレクターの OK ボタンを押す前に、**下** を押して［**夏時間**］を選ぶ

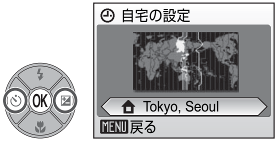
② OK ボタンを押して、チェックボックスをオン［✔］にする
　もう一度 OK ボタンを押すとチェックボックスをオフにできます。

③ **上** を押してから OK ボタンを押し、ステップ 5 に進む

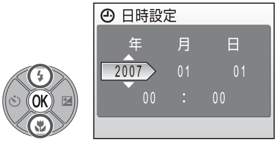
夏時間の期間が終了したときは、［**日時設定**］（103）で［**夏時間**］のチェックボックスをオフにしてください。カメラの時刻が 1 時間戻ります。

5 自宅のあるタイムゾーン（都市名）（🔖105）を選び、Ⓚ ボタンを押す

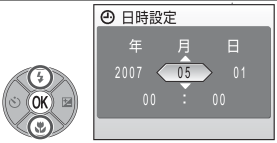
- ［**日時設定**］画面が表示されます。



6［年］を合わせ、Ⓚ ボタンを押す

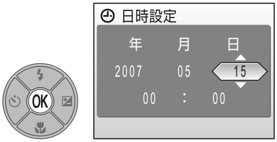


7［月］を合わせ、Ⓚ ボタンを押す



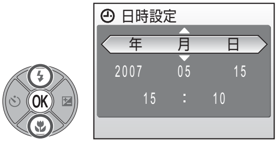
8 ステップ 6、7 と同様の手順で［日］と分単位まで時刻を合わせて、Ⓚ ボタンを押す

- ［**年月日**］が点滅します。



9［年月日］の表示順を選び、Ⓚ ボタンを押す

- 設定が有効になり、撮影モードの画面が表示されます。

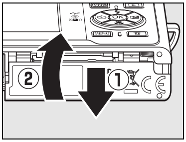


SD カードを入れる

撮影した画像は、カメラの内蔵メモリー（約 20MB）、または市販の SD カード（114）のどちらかに記録することができます。

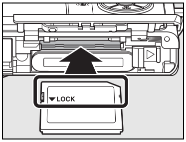
カメラに SD カードを入れると、SD カードに記録されます。SD カードが入っているときは、SD カードの画像を再生、削除、または転送ができます。内蔵メモリーを使いたいときは、SD カードを取り出してください。

1 電源ランプが消灯していることを確認してから、バッテリー /SD カードカバーを開ける



- 点灯している場合は、電源スイッチを押して、電源を OFF にしてください。
- SD カードを抜き差しするときは、必ず電源を OFF にしてください。

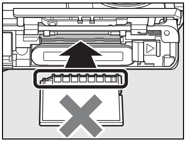
2 SD カードを入れる



- 右図のように正しい向きで、カチッと音がするまで差し込んでください。
- 挿入後、バッテリー /SD カードカバーを閉めてください。

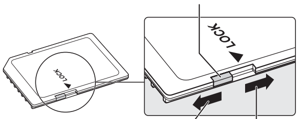
逆挿入注意

SD カードの向きを間違えると、カメラや SD カードが破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。



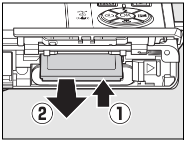
SD カードの書き込み禁止スイッチについてのご注意

SD カードには、書き込み禁止スイッチが付いています。このスイッチを「Lock」の位置にすると、データの書き込みや削除が禁止され、カード内の画像を保護できます。撮影時や画像を削除するとき、カードを初期化するときは、「Lock」を解除してください。



SD カードを取り出すときは

電源ランプが消灯していることを確認してから、バッテリー/SD カードカバーを開けてください。カードを奥に押し込むと（①）、カードが押し出されるので（②）、そのまままっすぐに引き抜いてください。

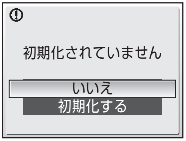


SD カードを初期化する

SD カードを入れてカメラの電源を ON にしたときに、下記ステップ 1 の画面が表示された場合は、以下の手順で SD カードの初期化をしてください。

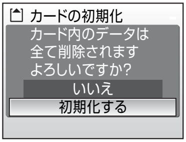
SD カードを初期化すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。カード内に必要なデータが残っている場合は、初期化する前に、パソコンなどに保存してください。

1 マルチセレクターで［**初期化する**］を選んで ㊍ ボタンを押す



2 右の画面が表示されるので、マルチセレクターで［**初期化する**］を選んで ㊍ ボタンを押す

- 初期化が始まります。初期化中は、電源を OFF にしたり、バッテリーや SD カードを取り出したりしないでください。
- 初期化が完了すると、撮影できます。



- 他の機器で使った SD カードをこのカメラで初めて使うときは、必ず初期化（110）してからお使いください。

SD カードの取り扱い上のご注意

- SD カード以外のメモリーカードはお使いいただけません。
- 初期化中や画像の記録または削除中、パソコンとの通信時などには、以下の操作をしないでください。記録されているデータの破損やカードの故障の原因となります。
  - カードを挿入したり、取り出したりしないでください。
  - バッテリーを取り出さないでください
  - カメラの電源を OFF にしないでください
  - AC アダプターを外さないでください
- 分解や改造をしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 端子部を手や金属で触らないでください。
- ラベルやシールを貼らないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たるところなどには置かないでください。
- 湿度の高いところやほこりが多いところ、腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。

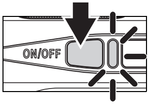
簡単な撮影と再生－（オート撮影）モードで撮影する

ステップ 1 電源を ON にして（オート撮影）を選ぶ

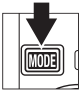
（オート撮影）モードでは、撮影状況に合わせて各機能が最適な状態に自動的に設定されるので、はじめてデジタルカメラをご使用になる方でも簡単に撮影できます。

1 電源スイッチを押して電源を ON にする

- 電源ランプと液晶モニターが点灯します。
- 画面に が表示されているときは、ステップ４に進んでください。

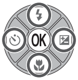


2 MODE ボタンを押す



3 マルチセレクターで を選び、OK ボタンを押す

- （オート撮影）モードになります。



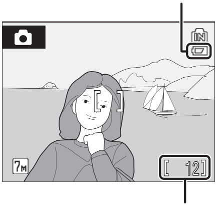


4 バッテリー残量と記録可能コマ数を確認する

バッテリー残量

モニター表示	内容
表示なし	バッテリー残量は充分にあります。
	バッテリー残量が少なくなりました。バッテリー充電や交換の準備をしてください。
電池残量がありません	撮影できません。バッテリーを充電または交換してください。

バッテリー残量



記録可能コマ数

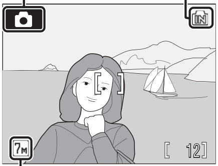
記録可能コマ数

- 撮影できる残りのコマ数が表示されます。
- 記録可能コマ数は内蔵メモリーまたはセットしている SD カードのメモリー残量と画像モードによって異なります。

（オート撮影）モードでの液晶モニター表示

撮影モード
オート撮影のときには が表示されます。

内蔵メモリー表示
画像は内蔵メモリーに記録されます。SDカードをカメラに入れたときは、 が表示されず、画像は SDカードに記録されます。



画像モード
撮影目的に応じて、7 種類の画像モードから選べます。初期設定は 7M 標準（3072 × 2304）です。

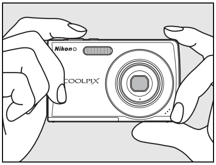
（オート撮影）モードで使用可能な機能について

（オート撮影）モードではフラッシュモード（28）、セルフタイマー（30）、マクロモード（31）、および露出補正（32）の設定ができます。また、（オート撮影）モードのときに MENU ボタンを押すと、撮影メニューが表示され、撮影状況に合わせて設定できます。

撮影時の節電機能について

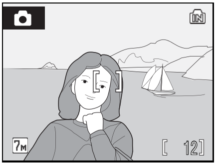
カメラを操作しない状態が約 5 秒続くと、バッテリーの消耗を抑えるため、液晶モニターの表示が暗くなります。カメラを操作すると、元の明るさに戻ります。また、カメラを操作しない状態が約 1 分（初期設定）続くと、液晶モニターが自動的に消灯し、待機状態になります。そのままさらに約 3 分経過すると、電源が自動的に OFF になります（109）。

ステップ2 カメラを構え、構図を決める



1 カメラをしっかりと構える

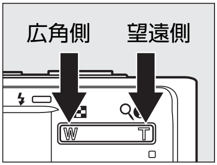
- カメラを両手でしっかりと持ってください。レンズやフラッシュ、マイクなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。
- 縦位置で撮影するときは、フラッシュ発光部分を上にしてください。



2 構図を決める

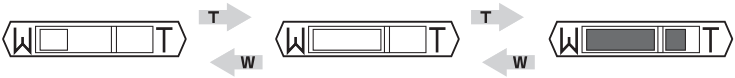
- 写したいもの（被写体）を画面の中央付近にとらえてください。

ズームを使う



ズームボタンを押すと、光学ズームが作動します。

- 広い範囲を写したいときは **W** ボタンを､被写体を大きく写したいときは **T** ボタンを押してください。
- 光学ズームを最も望遠側にして、さらに **T** ボタンを押し続けると、電子ズームが作動し、光学ズームの最大倍率（約 3 倍）の約 4 倍（合計約 12 倍）まで拡大できます。
- ズームの量は、画面上部で確認できます。



ズームボタンを押すと、画面上部にズームの量が表示されます

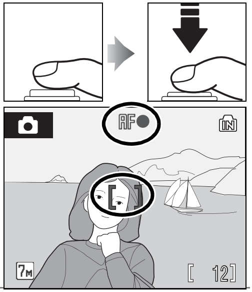
光学ズームの最大倍率（約 3 倍）

電子ズームが作動すると、表示が黄色に変わります

電子ズームについてのご注意

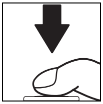
電子ズームは光学ズームとは違い、デジタル処理によって画像を拡大するため、粒子の粗い画像になります。

ステップ 3 ピントを合わせてシャッターボタンを押す



1 シャッターボタンを半押しする

- 画面中央の AF エリアに重なっている被写体にピントが合い、露出が決まります。
- ピントが合うと、AF エリア表示が緑色に変わり、緑色の AF 表示（AF ●）が点灯します。
- AF表示とAFエリアが赤色点滅した場合は、ピントが合っていません。構図を変えてもう一度ピントを合わせてください。
- 電子ズーム使用時は AF エリアは表示されません。

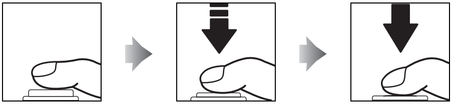


2 シャッターボタンを全押しする

- シャッターがきれ、画像が記録されます。
- 暗い場所などではフラッシュが発光することがあります。

シャッターボタンの半押し

シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。半押しするとピントと露出が合い、そのまま深く押し込む（全押しする）と、シャッターがきれます。シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレ）ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。



半押しすると、ピントと露出が固定

そのまま深く押し込んで（全押しして）撮影

画像の記録についてのご注意

画面に ⌛ が表示されているときや、IN または ▯（SD カード使用時）が点滅しているときは、画像の記録中です。バッテリー /SD カードカバーを開けないでください。画像の記録中に SD カードやバッテリーを取り出すと、画像が記録されなかったり、撮影した画像やカメラ、SD カードが壊れることがあります。

オートフォーカスが苦手な被写体

次のような被写体を撮影するときは、オートフォーカスではピント合わせができないことがあります。

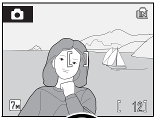
- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、下記のフォーカスロック撮影をお試しください。

フォーカスロック撮影

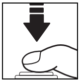
フォーカスロック撮影は、シャッターボタンを半押ししてピントと露出を固定したまま、構図を変えて撮影する方法です。被写体を画面の中央以外に配置して撮影したい場合や、上記のようにオートフォーカスが苦手な被写体を撮影する場合に便利です。

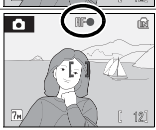
1 ピントを合わせたい被写体を画面中央に配置する



2 シャッターボタンを半押しする

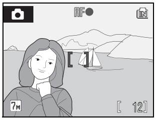
- ピントが合い、AF 表示が緑色に点灯します。
- 半押しすると、ピントと露出が固定されます。



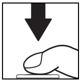


3 半押ししたまま構図を変える

- 被写体との距離は変えないでください。



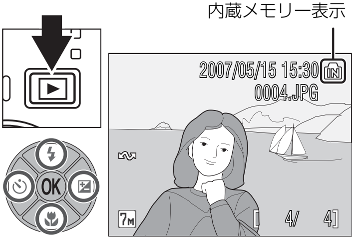
4 シャッターボタンを全押しする



ステップ 4 撮影した画像を確認する / 削除する

画像を確認する（1 コマ再生モード）

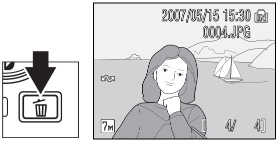
▶ ボタンを押す



- 最後に撮影した画像が表示されます。
- マルチセレクターを**左**か**上**に押すと前の画像を、**右**か**下**に押すと次の画像を見ることができます。マルチセレクターを 1 方向に押し続けると、画像を早送りできます。
- 前の画像や次の画像に切り換えた直後は、表示が粗くなる場合があります。
- 撮影に戻るには、もう一度 ▶ ボタンを押すか、シャッターボタンを押します。
- 内蔵メモリーの画像を再生しているときは、IN が点灯します。SD カードをカメラに入れたときは IN が表示されず、SD カードの画像が再生されます。

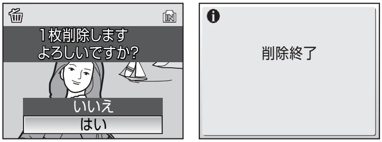
画像を削除する

1 削除したい画像を表示させて 🗑 ボタンを押す



2 マルチセレクターで［はい］を選び、OK ボタンを押す

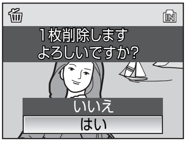
- 削除するのをやめるときは、［**いいえ**］を選んで、OK ボタンを押します。



撮影時に画像を削除する

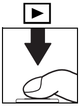
撮影時に 🗑 ボタンを押すと、直前に撮影した画像が削除できます。確認画面が表示されたら、マルチセレクターで［**はい**］を選び、OK ボタンを押します。

削除をやめるときは、［**いいえ**］を選んで OK ボタンを押します。



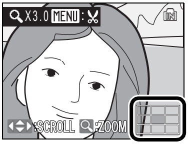
1 コマ再生モードで使える機能

1 コマ再生モードでは次の機能が使えます。

機能	操作	内容	
画像を拡大する	T（Q）	クイック拡大後、最大約 10 倍までの倍率に拡大します。	46
サムネイル表示に切り換える	W（▦）	4 コマ、9 コマ、または 16 コマのサムネイル画像を表示します。	45
手ブレを補正する	OK（((✋))）	静止画を表示しているときに OK ボタンを押すと、手ブレを補正します。	49
再生メニューを表示する	MENU	MENU ボタンを押すと、再生メニューが表示されます。	94
再生モードメニューを表示する	MODE	MODE ボタンを押すと、再生モードメニューが表示されます。	8
撮影モードに切り換える		▶ ボタンまたはシャッターボタンを押すと、直前の撮影モードになります。	26

クイック拡大について

1 コマ再生モードで T（Q）ボタンを押すと、表示中の画像の中央部が約 3 倍に拡大表示されます（46）。拡大している部分が、液晶モニターの右下のガイドに黄色で表示されます。OK ボタンを押すと、元の大きさに戻ります。



画像の再生について

- 電源がOFFのときに▶ボタンを押し続けると、1コマ再生モードで電源がONになります。ただし、電源を OFF にする前のモードが、音声レコードモード（65）または音声データ再生モード（67）だったときは、音声データ再生モードで電源が ON になります。
- 内蔵メモリーに記録した画像を再生したいときは、SDカードをカメラから取り出してください。

フラッシュを使う

フラッシュモードを、撮影状況に合わせて設定できます。フラッシュの光が充分に届く距離は、広角側で約 0.3 ～ 4.6 m、望遠側で約 0.3 ～ 2.5m です（［**ISO感度設定**］を［**オート**］にしたとき）。

AUTO	**自動発光**	暗い場所などで、自動的にフラッシュが発光します。
	赤目軽減自動発光	人物撮影に適しており、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減できます。詳しくは下記 をご参照ください。
	発光禁止	フラッシュは発光しません。
	強制発光	被写体の明るさに関係なく、フラッシュが発光します。逆光で撮影するときなどに使います。
	スローシンクロ	自動発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせて撮影します。夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。フラッシュでメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景をきれいに写します。

電子式手ブレ補正について

フラッシュモードを （発光禁止）または （スローシンクロ）に設定している場合、撮影条件によって［**電子式手ブレ補正**］（92）が働き、画像の記録時に手ブレを補正することがあります（撮影時に、液晶モニターに が表示されます）。

電子式手ブレ補正機能を使用しない場合は、撮影メニューの［**電子式手ブレ補正**］を［**OFF**］に設定してください。

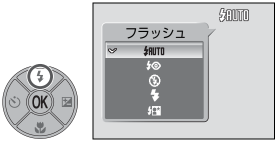
赤目軽減自動発光について

このカメラは、「アドバンスト赤目軽減方式」を採用しています。
フラッシュが本発光する前に、少量発光を数回行い、赤目現象の発生を軽減します。
さらに、カメラが撮影した画像を記録する前に赤目現象を検出したときは、赤目部分に補正を加えてから記録します。
撮影する際には、次の点にご注意ください。

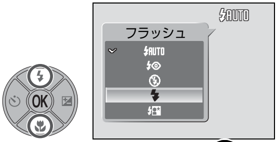
- シャッターボタンを押してからシャッターがきれるまでに、通常よりも時間がかかります。そのため、シャッターチャンスを優先する撮影にはおすすめできません。
- 次の撮影ができるまでの時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

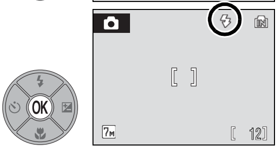
フラッシュモードの設定方法

1 ⚡（フラッシュモード）を押す



2 マルチセレクターでモードを選び、OK ボタンを押す

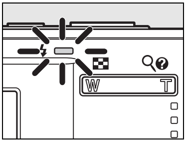




- 設定したフラッシュモードが表示されます。
- ⚡AUTO（自動発光）にすると、⚡AUTO が 5 秒間表示されます。
- 📷（オート撮影）モード、高感度モードで設定したフラッシュモードは、電源を OFF にしても記憶されます。
- OK ボタンを押さないまま 5 秒以上経過すると、設定はキャンセルされます。

フラッシュランプについて

- シャッターボタン半押し時に、フラッシュの状態を確認できます。



点灯	撮影時にフラッシュが発光します。
点滅	フラッシュの充電中です。
消灯	撮影時にフラッシュは発光しません。

ⓕ（発光禁止）にして暗い場所で撮影するときのご注意

- 手ブレしやすくなるため、三脚などでカメラを固定して撮影してください。
- 液晶モニターに「ISO」と表示されたときは、ISO 感度が上がっているため、通常よりもざらついた画像になることがあります（91）。

フラッシュ使用時のご注意

フラッシュを使用して撮影すると、フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して、画像の中に白い点のように写り込んでしまうことがあります。このようなときは、フラッシュモードを ⓕ（発光禁止）にして撮影することをおすすめします。

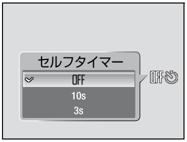
セルフタイマーを使う

記念撮影など自分も一緒に写りたいときや、シャッターを押す操作による手ブレを軽減したいときは、セルフタイマーが便利です。タイマー時間は 10 秒と 3 秒の 2 種類から選べます。セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。

1 （セルフタイマー）を押す

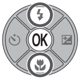
- 液晶モニターにセルフタイマーの設定メニューが表示されます。

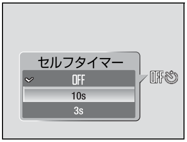




2 マルチセレクターで［10s］または［3s］を選び、OK ボタンを押す

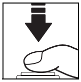
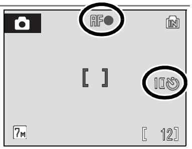
- ［**10s**］（10 秒）：記念撮影などに適しています。
  ［**3s**］（3 秒）　：手ブレの軽減に適しています。
- 設定したセルフタイマーモードが表示されます。
- OK ボタンを押さないまま５秒以上経過すると、選択はキャンセルされます。





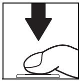
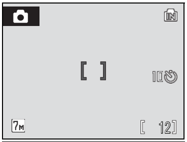
3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

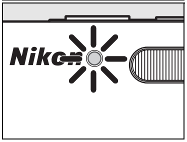
- ピントと露出が合います。

4 シャッターボタンを全押しする

- セルフタイマーが作動し、セルフタイマーランプが点滅します。シャッターが切れる約 1 秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターが切れるまでの秒数が液晶モニターに表示されます。
- セルフタイマーを途中で止めるときは、もう一度シャッターボタンを押します。

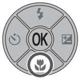


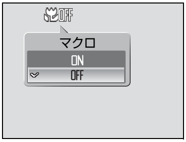
マクロ（接写）モードを使う

最短約 10 cm まで被写体に近づいて撮影できます。ただし、フラッシュ撮影時は、被写体から 30 cm 以上離れなければ、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがありますのでご注意ください。

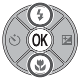
1 （マクロモード）を押す

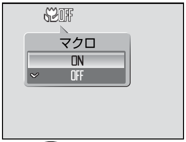
- 液晶モニターにマクロモードの設定メニューが表示されます。



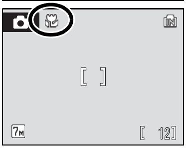


2 マルチセレクターで［ON］を選び、OK ボタンを押す





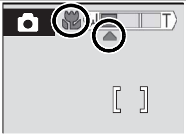
- マークが表示されます。
- ［OFF］にすると OFF が 5 秒間表示されます。
- OK ボタンを押さないまま5秒以上経過すると、選択はキャンセルされます。



3 ズームボタンを操作して構図を決める

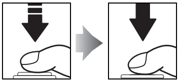
- マークが緑色で表示されているときは、レンズ前約 10 cm までの被写体にピントを合わせられます。





4 ピントを合わせて撮影する

- （オート撮影）モード、高感度モードで設定したマクロモードは、電源を OFF にしても記憶されます。



マクロモードについて

マクロモードでは、カメラが自動的に AF（オートフォーカス）によるピント合わせを繰り返しますが、シャッターボタンを半押しするとピントが合い、露出が決まります。

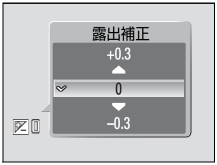
露出を補正する

画像全体を明るくしたいときや暗くしたいときなどに使います。

1 マルチセレクターの（露出補正）を押す

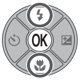
- 液晶モニターに露出補正の設定メニューが表示されます。

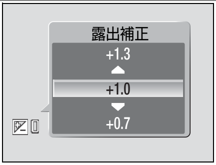




2 マルチセレクターで補正値を選び、OK ボタンを押す

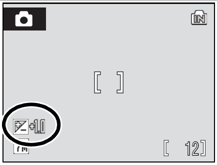
- 画像が暗すぎるとき：補正値を＋側に設定してください。
- 画像が明るすぎるとき：補正値を－側に設定してください。
- － 2.0EV から＋ 2.0EV の範囲で補正できます。
- OK ボタンを押さないまま５秒以上経過すると、設定はキャンセルされます。





3 設定が有効になる

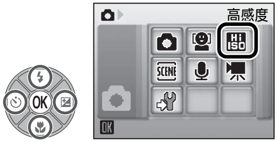
- マークと補正値が表示されます。
- （オート撮影）モード、高感度モードで設定した露出補正値は、電源を OFF にしても記憶されます。



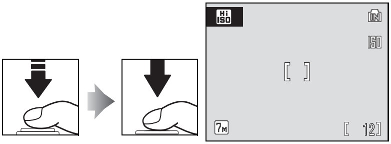
高感度モードで撮影する

高感度モードでは ISO 感度が高めに設定されるため、薄暗いシーンでも手ブレや被写体ブレの影響を軽減し、その場の雰囲気を活かした撮影ができます。被写体の明るさに応じて ISO 感度は 1000 まで自動的に設定されます。

1 撮影時に MODE ボタンを押して、撮影モードメニューを表示させ、マルチセレクターで Hi ISO を選び、OK ボタンを押す



2 構図を決めて撮影する



高感度モードのご注意

- 薄暗い場面でも手ブレが軽減されますが、フラッシュを使わないときは、カメラを三脚などで固定して撮影することをおすすめします。
- 撮影した画像が多少ざらつくことがあります。
- 極端に暗い場面では、ピントが合いにくくなることがあります。

高感度モードとブレ軽減モードについて

高感度モードとブレ軽減モード（42）は、どちらも手ブレや被写体ブレの影響を軽減しますが、薄暗いシーンでは高感度モードが効果的です。フラッシュを発光禁止にすると、撮影するシーンによってはその場の雰囲気をさらに活かせます。

高感度モードで MENU ボタンを押すと、高感度メニューが表示されます。［**ISO 感度設定**］、［**電子式手ブレ補正**］を除き、（オート撮影）モードの撮影メニューと同じ項目を設定できます（83）。（オート撮影）モードと同様に、フラッシュ、セルフタイマー、マクロモード、および露出補正も設定できます。

ブレ軽減モードでは、自動的に［**電子式手ブレ補正**］（92）は［**AUTO**］に、［**BSS**］（90）は［**ON**］に、フラッシュは発光禁止に設定されます。さらに、同じ明るさの被写体でも（オート撮影）モードよりシャッタースピードが速くなるため、手ブレや被写体ブレの軽減に効果があります。自然光を活かしながら、ズームを望遠側にして撮影するときなどに適しています。

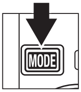
シーンモードで撮影する

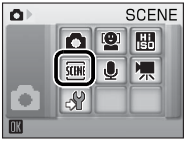
15 種類のシーンモードを選ぶだけの簡単な操作でシーンに合った撮影ができます。

ポートレート	海・雪	ミュージアム
風景	夕焼け	打ち上げ花火
スポーツ	トワイライト	モノクロコピー
夜景ポートレート	夜景	逆光
パーティー	クローズアップ	パノラマアシスト

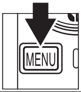
1 撮影時に MODE ボタンを押して撮影モードメニューを表示させ、マルチセレクターで SCENE を選び、OK ボタンを押す

- 前回選んだシーンモードになります。





2 MENU ボタンを押して、シーンメニューを表示させる



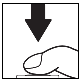
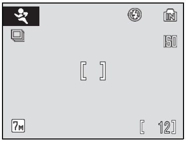


3 シーンモードを選んで、OK ボタンを押す





4 構図を決めて撮影する

シーンモードでの画像モード設定

［**シーンメニュー**］で［**画像モード**］（84）を設定できます。画像モードの設定は他のモードと連動しているため、どのモードで設定しても同じ設定になります。



シーンモードの種類と特徴

ポートレート



人物を美しく撮影したいときに使います。人物の肌をなめらかで自然な感じに仕上げます。

- 画面中央にピントが合います。

フラッシュ		セルフタイマー		マクロ		露出補正	
	赤目軽減※		OFF※		OFF		0※

※変更可能です。

風景



自然の風景や街並みなどを、色鮮やかに撮影したいときに使います。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（24）が点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。

フラッシュ		セルフタイマー		マクロ		露出補正	
	発光禁止		OFF※		OFF		0※

※変更可能です。

スポーツ



運動会などスポーツ写真を撮影するときに使います。動きのある被写体の一瞬の動きを連写（連続撮影）によって鮮明にとらえます。

- シャッターボタンの半押しでピントが固定されるまで、ピント合わせを繰り返します。
- シャッターボタンを全押ししている間、最大 1.3 コマ/秒で連写できます（画像モードが 7M 標準（3072）のとき）。

フラッシュ		セルフタイマー		マクロ		露出補正	
	発光禁止		OFF		OFF		0※

※変更可能です。

表中のマークについて

はフラッシュモード（28）、はセルフタイマーモード（30）、はマクロモード（31）、は露出補正（32）を示すマークです。

夜景ポートレート



夕景や夜景をバックに人物を撮影するときに使います。人物と背景の両方を美しく表現します。

フラッシュ		セルフタイマー		マクロ		露出補正	
	赤目軽減スローシンクロ ※1		OFF ※2		OFF		0 ※2

※1 赤目軽減スローシンクロ強制発光に固定されます。
※2 変更可能です。

パーティー



パーティー会場などでの撮影に使います。キャンドルライトなどの背景を活かして、雰囲気のある画像に仕上げます。

- 画面中央にピントが合います。
- 暗い場所では手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。

フラッシュ		セルフタイマー		マクロ		露出補正	
	赤目軽減 ※1		OFF ※2		OFF		0 ※2

※1 赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。変更可能です。
※2 変更可能です。

海・雪



晴天の海や砂浜、雪景色などを明るく鮮やかに撮影したいときに使います。

- 画面中央にピントが合います。

フラッシュ		セルフタイマー		マクロ		露出補正	
	AUTO ※		OFF ※		OFF		0 ※

※変更可能です。

NR と 三脚 マークについて

三脚：三脚 がついたシーンモードでは、三脚などのご使用をおすすめします。
NR：NR がついたシーンモードでは、自動的にノイズ低減が行われるため、画像の記録時間が通常より長くなります。

夕焼け



赤い夕焼けや朝焼けの撮影に使います。

- 画面中央にピントが合います。
- 暗い場所では手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。

フラッシュ		セルフタイマー		マクロ		露出補正	
	発光禁止※		OFF※		OFF		0※

※変更可能です。

トワイライト



夜明け前や日没後のわずかな自然光の中での風景撮影に使います。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常にAF表示（24）が点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。

フラッシュ		セルフタイマー		マクロ		露出補正	
	発光禁止		OFF※		OFF		0※

※変更可能です。

夜景



夜景の撮影に使います。スローシャッターで夜景の雰囲気を表現します。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常にAF表示（24）が点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。

フラッシュ		セルフタイマー		マクロ		露出補正	
	発光禁止		OFF※		OFF		0※

※変更可能です。

クローズアップ



草花や昆虫、小さな被写体などの接写（近接撮影）に使います。

- マークが緑色で表示されているときは、レンズ前約 10 cm までの被写体にピントを合わせられます。
- △ マークから広角側でズーム操作ができます。
- シャッターボタンの半押しでピントが固定されるまで、カメラは常に画面中央にピントを合わせ続けます。
- 撮影方法はマクロモード（31）と同じです。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。

フラッシュ	AUTO※	セルフタイマー	OFF※	マクロ	ON	露出補正	0※

※変更可能です。

ミュージアム



フラッシュ撮影が禁止されている美術館など、フラッシュを発光させたくない場所で撮影するときに使います。

- 画面中央にピントが合います。
- ［**BSS**］（90）が自動的に［**ON**］になります。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。

フラッシュ	発光禁止	セルフタイマー	OFF※	マクロ	OFF※	露出補正	0※

※変更可能です。

打ち上げ花火

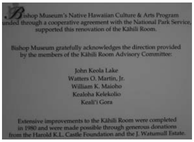


スローシャッターで、打ち上げ花火をきれいに撮影できます。

- 遠景にピントが固定されます。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（24）が点灯します。ただし、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。

フラッシュ	発光禁止	セルフタイマー	OFF	マクロ	OFF	露出補正	0

モノクロコピー



ホワイトボードや印刷物などの文字を、シャープに撮影したいときに使います。

- 画面中央にピントが合います。
- 近くのものを撮影するときは、マクロモード（31）を併用してください。
- 赤色、青色などの被写体を撮影すると、文字などが薄くなることがあります。

	※		OFF※		OFF※		0※

※変更可能です。

逆光



逆光状態での撮影に使います。内蔵フラッシュが常に発光し、人物が影にならず美しく撮影できます。

- 画面の中央にある被写体にピントが合います。

			OFF※		OFF		0※

※変更可能です。

パノラマアシスト（40）

撮影した複数の画像をつなげて、パノラマ写真に合成したいときに使います。撮影した画像は、付属のソフトウェア「PictureProject」を使ってパソコンでパノラマ写真に合成できます。



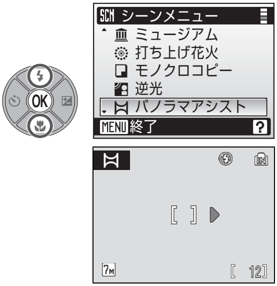
	※		OFF※		OFF※		0※

※変更可能です。

[パノラマアシスト]（ 39）を使った撮影方法

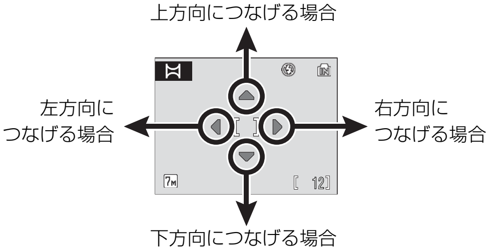
画面中央にピントが合います。三脚をお使いいただくと、構図を合わせやすくなります。

1 シーンモードのメニューで （パノラマアシスト）を選び、OK ボタンを押す

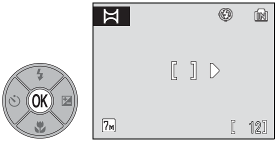


- パノラマ方向（画像をつなげる方向）を示す ▷ マークが黄色で表示されます。

2 マルチセレクターで画像をつなげる方向を選び、OK ボタンを押す



- 画像をつなげる方向（黄色の三角印）を選びます。
- 選んだ方向に ▷ マークが移動し、OK ボタンを押すと白色に変わります。
- フラッシュモード（ 28）、セルフタイマー（ 30）、マクロモード（ 31）、露出補正（ 32）を設定したいときは、ここで設定してください。
- OK ボタンを押すと、パノラマ方向を選び直せます。

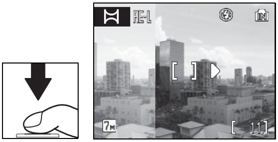


パノラマアシストモードについてのご注意

- フラッシュモード、セルフタイマー、マクロモード、露出補正は、撮影開始前に設定してください。撮影開始後に設定を変えることはできません。撮影開始後は、画像モード（ 84）の変更やズーム操作、画像の削除もできません。
- 撮影中にオートパワーオフ（ 109）による待機状態になると撮影が終了してしまうので、待機状態に入るまでの時間を長めに設定しておくことをおすすめします。

3 一番端の被写体に構図を合わせ、1 コマ目を撮影する

撮影した画像が、画面の約 1/3 の領域に半透明で表示されます。



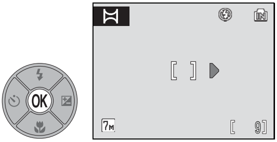
4 2 コマ目以降を撮影する

- 1 コマ目の絵柄に重なるように構図を合わせて、シャッターボタンを押してください。
- この手順を繰り返し、必要な画像を撮影してください。



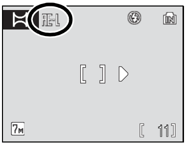
5 必要な画像を撮影し終わったら、Ⓚ ボタンを押す

ステップ 2 の状態に戻ります。



AE-L について

パノラマアシストモードでは、1コマ目を撮影すると、画面に「AE-L」と表示されます。これは、露出とホワイトバランスが固定されたことを示しています。これによってパノラマ写真を構成するすべての画像を、同じ露出とホワイトバランスで撮影できます。

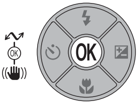


ブレ軽減モードで撮影する

ブレ軽減モードでは、自動的に［**電子式手ブレ補正**］（92）は［**AUTO**］に、［**BSS**］（90）は［**ON**］になります。さらに、被写体の明るさに応じて ISO 感度が 1000 まで自動的に上がるため、同じ明るさの被写体でも（オート撮影）モードよりシャッタースピードが速くなり、手ブレや被写体ブレの軽減に効果があります。フラッシュが発光禁止に設定されるので、自然光を活かしながら、ズームを望遠側にして被写体の自然な表情をとらえるのに適しています。動物を撮影する場合など、被写体に近づけないときや、被写体にカメラを意識させずに離れた場所から撮影したいときなどに便利です。

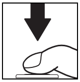
1 撮影時に ⓞⓚ（((✋))）ボタンを押す

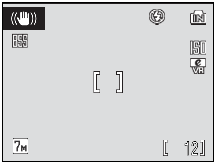
- 撮影モードがブレ軽減モードになります。もう一度押すと、撮影モードメニューで選んでいる撮影モードに戻ります。



2 構図を決めて撮影する

- 画面中央にピントが合います。
- シャッターボタンを全押ししている間、最大 10 コマを連写し、最も鮮明な 1 コマをカメラが自動的に選んで記録します。





ブレ軽減モードのご注意

- 被写体が暗いと、シャッタースピードは一定値に制限されます。
- 薄暗い場所で撮影するときは、高感度モード（33）を使用することをおすすめします。
- 撮影した画像が多少ざらつくことがあります。
- ［**デート写し込み**］（107）を設定していても、日時は写し込まれません。
- シーンモードの［**パノラマアシスト**］（39）を選択している場合は、ⓞⓚ ボタンを押しても、ブレ軽減モードは設定できません。

ブレ軽減モードでの機能設定

自動的に［**電子式手ブレ補正**］（92）は［**AUTO**］に、［**BSS**］（90）は［**ON**］に、フラッシュは発光禁止に設定されます。また、マクロモードと露出補正は設定できますが、セルフタイマーは使えません。

ブレ軽減モードでの画像モード設定

ブレ軽減モードで MENU ボタンを押すと、［**画像モード**］（84）を設定できます。画像モードの設定は他のモードと連動しているため、どのモードで設定しても同じ設定になります。

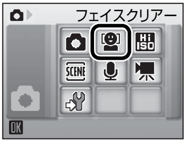
フェイスクリアーモードで撮影する

撮影時に MODE ボタンを押して、モードメニューを表示し、[顔] を選択して ⊛ ボタンを押すと、人物撮影に適した「フェイスクリアーモード」になります。フェイスクリアーモードでは、以下のような撮影ができます。

- 人物を浮き立たせて立体感のある画像になります。
- 人物の顔に自動的にピントを合わせる「顔認識 AF」と、フラッシュによる赤目現象を軽減する「アドバンスト赤目軽減」（28）が自動的に［ON］になります（変更可能）。マクロモードは使えません。

1 撮影時に MODE ボタンを押して、モードメニューを表示し、マルチセレクターで [顔] を選ぶ

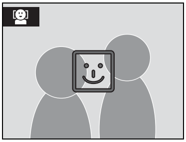




2 ⊛ ボタンを押す

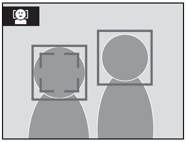
- 黄色の [☺] マークが点滅表示されます。





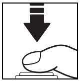
3 [☺] マークの大きさを目安に、人物の顔をとらえる

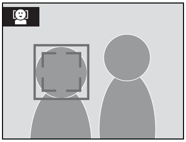
- カメラが顔を認識すると、[☺] マークが黄色の二重枠に変わります。
- 複数の顔を認識した場合は、最も近くにいる人の顔が二重枠で、他の顔が一重枠で示されます。ピントと露出は、二重枠で囲まれた人の顔に合います。途中で被写体が横を向くなどしてカメラが被写体を見失なうと、枠が消えてステップ 2 の状態に戻ります。



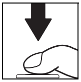
4 シャッターボタンを半押しする

ピントと露出が固定され、二重枠が緑色に変わります。





5 そのままシャッターボタンを全押しして、撮影する



フェイスクリアーメニュー

フェイスクリアーモードで MENU ボタンを押すと、フェイスクリアーメニューが表示されます。画像モードや、肌の色合いや質感が表現できる［**ポートレート効果**］を設定できます。

画像モード	画像モードを変更できます（84）。
ポートレート効果	人物の肌の質感や画像全体の雰囲気をどのように表現するかを、［**標準**］、［**明るめ**］、［**ソフト**］の 3 種類から選べます。［**明るめ**］にすると人物の肌の透明感を強調した画像になり、［**ソフト**］にすると全体の雰囲気がソフトな画像になります。

- フェイスクリアーメニューを終了するには、MENU ボタンまたはシャッターボタンを押します。

顔認識 AF についてのご注意

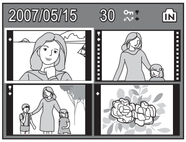
- どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどの撮影条件によって異なります。
- カメラは人物の顔を認識するまでピント合わせを繰り返します。
- 二重枠が黄色点滅しているときは、顔にピントが合っていません。もう一度ピントを合わせてください。
- 顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。
- 次のような場合、カメラは人物の顔を認識できません。
  - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている。
  - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている。

フェイスクリアーモードで使用できる設定

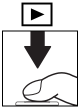
- フラッシュモードは他のモードに変更できます。
- セルフタイマーと露出補正が設定できます。マクロモードは使えません。

再生機能を使いこなす

複数の画像を一覧表示する（サムネイル表示モード）

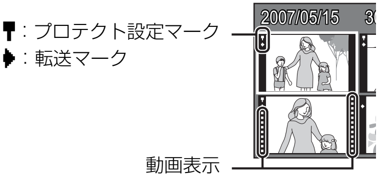


1 コマ再生モード（26）で W（▦）ボタンを押すと、画像を一覧できる「サムネイル表示モード」になります。サムネイル表示モードでは、以下の操作ができます。

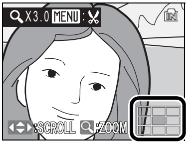
機能	ボタン	内容	
画像を選ぶ		マルチセレクターで画像を選びます。	9
表示コマ数を変更する	W T	1 コマ表示のときに W（▦）ボタンを押すと、次のように一覧表示されます。 4 コマ→ 9 コマ→ 16 コマ T（Q）ボタンを押すと、表示コマ数が減っていきます。	–
1 コマ再生モードに切り換える	OK	OK ボタンを押すと、1 コマ再生モードに戻ります。	26
画像を削除する	🗑	画像を選び、🗑 ボタンを押すと削除確認画面が表示されます。［**はい**］を選んで OK ボタンを押すと、画像が削除されます。	26
再生メニューを表示する	MENU	MENU ボタンを押すと、再生メニューが表示されます。	94
再生モードメニューを表示する	MODE	MODE ボタンを押すと再生モードメニューが表示されます。	8
撮影モードに切り換える		▶ ボタンまたはシャッターボタンを押すと、直前の撮影モードになります。	26

4 コマ /9 コマサムネイルに表示されるマーク

プロテクト設定した画像や、転送マークを付けた画像には、右のようにマークが表示されます。動画は映画フィルムの 1 コマのように表示されます。プロテクト設定と転送マークは、16 コマサムネイルには表示されません。

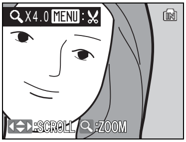


画像を拡大する

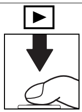


1 コマ再生モード（26）で T（Q）ボタンを押すと、表示中の画像の中央部が約 3 倍に拡大表示されるクイック拡大モードになります。

画面右下のガイドは、どの部分が表示されているかを示しています。マルチセレクターを**上下左右**に押して表示される部分を切り換えられます。



クイック拡大モードでさらにズームボタンを操作すると、拡大率を自由に変更できる「拡大表示モード」になります。拡大率は画面に表示されます。拡大表示モードでは、以下の操作ができます。

機能	ボタン	内容	
拡大倍率を上げる	T（Q）	T（Q）ボタンを押すごとに、表示中の画像を最大約 10 倍まで拡大します。	–
拡大倍率を下げる	W（▦）	拡大表示中に W（▦）ボタンを押すと、拡大倍率が下がります。倍率が 1 倍になると、1 コマ再生モードに戻ります。	–
画像の他の部分を表示する		マルチセレクターで、画像をスクロールします。	9
1 コマ再生モードに切り換える	OK	OK ボタンを押すと、1 コマ再生モードに戻ります。	26
トリミング画像を作成する	MENU	拡大表示した部分だけ、別画像として保存します。	50
画像を削除する	🗑	🗑 ボタンを押すと削除確認画面が表示されます。［**はい**］を選んで OK ボタンを押すと、表示中の画像が削除されます。	26
再生モードメニューを表示する	MODE	MODE ボタンを押すと再生モードメニューが表示されます。	8
撮影モードに切り換える		▶ ボタンまたはシャッターボタンを押すと、直前の撮影モードになります。	26

画像を編集する

以下の機能を使って、画像を簡単に編集できます。編集した画像は元画像とは別の画像として、異なるファイル名で保存されます（115）。

編集の種類	内容	用途
D-ライティング	画像の暗い部分を明るく補正する	逆光やフラッシュの光量不足で暗くなった部分を明るく補正したいとき
電子式手ブレ補正	手ブレした画像を補正する	手ブレによる画像の乱れを補正して鮮明な画像にしたいとき
トリミング	画像の一部を切り抜く	被写体をクローズアップしたいとき、構図に手を加えたいときなど
スモールピクチャー	小さいサイズの画像を作成する	メールに添付して送信する場合など、画像のサイズを小さくしたいとき

画像編集を適用する際のご注意

- ［**画像モード**］（84）を［**16:9**］にして撮影した画像は編集できません（電子式手ブレ補正を除く）。
- COOLPIX S200 以外で撮影された画像は、COOLPIX S200 で再生、編集できない場合があります。
- COOLPIX S200 以外のデジタルカメラでは、COOLPIX S200 で編集した画像の正常な表示やパソコンへの転送ができないことがあります。
- 内蔵メモリー /SD カードに充分な空き容量がない場合、編集できません。

画像編集の制限

	2 回目の編集			
1 回目の編集	**D-ライティング**	**電子式手ブレ補正**	**トリミング**	**スモールピクチャー**
D-ライティング	×	○	○	○
電子式手ブレ補正	○	×	○	○
トリミング	×	×	×	×
スモールピクチャー	×	×	×	×

- 同じ画像編集を 2 回行うことはできません。
- D-ライティング、電子式手ブレ補正、トリミング、スモールピクチャーを組み合わせて編集する場合は、D-ライティングまたは電子式手ブレ補正を先に行ってください。

元画像と編集画像の関係について

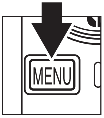
- 編集で作成した画像は、元画像を削除しても削除されません。また編集で作成した画像を削除しても、元画像は削除されません。
- 編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。
- ［**プリント指定**］（81）を行ったり、［**プロテクト設定**］（98）された画像を編集しても、これらの設定内容は編集先の画像には反映されません。ただし、［**転送マーク設定**］（98）が ON の画像を編集したときは、編集先の画像にも設定が反映され［**転送マーク設定**］が ON になります。

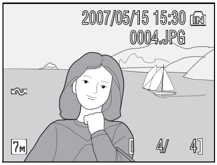
画像の暗い部分を明るく補正する（D- ライティング）

逆光やフラッシュの光量不足などで暗くなった被写体を明るく補正できます。
D- ライティングで補正した画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。

1 1 コマ再生モード (26)、サムネイル表示モード (45) で画像を選び、MENU ボタンを押す

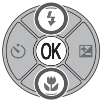
- 再生メニューが表示されます。





2 ［D- ライティング］を選んで、OK ボタンを押す

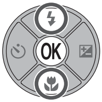
- 補正前（左側）と補正後（右側）の見本が表示されます。





3 マルチセレクターで［実行］を選び、OK ボタンを押す

- 補正画像が作成されます。
- D-ライティングを中止するときは、［**キャンセル**］を選び、OK ボタンを押します。
- D- ライティングを行った画像は、再生画面で が表示されます（6）。





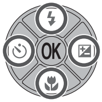

D- ライティング前

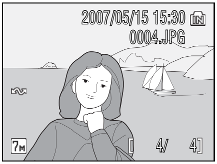

D- ライティング後

画像の手ブレを補正する（電子式手ブレ補正）

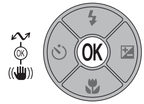
手ブレによる画像の乱れを効果的に補正します。電子式手ブレ補正を行った画像は、元画像とは別の画像として保存されます。

1 1 コマ再生モード（26）で画像を選ぶ



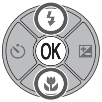


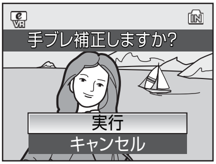
2 OK（((✋))）（電子式手ブレ補正）ボタンを押す

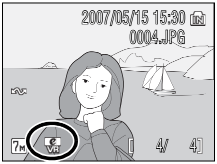


3 マルチセレクターで［実行］を選び、OK ボタンを押す

- 補正画像が作成されます。
- 手ブレ補正を中止するときは、［**キャンセル**］を選び、OK ボタンを押します。
- 手ブレ補正を行った画像は、再生画面で VR が表示されます。



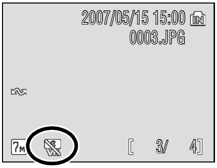




✓ 電子式手ブレ補正についてのご注意

「画像編集の制限」（47）で示した以外に、以下の画像に対して電子式手ブレ補正はできません。

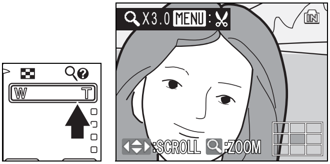
- マルチ連写で撮影された画像（88）
- デート写し込み画像（107）
- このカメラ以外で撮影された画像
- 手ブレが大きい画像、および手ブレが小さすぎる画像
- 低速シャッタースピードで撮影された画像
- VR または、VR が表示された画像（92）



画像の一部を切り抜く（トリミング）

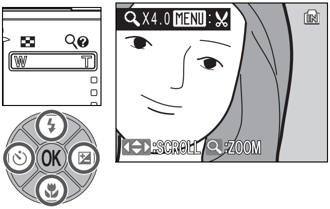
拡大表示（46）中に MENU:✂ マークが表示されている画像は、液晶モニターに表示している部分だけにトリミング（切り抜き）できます。トリミングした画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。

1 1 コマ再生モードで T（Q）ボタンを押して画像を拡大表示する



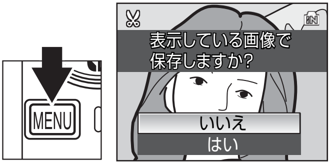
2 切り抜きたい部分だけが表示されるように調節する

- ズームボタンを使って拡大率を調節します。
- マルチセレクターの**上下左右**を押して表示範囲を調整します。



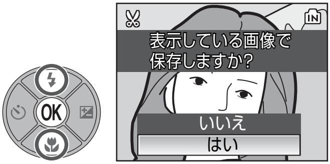
3 MENU ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。



4 マルチセレクターで［はい］を選び、OK ボタンを押す

- トリミング画像が作成されます。



- トリミングで作成された画像の画像サイズは、拡大倍率により異なります。
  次のうちから最適なものをカメラが自動的に選びます（単位：ピクセル）。
  - 5M 2592×1944
  - 4M 2272×1704
  - 3M 2048×1536
  - 2M 1600×1200
  - 1M 1280×960
  - PC 1024×768
  - TV 640×480
  - 320×240
  - 160×120
- トリミングで作成された画像の画像サイズが 320 × 240 または 160×120の場合は、再生時にグレーの枠で囲まれて表示されます。

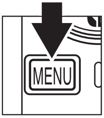
小さいサイズの画像を作成する（スモールピクチャー）

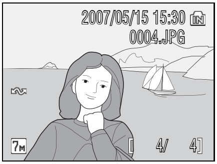
撮影した画像から、サイズの小さい画像を新しく作ります。作成するスモールピクチャーの大きさは以下の 3 種類から選べます。スモールピクチャーは、元の画像とは別の画像（圧縮率約 1/16）として保存されます。

種類	内容
640×480	テレビでの表示に適しています。
320×240	ホームページでの使用に適しています。
160×120	電子メールへの添付に適しています。

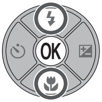
1 1 コマ再生モード（26）、サムネイル表示モード（45）で画像を選び、MENU ボタンを押す

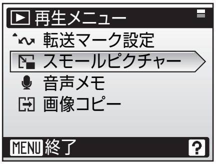
- 再生メニューが表示されます。





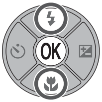
2 マルチセレクターで［スモールピクチャー］を選び、㊍ ボタンを押す

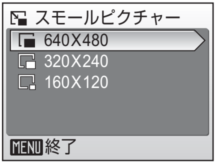




3 スモールピクチャーのサイズを選び、㊍ ボタンを押す

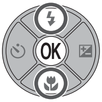
- 確認画面が表示されます。
- 作成をやめるときは、MENU ボタンを押します。

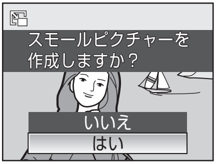




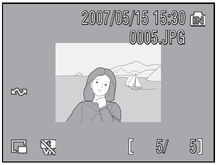
4 ［はい］を選び、㊍ ボタンを押す

- スモールピクチャーが作成されます。





- スモールピクチャーで作成された画像は、グレーの枠で囲まれて表示されます。



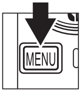
画像に音声メモを付ける

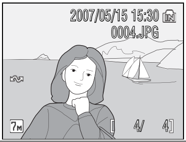
カメラのマイクを使って、画像に音声によるメモが付けられます。

音声メモを録音するには

1 1 コマ再生モード（☞26）、サムネイル表示モード（☞45）で、音声メモを録音 / 再生したい画像を選び、MENU ボタンを押す

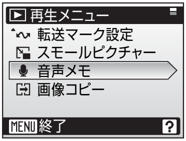
- 再生メニューが表示されます。



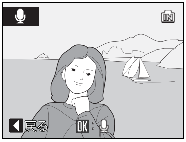


2 ［音声メモ］を選び、OK ボタンを押す





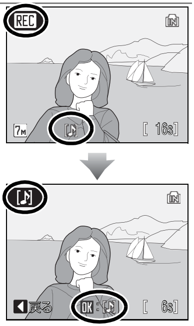
- 音声メモの録音画面が表示されます。



3 OK ボタンを押す

OK ボタンを押している間、約 20 秒間まで音声メモが録音できます。
OK ボタンから指を離すか、約 20 秒経過すると録音が終了します。





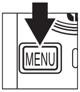
- 録音中は、REC マークと [♪] マークが点滅します。
- 音声メモを録音すると🎤マークが[♪]マーク（音声メモ再生ガイド）に変わります。
- 再生画面に戻るには、MENU ボタンを押してください。

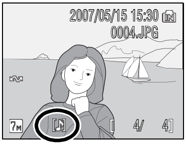
✓ 音声メモについてのご注意

- 録音中は、カメラのマイクに触れないようご注意ください。
- 音声メモのファイル名は、音声メモを録音した画像と同じファイル名に、音声メモであることを示す拡張子「.WAV」がつきます（例：DSCN0015.WAV）（☞115）。
- すでに音声メモが録音されている画像には、音声メモを録音できません。いったん音声メモだけを削除してから、もう一度音声メモを録音してください。
- COOLPIX S200 以外で撮影された画像には、COOLPIX S200 で音声メモを付けられないことがあります。

音声メモを再生するには

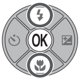
1 1 コマ再生モード（☞26）で、[♪] マーク（音声メモ表示）が表示されている画像を選び、MENU ボタンを押す

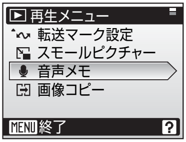




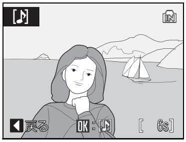
- 音声メモ付の画像には、[♪]（音声メモ表示）が表示されます。
- 再生メニューが表示されます。

2 ［音声メモ］を選び、OK ボタンを押す





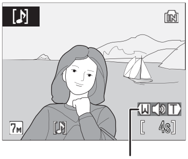
- 音声メモの再生画面が表示されます。



3 OK ボタンを押す

音声メモが再生されます。再生が終わるか、もう一度 OK ボタンを押すと再生が終了します。





音量表示

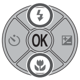
- 再生中、ズームボタンで音声を調整できます。T ボタンを押すと音量が大きくなり、W ボタンを押すと小さくなります。
- 再生画面に戻るには、MENUボタンを押してください。

音声メモを削除するには

音声メモ付き画像を選んで 🗑 ボタンを押します。

- マルチセレクターで［[♪]］を選んで OK ボタンを押すと、音声メモだけが削除されます。
- ［はい］を選んで OK ボタンを押すと、画像と音声メモの両方が削除されます。





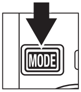


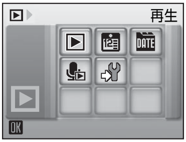
特定の日付の画像を選ぶ

カレンダーモード、撮影日一覧モードでは、撮影した日付を選んで画像を表示できます。MENU ボタンを押すと、カレンダー / 撮影日一覧メニューが表示され、同じ日付の画像をまとめて削除したり、プリント指定やプロテクトなどを一度に設定できます。

カレンダーモードで日付を選ぶ

1 再生時に MODE ボタンを押して、再生モードメニューを表示する





2 マルチセレクターで（カレンダーモード）を選び、OK ボタンを押す

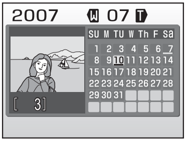




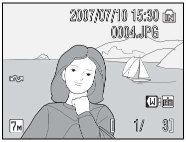
3 日付を選び、OK ボタンを押す

- 撮影画像のある日付に黄色の下線が表示されます。黄色の下線がついている日付を選びます。
- W ボタンを押すと前の月、T ボタンを押すと次の月のカレンダーが表示されます。



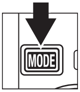


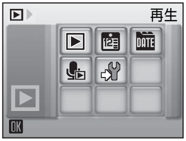
- 選んだ日に、最初に撮影された画像が 1 コマ表示されます。
- 1 コマ表示の状態で W ボタンを押すと、カレンダーに戻ります。



撮影日一覧モードで日付を選ぶ

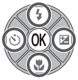
1 再生時に MODE ボタンを押して、再生モードメニューを表示する

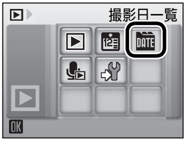




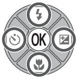
2 マルチセレクターで DATE（撮影日一覧モード）を選び、OK ボタンを押す

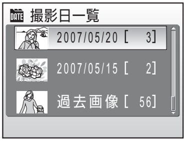
- 撮影日一覧モードに切り換わります。
- 撮影画像のある日付が一覧表示されます。※

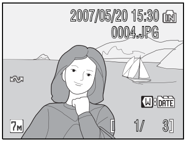




3 日付を選び、OK ボタンを押す



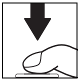




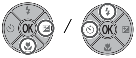
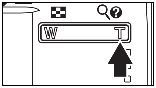
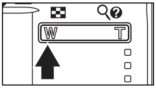
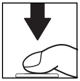
- 選んだ日に最初に撮影した画像が、表示されます。
- 1 コマ表示の状態で **W** ボタンを押すと、撮影日一覧モードに戻ります。

※表示される撮影日は最大 29 日分です。撮影日が 30 日以上ある場合は、最新の 29 日分の撮影日に加え、［**過去画像**］という項目が表示されます。［**過去画像**］には、日付別に表示される 29 日分以外のすべての画像がまとめられています。

カレンダー表示 / 撮影日一覧表示時の操作

機能	ボタン	
日付を選ぶ		–
月を選ぶ（カレンダー表示のみ）	W T	–
1 コマ再生モードにする	OK ボタン	26
その日付のすべての画像を削除する	🗑 ボタン	26
カレンダー / 撮影日一覧メニューを表示する	MENU ボタン	57
再生モードメニューを表示する	MODE ボタン	8
撮影に戻る	▶ ボタン 	26

1 コマ表示時の操作

機能	ボタン	
次の画像を見る / 前の画像を見る		9
画像を拡大する		46
カレンダー表示 / 撮影日一覧表示に切り換える		–
静止画表示時：手ブレを補正する	OK（((✋))）ボタン	49
動画表示時：動画を再生する	OK ボタン	64
画像を削除する	🗑 ボタン	26
カレンダー / 撮影日一覧メニューを表示する	MENU ボタン	57
再生モードメニューを表示する	MODE ボタン	8
撮影に戻る	▶ ボタン / 	26

カレンダー / 撮影日一覧メニュー

カレンダーモード / 撮影日一覧モードで MENU ボタンを押すと、選んだ日付の画像だけを対象とする以下のメニューが表示されます。

ボタン	👁
D- ライティング※	48
プリント指定	81
スライドショー	96
削除	97
プロテクト設定	98
転送マーク設定	98
スモールピクチャー※	51
音声メモ※	52

※1 コマ表示時のみ

カレンダー表示 / 撮影日一覧表示と 1 コマ表示では、対象となる画像が次のように異なります。

- カレンダー表示/撮影日一覧表示時では、選んだ日付の画像がすべて対象となります。
- 1 コマ表示時では、表示中の画像を含む日付の画像すべてが対象となりますが、後で個別に対象とするかどうか設定できます。

✔ カレンダーモード / 撮影日一覧モードについてのご注意

- カレンダーモードと撮影日一覧モードで認識できる画像は、9000 コマまでです。9000 コマを超える画像がある場合は、カレンダーや撮影日一覧のコマ数の横に「*」マークが表示されます。* マークの日付には、実際にはそれ以上の画像が含まれていることを示しています。
- 日時を設定せずに撮影した画像は、表示されません。

✔ [プリント指定]、[転送マーク設定] についてのご注意

選んだ日付以外の画像がすでにプリント指定または転送マーク設定されていると、[**選択日以外のプリント指定（または転送マーク設定）を残しますか？**] という確認画面が表示されます。[**はい**] を選ぶと、前回の設定内容に今回の設定内容が追加されます。[**いいえ**] を選ぶと、前回の設定は削除され、今回の設定だけが残ります。

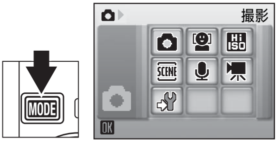
動画を撮影する / 再生する

動画を撮影する

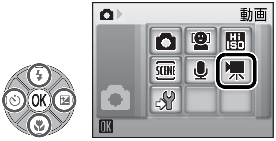
動画（音声付き *）を撮影できます。

* 微速度撮影 640★、ストップモーションを除く

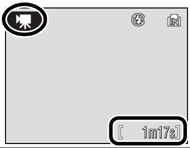
1 撮影時に MODE ボタンを押して、撮影モードメニューを表示させる



2 マルチセレクターで 動画アイコン（動画）を選び、OK ボタンを押す

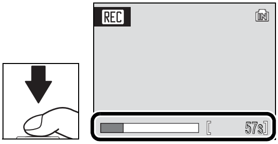


- 液晶モニターに、記録できる時間が表示されます。

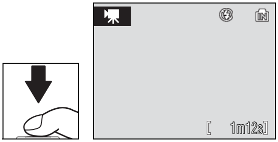


3 シャッターボタンを全押しして、撮影を始める

- 画面下部で、記録できる残り時間の目安を確認できます。



- もう一度シャッターボタンを全押しすると、撮影が終了します。
- 内蔵メモリーまたはSDカードの残量がなくなると、撮影は自動的に終了します。



動画メニュー

動画モードで MENU ボタンを押すと、動画メニューが表示されます。

種類	内容	参照
動画設定	撮影する動画の種類を設定します。	60
AF-MODE	動画撮影時のピント合わせについて設定します。	61
電子式手ブレ補正	動画撮影時の手ブレの影響を軽減する電子式手ブレ補正機能の ON/OFF を設定します。	61

• 動画メニューを終了するには、MENU ボタンまたはシャッターボタンを押します。

動画撮影についてのご注意

• フラッシュ（28）と露出補正（32）は、微速度撮影、ストップモーションのみで使えます。マクロモード（31）はすべての動画モードで使えますが、セルフタイマー（30）は使えません。
• 動画撮影中、電子ズームは 2 倍まで作動しますが、光学ズームは使えません。光学ズームを使いたい場合は、撮影前に操作してください。
• 記録可能な最大容量は 2GB です。

動画設定

撮影する動画の種類を選びます。

種類	内容
TV 再生 640★	動画を画像サイズ 640×480 ピクセル、30 フレーム / 秒で撮影します。
カメラ再生 320★	動画を画像サイズ 320×240 ピクセル、30 フレーム / 秒で撮影します。
カメラ再生 320（初期設定）	動画を画像サイズ 320×240 ピクセル、15 フレーム / 秒で撮影します。
長時間再生 160	動画を画像サイズ 160×120 ピクセル、15 フレーム / 秒で撮影します。画像サイズが小さいため、他の動画と比べて、より長時間の撮影が可能となります。
微速度撮影 640★（62）	自動的に一定間隔で静止画（画像サイズ 640×480 ピクセル）を自動的に連続撮影してから、その静止画をつなげて動画として記録します。音声は記録されません。再生するときは 30 フレーム / 秒で再生されます。
ストップモーション（63）	静止画（画像サイズ 640×480 ピクセル）を複数コマ撮影してから、その画像をつないで動画として記録します。音声は記録されません。再生するときは、5、10、15 フレーム / 秒から選べます。

記録可能時間 / フレーム数

種類	内蔵メモリー（約 20MB）	SD カード（256MB）
TV 再生 640★	19 秒	約 3 分 30 秒
カメラ再生 320★	39 秒	約 7 分 15 秒
カメラ再生 320（初期設定）	1 分 17 秒	約 14 分 15 秒
長時間再生 160	4 分 16 秒	47 分
微速度撮影 640★（62）	233 フレーム	1800 フレーム
ストップモーション（63）	233 フレーム	1800 フレーム

・数値はおおよその目安です。同じ容量でも SD カードの種類によって記録可能時間は異なります。
・このカメラで記録できる動画の最大容量は 2GB です。4GB の SD カードを使用すると、最大 2GB までの記録可能時間が表示されます。

AF-MODE

動画撮影時のオートフォーカスの方法を選びます。

シングル AF（初期設定）	シャッターボタンを半押しするとピント合わせを行い、半押ししている間はピントを固定（AF ロック）します。撮影中はそのピントで固定されます。
常時 AF	撮影中、常にピント合わせを繰り返します。 撮影中にカメラの動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、［**シングル AF**］に設定して撮影することをおすすめします。

電子式手ブレ補正

動画撮影時の電子式手ブレ補正について設定します。

ON	［**微速度撮影 640★**］および［**ストップモーション**］以外の動画撮影時に手ブレの影響を軽減します。
OFF（初期設定）	電子式手ブレ補正を行いません。

電子式手ブレ補正の設定状態は、撮影時の画面で確認できます（6）（［**OFF**］のときは、何も表示されません）。

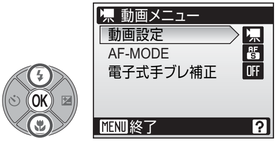
動画のファイル名とフォルダ名について

「記録データのファイル名とフォルダ名」（115）をご覧ください。

微速度撮影をする

花のつぼみが開く様子を早送りで観察したいときなどに便利です。

1 マルチセレクターで動画メニューから［動画設定］を選び、OK ボタンを押す

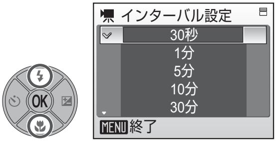


2 ［微速度撮影 640★］を選び、OK ボタンを押す



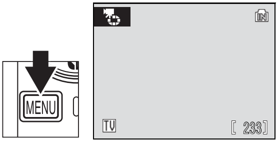
3 撮影間隔を選び、OK ボタンを押す

- ［30 秒］、［1 分］、［5 分］、［10 分］、［30 分］、［60 分］から選べます。



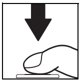
4 MENU ボタンを押す

- 撮影画面に戻ります。



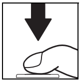
5 シャッターボタンを全押しして、撮影を始める

- 撮影の合間は液晶モニターが消灯し、電源ランプが点滅します。
- 次の撮影時間になると、自動的に液晶モニターが点灯します。



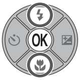
6 もう一度シャッターボタンを全押しして、撮影を終了する

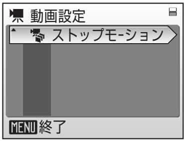
- 内蔵メモリー /SD カードの残量がなくなったとき、または撮影フレーム数が 1800 フレームに達すると、撮影が自動的に終了します。1800 フレーム撮影した場合は、再生時間 60 秒の動画になります。



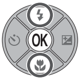
ストップモーション撮影をする

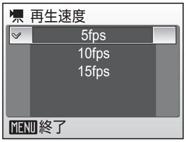
1 マルチセレクターで［動画設定］メニューから［ストップモーション］を選び、Ⓞ ボタンを押す





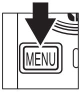
2 再生速度を選び、Ⓞ ボタンを押す





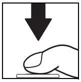
3 MENU ボタンを押す

- 撮影画面に戻ります。



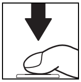
4 シャッターボタンを押して、1 フレーム目を撮影する

- 撮影した画像が半透過で表示されます。



5 シャッターボタンを押して、2 フレーム目を撮影する

- 半透過で表示される画像を目安にし、2 フレーム以降を撮影してください。
- ストップモーション中はオートパワーオフ（109）が 30 分になり、待機状態になると撮影が終了します。



6 ストップモーションを終了するときは、Ⓞ ボタンを押す

- 内蔵メモリー /SD カードの残量がなくなったとき、または撮影フレーム数が 1800 フレームに達すると、ストップモーション撮影が自動的に終了します。



微速度撮影、ストップモーションについてのご注意

- フラッシュモード（28）、マクロモード（31）、露出補正（32）は、1 フレーム目を撮影する前に設定してください。2 フレーム目以降はすべて同じ設定で撮影されます。撮影開始後に設定の変更はできません。
- 途中でバッテリーが切れることがないように、充分に充電したバッテリーをお使いください。別売の AC アダプターEH-62D（114）を使用すると、家庭用コンセント（AC100V）から COOLPIX S200 へ電源を供給できます。EH-62D 以外の AC アダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

動画を再生する

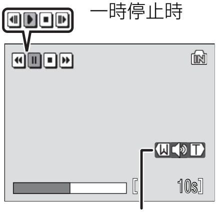
1 コマ再生モード（26）で マークが表示されている画像が動画です。
OK ボタンを押すと、再生できます。



動画再生中

動画の再生中は、ズームボタンで音量を調整します。T（Q）ボタンを押すと音量が大きくなり、W（）ボタンを押すと小さくなります。

画面上部には操作パネルが表示されます。マルチセレクターの**左右**を押して操作ボタンを選ぶと、以下の操作ができます。



機能	ボタン	内容	
巻き戻し		OK ボタンを押している間、巻き戻します。	
早送り		OK ボタンを押している間、早送りします。	
一時停止		OK ボタンを押すと、一時停止します。 一時停止中にマルチセレクターでコマ送り / コマ戻しができます。 また、画面上部の操作ボタンで、以下の操作ができます。	
			OK ボタンを押すと、1 コマ戻ります。 押し続けると、連続してコマ戻しされます。
			OK ボタンを押すと、1 コマ進みます。 押し続けると、連続してコマ送りされます。
			OK ボタンを押すと、再生を再開します。
			OK ボタンを押すと、1 コマ再生モードに戻ります。
再生終了		OK ボタンを押すと、1 コマ再生モードに戻ります。	

動画ファイルを削除する

動画再生中や、1 コマ再生モード（26）、サムネイル表示モード（45）で動画を選んで ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。［**はい**］を選んで OK ボタンを押すと、動画ファイルが削除されます。削除をやめるときは、［**いいえ**］を選んで OK ボタンを押します。



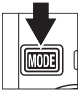
音声レコード機能を使う

音声を録音する

ボイスレコーダーのように、内蔵メモリーや SD カードに音声を録音します。

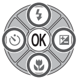
内蔵メモリーには最長約 47 分、SD カード（256MB 以上）には最長約 5 時間録音できます。

1 撮影時に MODE ボタンを押して、撮影モードメニューを表示させる



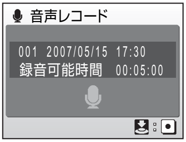


2 マルチセレクターで 🎙（音声レコード）を選び、OK ボタンを押す

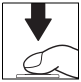




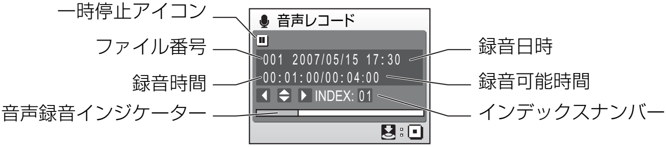
- ［音声レコード］画面に録音可能時間が表示されます。



3 シャッターボタンを全押しして、録音を始める



- 録音中は、下のような画面が表示され、フラッシュランプが点灯します。液晶モニターが節電機能（📖 21）によって消灯している場合は ▶ ボタンを押して、液晶モニターを点灯させてください。

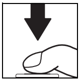


4 シャッターボタンを全押しして、録音を終える

- 内蔵メモリー/SD カードの残量が無くなったときや、録音開始から 5 時間経過したときは、自動的に録音が終了します。

音声録音中の操作

録音中は以下の操作ができます。液晶モニターが消灯しているときは、▶ ボタンを押すと点灯します。

機能	ボタン	内容
録音を一時停止 / 再開する	OK	一時停止中は、フラッシュランプが点滅します。
インデックスを付ける		再生時に目的の場所が見つけやすいように、インデックス（しおり）を付けます。録音開始時のインデックスが 1 で、その後マルチセレクターを**上下左右**に押すたびに、98 個までのインデックスを付けられます。
録音を終了する		録音中にシャッターボタンを全押しすると、録音が終了します。

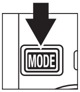
✔ 音声データについてのご注意

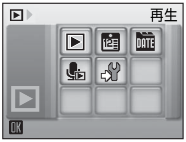
音声レコード機能で録音した音声データを、PictureProject でパソコンに転送することはできません。音声データをパソコンに転送するには、セットアップメニューの［**インターフェース**］→［USB］を［Mass Storage］にしてからパソコンと接続し、パソコン側から操作して音声データをコピーしてください。

パソコンにコピーした音声データは、QuickTime などのソフトウェアで再生できます。
なお、パソコンで再生すると、カメラで付けたインデックスは機能しません。

音声を再生する

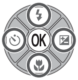
1 再生時に MODE ボタンを押して、
再生モードメニューを表示させる





2 マルチセレクターで 🎙 を選び、Ⓚ ボタンを押す

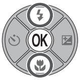
［音声データ選択］画面が表示されます。





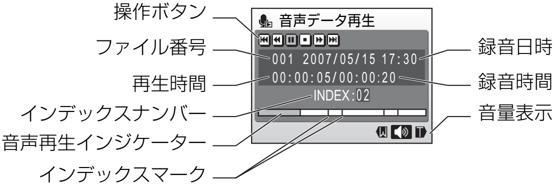
3 再生したいデータを選び、Ⓚ ボタンを押す

- 音声データが再生されます。



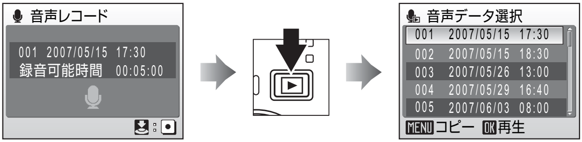


- 再生中は、下のような画面が表示されます。



音声データの再生について

［音声データ選択］画面は、[音声レコード]（65）画面で ▶ ボタンを押しても表示することができます。



音声データ再生中の操作

音声の再生中は、ズームボタンで音量を調整します。**T**（🔍）ボタンを押すと音量が大きくなり、**W**（▦）ボタンを押すと小さくなります。

画面上部には操作パネルが表示されます。マルチセレクターの**左右**を押して操作ボタンを選ぶと、以下の操作ができます。

機能	ボタン	内容
巻き戻し	◀◀	OK ボタンを押している間、巻き戻します。
早送り	▶▶	OK ボタンを押している間、早送りします。
前のインデックスへ	⏮	OK ボタンを押すと、前のインデックスに戻ります。
次のインデックスへ	⏭	OK ボタンを押すと、次のインデックスに進みます。
一時停止	⏸	OK ボタンを押すと、一時停止します。
再開	▶	OK ボタンを押すと、再生を再開します。
再生終了	■	OK ボタンを押すと、音声データ選択画面に戻ります。

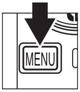
音声データを削除するには

音声の再生中に 🗑 ボタンを押すか、一覧表示中にマルチセレクターで削除したい音声データを選んで 🗑 ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。［**はい**］を選んで OK ボタンを押すと、音声データが削除されます。削除をやめるときは、［**いいえ**］を選んで OK ボタンを押します。

音声データをコピーする

内蔵メモリーから SD カードに、または SD カードから内蔵メモリーに、音声データをコピーすることができます。この機能は、カメラに SD カードが入っていないときには、使うことができません。

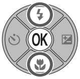
1 ［音声データ選択］画面（67 の ステップ 3）で、MENU ボタンを押す

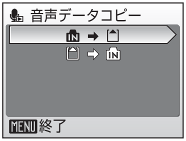




2 マルチセレクターでコピーの方向を選び、OK ボタンを押す

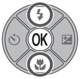
IN ➔ □ ：内蔵メモリーから SD カードへコピー
□ ➔ IN ：SD カードから内蔵メモリーへコピー





3 コピーの方法を選び、OK ボタンを押す

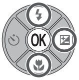
- ［**選択データコピー**］→ステップ 4 へ
- ［**全データコピー**］→ステップ 5 へ

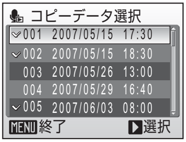




4 コピーするデータを選び、OK ボタンを押す

- マルチセレクターの右を押して、データの選択（チェックマークあり）/ 選択解除（チェックマークなし）を切り換えます。
- 複数のデータが選べます。
- コピーを確認する画面が表示されます。





5 ［はい］を選んで OK ボタンを押す

- 音声データがコピーされます。

音声データコピーについてのご注意

他社製のカメラで録音した音声データについては、音声データコピー機能の動作は保証しておりません。

［音声データがありません］のメッセージについて

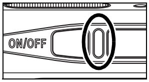
SD カードに音声データが記録されていないときに を選ぶと（67 の ステップ 2）、［**音声データがありません**］と表示されますが、MENU ボタンを押すと［**音声データコピー**］画面が表示され、内蔵メモリーの音声データを SD カードにコピーできます。

テレビやパソコン、プリンターに接続する

テレビに接続する

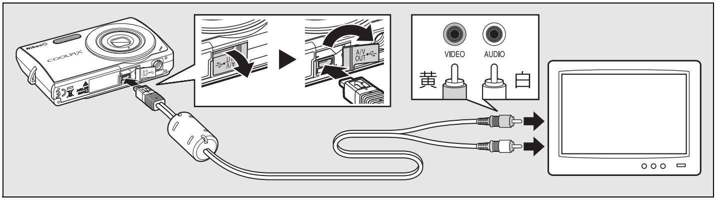
カメラを付属のオーディオビデオケーブル（AV ケーブル）でテレビに接続すると、撮影した画像をテレビ画面で再生できます。

1 カメラの電源を OFF にする



2 付属の AV ケーブルで、カメラとテレビを接続する

- AV ケーブルの黄色のプラグをテレビの映像入力端子に、白のプラグを音声入力端子に接続してください。

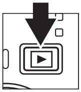


3 テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換える

- 詳しくはお使いのテレビの使用説明書をご覧ください。

4 カメラの ▶ ボタンを押し続けて電源を ON にする

- カメラは再生モードになり、撮影した画像がテレビに表示されます。
- テレビとの接続中は、カメラの液晶モニターは消灯したままになります。



電源についてのご注意

テレビやパソコン、プリンターなどと接続するときは、途中でバッテリーが切れることがないように、充分に残量のあるバッテリーまたは別売のACアダプターEH-62Dをお使いください。

ケーブル接続時のご注意

- ケーブルを接続するときは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- ケーブルの端子を差し込むときに端子カバーをはさまないようにご注意ください。

画像がテレビに映らないとき

セットアップメニュー（100）の［**インターフェース**］（111）→［**ビデオ出力**］がお使いのテレビに合っているか確認してください。

パソコンに接続する

付属の USB ケーブルでカメラをパソコンに接続すると、撮影した画像を付属のソフトウェア PictureProject を使って、パソコンに転送して保存できます。

カメラとパソコンを接続する前に

PictureProject をインストールする

カメラとパソコンを接続する前に、付属のソフトウェア PictureProject をパソコンにインストールします。PictureProject のインストール方法については、簡単操作ガイドまたは PictureProject ソフトウェア使用説明書（CD-ROM）をご覧ください。

USB 通信方式を確認する

カメラからパソコンへ画像を転送するには、2 つの方法があります。

- パソコン上の PictureProject を操作して転送する
- カメラの 〜（Ⓚ）ボタンを押して転送マーク付き画像を転送する

お使いのパソコンの OS（オペレーティングシステム）および、カメラとパソコンの USB 通信方式の組み合わせによって、転送できる方法が次のように異なります。

OS ※1	USB 通信方式※2	
	カメラの 〜（Ⓚ）ボタンで転送する※3	PictureProject の［転送］ボタンで転送する
32bit 版の Windows Vista（Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate）	［Mass Storage］	［MTP/PTP］または［Mass Storage］
Windows XP（Home Edition/Professional）	［MTP/PTP］または［Mass Storage］	
Windows 2000 Professional ※4	［Mass Storage］	
Mac OS X（Version 10.3.9、10.4）	［MTP/PTP］	［MTP/PTP]］または［Mass Storage］

※ 1 対応 OS に関する最新情報は、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

※ 2 このカメラの USB 通信方式には、［MTP/PTP］（初期設定）と［Mass Storage］があります（▣ 72）。

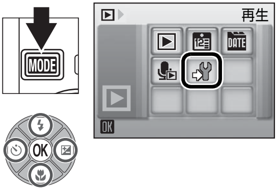
※ 3 次の場合、カメラの 〜（Ⓚ）ボタンは使用できません。PictureProject の［**転送**］ボタンで転送してください。
- ［USB］の設定が［Mass Storage］になっているときに内蔵メモリーの画像を転送する場合
- SD カードの書き込み禁止スイッチが「Lock」の位置になっているとき（「Lock」を解除するとカメラの Ⓚ（転送 〜）ボタンを使用できます。）

※ 4 パソコンの OS が Windows 2000 Professional の場合は、カメラの USB 通信方式を必ず［Mass Storage］に設定してください。USB 通信方式を［MTP/PTP］にして接続すると、パソコンに［新しいハードウェアの検索ウィザードの開始］と表示されます。［**キャンセル**（中止)］を選んで画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

USB 通信方式の設定方法

USB 通信方式は、パソコンやプリンターと接続する前にカメラのセットアップメニュー（100）で設定します。

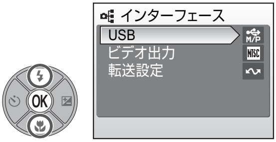
1 MODE ボタンを押して再生モードメニューまたは撮影モードメニューを表示させ、マルチセレクターで を選び、OK ボタンを押す



2 ［インターフェース］を選び、OK ボタンを押す

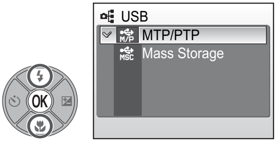


3 ［USB］を選び、OK ボタンを押す



4 ［MTP/PTP］または［Mass Storage］を選び、OK ボタンを押す（71）

- 設定が有効になります。
- MODE ボタンを押すと設定を終了します。

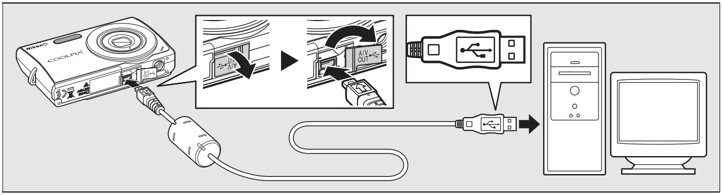


カメラからパソコンに画像を転送する

1 PictureProject がインストールされているパソコンを起動する

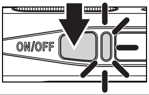
2 カメラの電源を OFF にする

3 付属の USB ケーブルで、カメラとパソコンを接続する



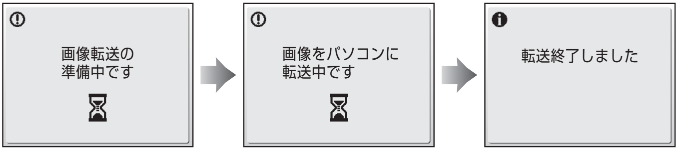
4 カメラの電源を ON にする

パソコンで［**PictureProject Transfer**］が起動します（PictureProject の初期設定）。



5 画像を転送する

- **PictureProject を操作して転送する方法：**
  パソコンを操作して、PictureProject Transfer の［**転送**］ボタンをクリックします。
  記録されているすべての画像がパソコンに転送されます。転送が終了すると、PictureProject に転送した画像が表示されます。
- **カメラの ∿（OK）ボタンを押して転送する方法：**
  カメラの ∿（OK）ボタンを押すと、転送マーク（∿）（98、111）の付いている画像がパソコンに転送されます。転送が始まるとカメラの液晶モニターには、次のように表示されます。



6 転送が終わったら、カメラとパソコンの接続を外す

- **USB 通信方式が［MTP/PTP］の場合**：カメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを抜きます。
- **USB 通信方式が［Mass Storage］の場合**：USB ケーブルを外したり、カメラの電源を OFF にする前に、必ず次の操作を行ってください。次の操作を行った後は、カメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを抜きます。

Windows Vista/Windows XP：
パソコン画面右下の［**ハードウェアの安全な取り外し**］アイコンをクリックして［**USB 大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）※を安全に取り外します。**］を選んでください。

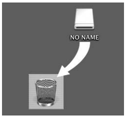


Windows 2000 Professional：
パソコン画面右下の［**ハードウェアの取り外しまたは取り出し**］アイコンをクリックして［**USB 大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）※を停止します**］を選んでください。



※ドライブ（E:）の「E」は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

Mac OS X：
デスクトップ上の［NO NAME］アイコンをゴミ箱に捨ててください。

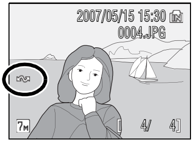


ケーブル接続時のご注意

- ケーブルを接続するときは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- USB ハブに接続した場合の動作は保証しておりません。
- ケーブルの端子を差し込むときに端子カバーをはさまないようにご注意ください。

転送マーク（⇋）について

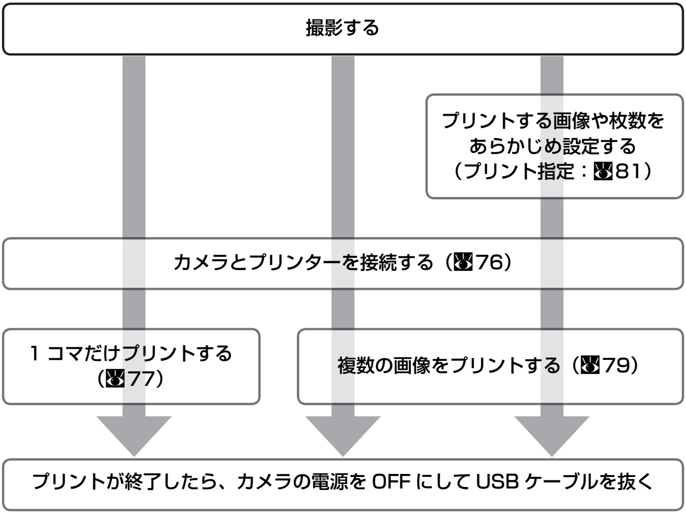
再生時に ⇋ マークが付いている画像は、パソコンとの接続時に ⇋（Ⓚ）ボタンを押すと、パソコンに転送されます。初期設定ではすべての画像に転送マークが付きます。転送マークを付けたり外したりするには、以下の 2 通りの方法があります。



- セットアップメニューの［**インターフェース**］→［**転送設定**］（111）
  ON にすると、**これから撮影する画像すべて**に、転送マークを付けます（初期設定）。
- 再生メニューの［**転送マーク設定**］（98）
  撮影済みの画像に、個別に転送マークを付けたり外したりできます。

プリンターに接続する

PictBridge（132）対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます（ダイレクトプリント）。ダイレクトプリントの手順は、以下のとおりです。



画像のプリント方法について

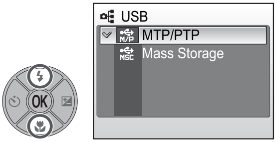
SD カードに記録した画像は、パソコンに転送したり、カメラをプリンターに接続してプリントする他に次の方法でプリントできます。

- カードスロットが付いた DPOF 対応プリンターでプリントする。
- プリントサービス店にプリントを依頼する。

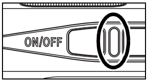
これらの方法でプリントするときは、プリントする画像やプリント枚数などを、カメラの［**プリント指定**］メニューを使って、あらかじめ SD カードに設定できます（81）。

カメラとプリンターを接続する

1 カメラの USB 通信方式（72）を［MTP/PTP］に設定する



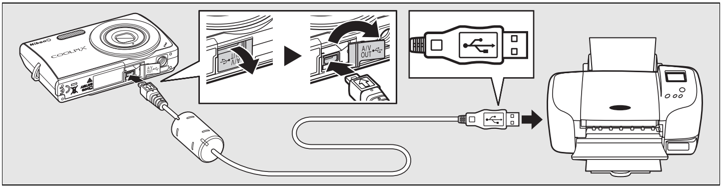
2 カメラの電源を OFF にする



3 プリンターの電源を ON にする

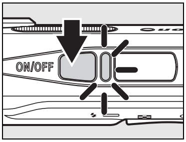
プリンターの設定を確認してください。

4 付属の USB ケーブルで、カメラとプリンターを接続する



5 カメラの電源を ON にする

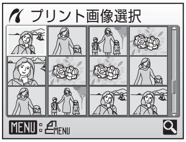
- 正しく接続されると、カメラの液晶モニターに ① の画面が表示された後、［プリント画像選択］画面 ② が表示されます。



①



②



ケーブル接続時のご注意

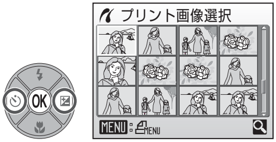
- ケーブルを接続するときは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- ケーブルの端子を差し込むときに端子カバーをはさまないようにご注意ください。

1 コマだけプリントする

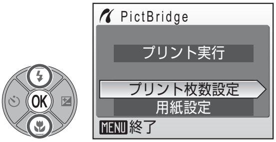
あらかじめカメラとプリンターを正しく接続してから（76）、次の手順でプリントしてください。

1 マルチセレクターの左右でプリントしたい画像を選び、OK ボタンを押す

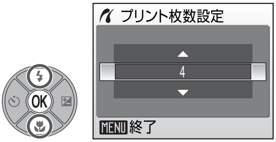
- ［**PictBridge**］画面が表示されます。
- **T**（Q）ボタンを押すと 1 コマ表示に、**W**（⊞）ボタンを押すと 12 コマ表示に切り換ります。



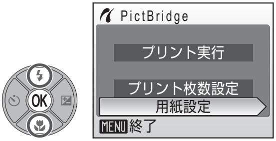
2 ［**プリント枚数設定**］を選び、OK ボタンを押す



3 プリント枚数（9 枚まで）を設定し、OK ボタンを押す

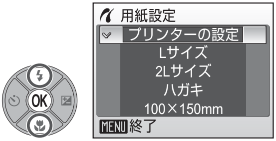


4 ［**用紙設定**］を選び、OK ボタンを押す

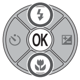


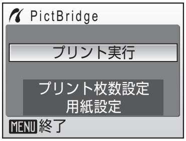
5 用紙サイズを選び、OK ボタンを押す

- プリンターの設定を優先したいときは、［**プリンターの設定**］を選んで OK ボタンを押します。



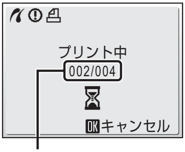
6 ［プリント実行］を選び、㊍ ボタンを押す





7 プリントがはじまる

- プリントが終わると、ステップ 1 の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、㊍ ボタンを押します。

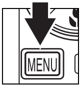


プリント中の枚数 ／ 総枚数

複数の画像をプリントする

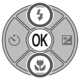
あらかじめカメラとプリンターを正しく接続してから（76）、以下の手順でプリントしてください。

1 ［プリント画像選択］画面が表示されたら、MENU ボタンを押す



- ［**プリントメニュー**］画面が表示されます。

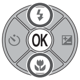
2 マルチセレクターで［**用紙設定**］を選び、OK ボタンを押す

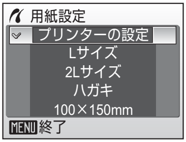




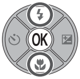
3 用紙サイズを選び、OK ボタンを押す

- プリンターの設定を優先したいときは、［**プリンターの設定**］を選んで OK ボタンを押します。



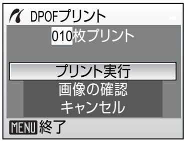


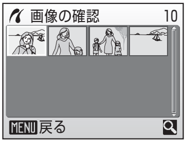
4 ［**プリント選択**］、［**全画像プリント**］または［**DPOF プリント**］を選んで、OK ボタンを押す



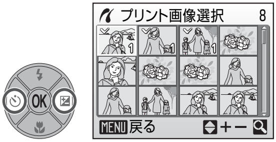


プリント選択	画像を複数選んでプリントできます（ステップ 5 に進む）。
全画像プリント	SD カードまたは内蔵メモリー内のすべての画像を 1 枚ずつプリントできます（ステップ 7 に進む）。
DPOF プリント	［**プリント指定**］（81）であらかじめ指定しておいた画像をプリントできます。 • 右の画面が表示されます。 • ［**プリント実行**］を選び、OK ボタンを押すと画像がプリントされます（ステップ 7 に進む）。 • ［**画像の確認**］を選んで OK ボタンを押すと、プリント指定した画像が確認できます。もう一度 OK ボタンを押すと、画像がプリントされます（ステップ 7 に進む）。 • ［**キャンセル**］を選んで OK ボタンを押すと、［プリントメニュー］画面に戻ります。

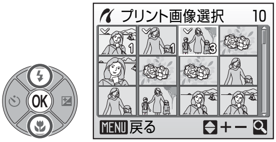




5 マルチセレクターの左右を押して、プリントする画像を選ぶ



6 マルチセレクターの上下を押して、プリント枚数（各 9 枚まで）を設定する



- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を 0 にすると、チェックマークが消え、その画像の選択が解除されます。
- ステップ 5、6 を繰り返して、プリントする画像をすべて選択します。
- **T**（Q）ボタンを押すと 1 コマ表示に、**W**（▦）ボタンを押すと 12 コマ表示に切り換ります。
- 設定が終了したら OK ボタンを押します。

7 プリントがはじまる

- プリントが終わると、ステップ 2 の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、OK ボタンを押します。



用紙設定について

用紙設定画面では、［**プリンターの設定**］以外に、［**Lサイズ**］、［**2Lサイズ**］、［**ハガキ**］、［**100×150 mm**］、［**4×6-in**］、［**8×10-in**］、［**Letter**］、［**A3サイズ**］、［**A4 サイズ**］のうち、プリンターが対応している用紙サイズが表示されます。プリンター側の設定を優先したいときは、［**プリンターの設定**］を選んでください。

SD カードにプリントする画像や枚数を設定する（プリント指定）

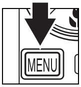
DPOF（📖132）対応のプリンターやプリントサービス店で画像をプリントするときは、どの画像を何枚プリントするかをあらかじめ指定できます。

撮影日や撮影情報（シャッタースピードと絞り値）を画像に入れてプリントすることもできます。

プリント指定で設定した画像の選択やプリント枚数で、カメラを PictBridge 対応プリンターに接続してプリントすることもできます。カメラから SD カードを取り外すと、内蔵メモリーに記録した画像にもプリント指定できます。

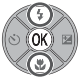
1 再生モードで MENU ボタンを押す

• 再生メニューが表示されます。



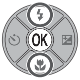
2 マルチセレクターで［**プリント指定**］を選び、⊛ ボタンを押す

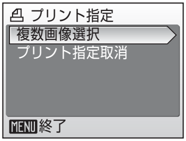
• ［**プリント指定**］画面が表示されます。





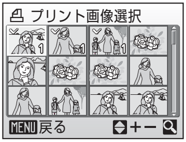
3 ［**複数画像選択**］を選び、⊛ ボタンを押す





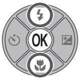
4 マルチセレクターの左右を押して、プリントする画像を選ぶ

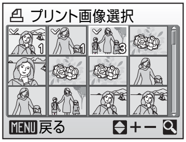




5 マルチセレクターの上下を押して、プリント枚数（各 9 枚まで）を設定する

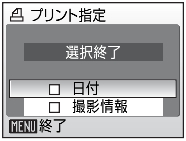
• プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を 0 にすると、チェックマークが消え、その画像の選択が解除されます。





• ステップ 4、5 を繰り返して、プリントする画像をすべて選択します。
• **T**（Q）ボタンを押すと 1 コマ表示に、**W**（▦）ボタンを押すと 12 コマ表示に切り換ります。
• 設定が終了したら ⊛ ボタンを押します。

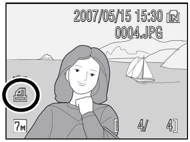
6 日付と撮影情報を画像に入れてプリントするかどうかを設定する





- ［**日付**］を選んで OK ボタンを押すと、すべての画像に撮影日が印字されます。
- ［**撮影情報**］を選んで OK ボタンを押すと、すべての画像に撮影情報が印字されます。ただしカメラとプリンターを接続してプリントするときは、［**撮影情報**］は印字できません。
- ［**選択終了**］を選んで OK ボタンを押すと、設定が有効になります。

［**プリント指定**］を行った画像は、再生時の画面で確認できます。



プリント指定についてのご注意

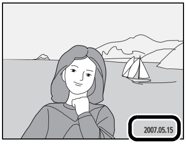
プリント指定を行った後、再び［**プリント指定**］メニューを表示すると、［**日付**］と［**撮影情報**］の設定はリセットされますのでご注意ください。

プリント指定をすべて取り消すには

ステップ 3 で［**プリント指定取消**］を選び、OK ボタンを押します。
すべての画像に対するプリント指定が取り消されます。

日付のプリントについて

プリントされる日付は、撮影時点でカメラに設定されている日時です。撮影後にセットアップメニューの［**日時設定**］を変更してもプリントされる日付には反映されません。



［デート写し込み］との違いについて

［**プリント指定**］で設定した日付は DPOF 対応（132）プリンターでのみプリント可能です（プリント位置はプリンターに依存します）。DPOF に対応していないプリンターで日付をプリントするときは、セットアップメニューの［**デート写し込み**］（107）をお使いください（プリント位置は固定です）。両方を設定すると、DPOF 対応プリンターを使用しても［**デート写し込み**］による日付のみプリントされます。

撮影、再生、セットアップメニューを使う

撮影に関する設定—撮影メニュー

撮影メニューには、以下の項目があります。

メニュー項目	内容	参照ページ
画像モード	記録時の画像モード（画像の大きさと圧縮率の組み合わせ）を設定します。	84
WB ホワイトバランス※	画像が見た目に近い色で記録されるように、光源に合わせてホワイトバランスを設定します。	86
連写※	連写（連続撮影）するかどうかを設定します。	88
BSS BSS※	ベストショットセレクター（最大 10 コマを連写し、最も鮮明な 1 コマをカメラが自動的に選んで記録する機能）を設定します。	90
ISO ISO 感度設定	被写体の明るさなどに応じて、ISO 感度を設定します。	91
ピクチャーカラー※	撮影する画像の色調について設定します。	91
VR 電子式手ブレ補正	撮影中に電子式手ブレ補正を行うかどうかを設定します。	92

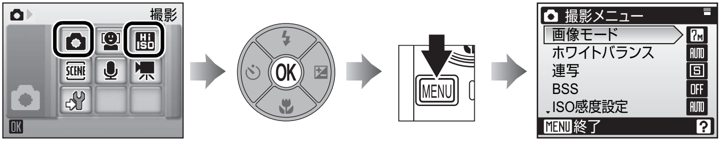
※これらの機能は、他の機能と同時に設定できないことがあります（93）。

高感度モード

高感度モードで MENU ボタンを押すと、高感度メニューが表示され、（オート撮影）モードと同様に撮影メニュー（ISO 感度設定、電子式手ブレ補正を除く）が設定できます。

撮影メニュー / 高感度メニューの表示方法

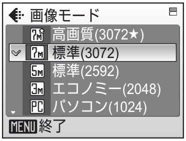
撮影時に MODE ボタンを押して撮影モードメニューを表示させ、マルチセレクターで（オート撮影）または（高感度）を選んで OK ボタンを押します。
MENU ボタンを押すと、撮影メニューまたは高感度メニューが表示されます。



- メニューの選択と設定にはマルチセレクターを使います（9）。
- 撮影メニュー、高感度メニューを終了するには、MENU ボタンを押します。

画像モード

画像モード（画像サイズと圧縮率の組み合わせ）を選びます。画像の用途や内蔵メモリー / SD カードの残量に合わせて設定してください。画像サイズの大きい画像モードほど、大きくプリントするのに適していますが、記録できるコマ数は少なくなります。



画像モード	画像サイズ（ピクセル）	内容
高画質（3072★）	3072×2304	[**標準**]よりも精細な画像になります。圧縮率は約 1/4 です。
標準（3072）（初期設定）	3072×2304	ファイルサイズと画質のバランスが良く、一般的な撮影に適した画像モードです。圧縮率は約 1/8 です。
標準（2592）	2592×1944	
エコノミー(2048)	2048×1536	[**標準**] よりも画像サイズが小さいため、より多く撮影できます。圧縮率は約 1/8 です。
パソコン(1024)	1024×768	パソコンのモニターに表示するときに適しています。圧縮率は約 1/8 です。
TV（640）	640×480	電子メールへの添付や、テレビへの表示に適しています。圧縮率は約 1/8 です。
16:9	3072×1728	縦横比が 16:9 の画像を撮影できます。圧縮率は約 1/8 です。

画像モードの設定は、撮影時や再生時の画面で確認できます（6、7）。

画像モードと記録可能コマ数

内蔵メモリーや 256MB の SD カードに記録できるおおよそのコマ数は以下のとおりです。ただし、JPEG 圧縮の性質上、画像の絵柄によって記録可能コマ数は大きく異なります。同じ容量の SD カードでも、カードの種類によって、記録可能コマ数が異なることがあります。

画像モード	内蔵メモリー（約 20MB）	SD カード※1（256MB）	プリント時の大きさ※2（出力解像度 300dpi の場合）
高画質（3072★）	6 コマ	約 70 コマ	約 26×19.5 cm
標準（3072）	12 コマ	約 135 コマ	約 26×19.5 cm
標準（2592）	17 コマ	約 190 コマ	約 22×16.5 cm
エコノミー（2048）	27 コマ	約 300 コマ	約 17×13 cm
パソコン（1024）	93 コマ	約 1025 コマ	約 9×7 cm
TV（640）	175 コマ	約 1925 コマ	約 5×4 cm
16:9	16 コマ	約 180 コマ	約 26×14.5 cm

※ 1 記録可能コマ数が 10000 コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。
※ 2 ピクセル数÷プリンター解像度（dpi）×2.54 cm で計算しています。撮影した画像を印刷するときのプリントのサイズはプリンターの解像度によって変わります。

画像モードの設定について

画像モードはシーンメニュー、ブレ軽減モード、フェイスクリアーメニューからでも設定できます。どのメニューから設定しても同じ設定になります。

WB ホワイトバランス

人間の目は晴天、曇り空、白熱電球や蛍光灯の室内など、光源の色に関係なく白い被写体は白く見えます。人間の目に白く見える色を、デジタルカメラで白く撮影するには、光源の色に合わせて調整を行う必要があります。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。

初期設定の［**オート**］でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせて設定を変更してください。

AUTO **オート**（初期設定）	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。ほとんどの場合、この設定のままで撮影できます。
PRE **プリセット**	特殊な照明の下などでの撮影に適しています（87）。
晴天	晴天の屋外での撮影に適しています。
電球	白熱電球の下での撮影に適しています。
蛍光灯	白色蛍光灯の下での撮影に適しています。
曇天	曇り空の屋外での撮影に適しています。
フラッシュ	フラッシュを使う撮影に適しています。

ホワイトバランスの設定は、撮影時の画面で確認できます（［**オート**］のときは、何も表示されません）（6）。

［オート］、［フラッシュ］以外を選んだとき

［**オート**］、［**フラッシュ**］以外のホワイトバランスを選んだときは、フラッシュを（発光禁止）に設定してください（28）。

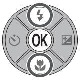
PRE プリセットホワイトバランス

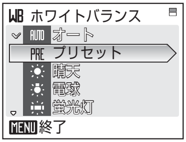
特殊な照明の下で撮影するときなど、［**オート**］や［**電球**］などの設定では望ましい結果が得られない場合に使用します（赤みがかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せたいときなど）。

1 撮影する照明下で、白またはグレーの被写体を用意する

2 マルチセレクターで［**ホワイトバランス**］画面の［**プリセット**］を選び、⊛ ボタンを押す

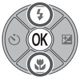
- レンズが望遠側にズームします。

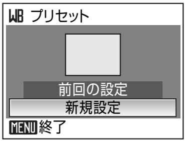




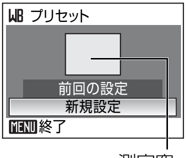
3 ［**新規設定**］を選ぶ

- 前回プリセットしたホワイトバランスを使いたいときは、［**前回の設定**］を選んで ⊛ ボタンを押してください。ホワイトバランスが前回のプリセット値に設定されます。





4 測定窓に、用意した白またはグレーの被写体を写す



測定窓

5 ⊛ ボタンを押す

- シャッターがきれて、ホワイトバランスのプリセット値が新たに設定されます。
- 画像は記録されません。

プリセットホワイトバランスについてのご注意

ステップ 5 で ⊛ ボタンを押したとき、フラッシュは発光しません。このため、フラッシュ撮影時のホワイトバランスの測定はできません。

連写

連写（連続撮影）するための設定です。連写中のピントと露出、ホワイトバランスは、最初の 1 コマと同じ条件に固定されます

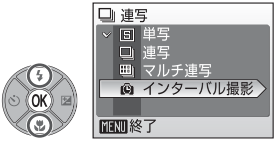
単写（初期設定）	1 コマずつ撮影します。
連写	シャッターボタンを全押ししている間、約 1.3 コマ / 秒で最大 6 コマまで連写できます（画像モードが 7M 標準（3072）のとき）。
マルチ連写	シャッターボタンを 1 回全押しすると約 1.6 コマ / 秒で 16 コマの連続写真を撮影し、右のような 1 コマの画像（5M 標準（2592））として記録します。
インターバル撮影（89）	あらかじめ設定した撮影間隔（インターバル）で、静止画を自動的に連続撮影（最大 1800 コマ）します。

連写モードの設定は、撮影時の画面で確認できます（［**単写**］のときは、何も表示されません）（6）。

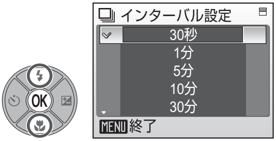
インターバル撮影

撮影間隔を［**30 秒**］［**1 分**］［**5 分**］［**10 分**］［**30 分**］［**60 分**］から選び、静止画を自動的に連続撮影します。

1 ［**連写**］画面で、マルチセレクターで［**インターバル撮影**］を選び、OK ボタンを押す

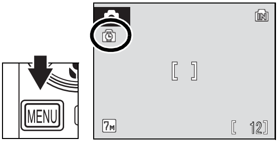


2 撮影間隔を選び、OK ボタンを押す



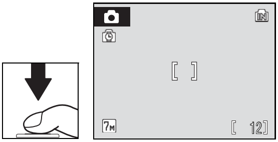
3 MENU ボタンを押す

- 撮影画面に戻ります。



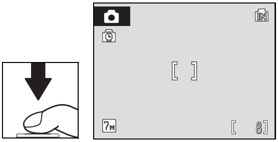
4 シャッターボタンを全押しして、1 回目の撮影を開始する

- 撮影の合間は、液晶モニターが消灯し、電源ランプが点滅します。
- 次の撮影直前になると、自動的に液晶モニターが点灯して撮影されます。



5 もう一度シャッターボタンを全押しして、撮影を終了する

- 内蔵メモリー /SD カードの残量がなくなったとき、または撮影コマ数が 1800 コマに達すると、撮影が自動的に終了します。



電源について

- インターバル撮影の際は、途中でバッテリーが切れることがないよう、充分に充電したバッテリーをお使いください。
- 別売の AC アダプターEH-62D を使用すると、家庭用コンセント（AC100V）から COOLPIX S200 へ電源を供給できます。EH-62D 以外の AC アダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

BSS BSS

手ブレしやすい状況での撮影に便利な BSS（ベストショットセレクター）を設定します。

［ON］に設定すると、フラッシュが発光禁止になり、ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の 1 コマで固定されます。

BSS ON	暗い場所でフラッシュを使わずに撮影するときや、望遠側で撮影するときなど、手ブレしやすい状況で撮影する場合に設定します。［ON］にすると、シャッターボタンを全押ししている間、連写を続け（最大 10 コマ）、撮影した画像の中から最も鮮明に撮れている 1 コマをカメラが自動的に選んで記録します。
OFF OFF（初期設定）	通常通り、1 コマ撮影します。

BSS の設定は、撮影時の画面で確認できます（［OFF］のときは何も表示されません）（6）。

BSS についてのご注意

BSS は静止している被写体の撮影に効果的ですが、動いている被写体の撮影や、構図を変えながらの撮影では、望ましい結果が得られないことがあります。

ISO ISO 感度設定

フィルムカメラで使うフィルムの ISO 感度に相当する数値を設定します。ISO 感度を高くすると、暗い場所や動いている被写体の撮影に効果的ですが、撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

［**オート**］（初期設定）にすると、明るい場所では ISO 50 になります。暗い場所では、自動的に ISO 800 まで ISO 感度が高くなります。ISO 感度を固定するときは、［**50**］［**100**］［**200**］［**400**］［**800**］［**1000**］から選んでください。

ISO 感度の設定は、撮影時の表示で確認できます（☞6）。［**オート**］に設定した場合、ISO 50で撮影できるときは何も表示されず、ISO 感度が自動的に上がったときに［**ISO**］マークが表示されます（☞6、29）。

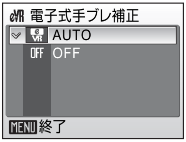
ピクチャーカラー

記録する画像の色調を変えます。

	標準カラー（初期設定）	自然な色調になります。
	ビビッドカラー	はっきりした色調になります。
	白黒	モノクロになります。
	セピア	セピア色になります。
	クール	ブルー系のモノトーンになります。

ピクチャーカラーの設定は、撮影時の画面で確認できます（［**標準カラー**］のときは、何も表示されません）。また、設定に応じて画面の色調も変わります（☞6）。

電子式手ブレ補正



［AUTO］に設定すると、以下の条件で静止画撮影時に電子式手ブレ補正を行い、手ブレの影響を軽減します。

- フラッシュモードが［**発光禁止**］または［**スローシンクロ**］のとき
- シャッタースピードが低速のとき
- ［**連写**］モードの［**単写**］のとき

電子式手ブレ補正の設定は、撮影時の画面で確認できます（［OFF］のときは、何も表示されません）（6）。

電子式手ブレ補正のご注意

- カメラの電源をONにした直後や待機状態から復帰した直後は、電子式手ブレ補正が作動しないことがあります。
- 露光時間が一定値よりも長時間の場合、電子式手ブレ補正は作動しません。
- 手ブレが大きい場合、電子式手ブレ補正の効果が低くなります。
- 被写体ブレは補正できません。

電子式手ブレ補正の再生画面（6、7、49）

電子式手ブレ補正が行われた画像には、再生画面で が表示されます。撮影時に が表示され、電子式手ブレ補正ができなかった画像には が表示されます。

同時に設定できる機能の制限

📷 モードでは、以下のように、複数の機能を同時に設定できないことがあります。

フラッシュモード	［**連写**］モードを［**連写**］または［**マルチ連写**］にするか、［**BSS**］を［**ON**］にすると、フラッシュモードは ⊛（発光禁止）に固定されます。 ［**連写**］モードを［**単写**］か［**インターバル撮影**］に戻す、または［**BSS**］を［**OFF**］に戻すと、元のフラッシュモードに戻ります。
セルフタイマー	セルフタイマーを ON にすると、 ・［**連写**］モードは設定に関わらず、［**単写**］として動作します。 ・［**BSS**］は設定に関わらず、［**OFF**］として動作します。 セルフタイマーを OFF にする（またはセルフタイマー撮影が完了する）と、［**連写**］モードまたは［**BSS**］の設定が有効になります。
連写	［**連写**］モードを［**連写**］、［**マルチ連写**］、または［**インターバル撮影**］のいずれかにすると、［**BSS**］は［**OFF**］に変更されます。 ［**連写**］モードを［**単写**］に戻しても、［**BSS**］は［**OFF**］のままです。
BSS	［**BSS**］を［**ON**］にすると、［**連写**］モードは［**単写**］に変更されます。 ［**BSS**］を［**OFF**］に戻しても、［**連写**］モードは［**単写**］のままです。
ホワイトバランスとピクチャーカラー	［**ピクチャーカラー**］を［**白黒**］、［**セピア**］、または［**クール**］のいずれかにすると、［**ホワイトバランス**］は［**オート**］に固定されます。 ［**ピクチャーカラー**］を［**標準カラー**］または［**ビビッドカラー**］に戻すと、元の［**ホワイトバランス**］の設定に戻ります。
電子式手ブレ補正とデート写し込み	［**電子式手ブレ補正**］を［**AUTO**］にすると［**デート写し込み**］は［**OFF**］に変更されます。 ［**デート写し込み**］を［**OFF**］以外にすると［**電子式手ブレ補正**］は［**OFF**］に変更されます。

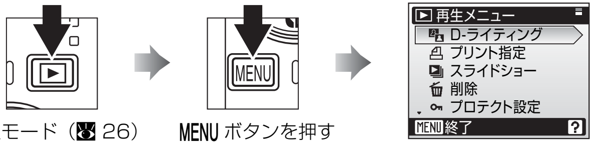
再生に関する設定—再生メニュー

再生メニューには、以下の項目があります。

メニュー項目	内容	ページ
D- ライティング	表示している画像の階調（明るさ）を補正します。	48
プリント指定	プリンターでプリントする画像や、その枚数などを設定します。	81
スライドショー	内蔵メモリー / SD カード内の画像を、1 コマずつ順番に自動再生します。	96
削除	画像を削除します。	97
プロテクト設定	大切な画像を誤って削除しないように、プロテクト（保護）します。	98
転送マーク設定	撮影済みの画像に、パソコンに転送するための転送マークを付けます。	98
スモール ピクチャー	撮影した画像から、サイズの小さい画像を新しく作ります。	51
音声メモ	画像に音声メモを付けます。	52
画像コピー	内蔵メモリーと SD カードの間で画像をコピーします。	99

再生メニューの表示方法

再生メニューを表示するには、▶ ボタンを押して画像を再生し、MENU ボタンを押すと再生メニューが表示されます。

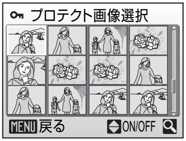


再生モード（26）にする　　MENU ボタンを押す

- メニューの選択と設定にはマルチセレクターを使います（9）。
- 再生メニューを終了するには、MENU ボタンを押します。

画像選択画面の操作方法

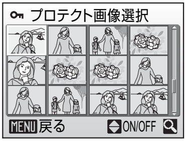
再生メニューの［**プリント指定**］（81）、［**削除**］（97）、［**プロテクト設定**］（98）、［**転送マーク設定**］（98）、［**画像コピー**］（99）およびセットアップメニューの［**オープニング画面**］（102）では、右のような画像選択画面が表示されます。操作方法は以下のとおりです。



1 マルチセレクターの左右で画像を選ぶ

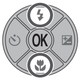
- ［**オープニング画面**］の画像選択では、1 画像しか選べません。➔ ステップ 3 へ
- **T**（Q）ボタンを押すと 1 コマ表示に、**W**（▦）ボタンを押すと 12 コマ表示に切り換ります。

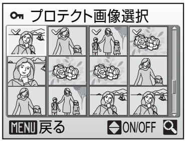




2 マルチセレクターの上下を押して ON/OFF（または枚数）を設定する

- ON にすると、選択画像左上にチェックマークが表示されます。ほかの画像にも設定したいときは、ステップ 1、2 を繰り返してください。





3 Ⓚ ボタンを押す

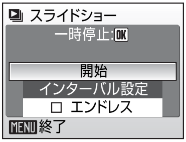
- 設定が有効になります。





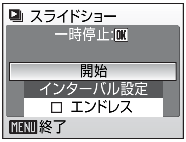
スライドショー

内蔵メモリー/SD カードに記録されている画像を、1 コマずつ順番に自動的に連続再生します。



1 ［スライドショー］画面で、マルチセレクターで［**開始**］を選び、OK ボタンを押す



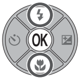


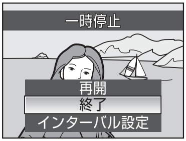
- 画像が表示される時間を変更するには、［**開始**］を選ぶ前に［**インターバル設定**］を選んで OK ボタンを押し、画像の表示時間を選んでください。
- 繰り返し再生するには、［**開始**］を選ぶ前に［**エンドレス**］を選んで OK ボタンを押し、チェックボックスをオン［✔］にしてください。

2 スライドショーが始まる



- スライドショーの再生中は、次の操作ができます。
  - マルチセレクターで前後の画像を表示できます（押し続けると早送り/早戻しになります）。
  - OK ボタンを押すと一時停止します。
- スライドショー終了時や一時停止時は、右の画面が表示されます。［**終了**］を選んで OK ボタンを押すと再生メニューに戻り、［**再開**］を選んで OK ボタンを押すとスライドショーが再開されます。





スライドショーについてのご注意

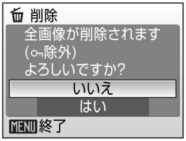
- 動画（64）は 1 フレーム目だけが表示されます。
- ［**エンドレス**］で再生していても、何も操作しないで約 30 分経過すると、液晶モニターが消灯します。何も操作しないまま、さらに約 3 分経過すると、電源が OFF になります。

削除

画像を削除できます。

SD カードがカメラに入っていないときは、内蔵メモリー内の画像が削除されます。

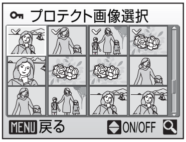
SD カードをカメラに入れると、SD カード内の画像が削除されます。

削除画像選択	画像選択画面（95）で選んだ画像を削除します。
全画像削除	すべての画像を削除します。 削除確認画面で［**はい**］を選んで Ⓚ ボタンを押すと、すべての画像が削除されます。 キャンセルするときは［**いいえ**］を選んで Ⓚ ボタンを押します。 

画像削除についてのご注意

- 削除した画像はもとに戻せないのでご注意ください。残しておきたい画像はパソコンに転送して保存することをおすすめします。
- マークが表示されている画像は、プロテクト（保護）されているので削除されません。

プロテクト設定



大切な画像を誤って削除してしまうことを防ぐために、画像にプロテクト（保護）を設定できます。ただし、内蔵メモリー /SD カードを初期化（110）すると、プロテクト設定した画像も削除されるので、ご注意ください。

プロテクト設定した画像には、1 コマ再生モードと削除画像選択画面で マーク（7）が、4 コマまたは 9 コマサムネイル表示モードで マーク（45）が表示されます。

画像選択画面の操作方法は、95 ページをご覧ください。

転送マーク設定

カメラに保存した画像に （転送）マークの設定 / 解除を行います。PictureProject がインストールされたパソコンとカメラを付属の USB ケーブルで接続し、OK ボタンを押すと マークの付いた画像がパソコンに転送されます（73）。初期設定ではすべての画像に転送マークが付きます。

全 ON	撮影済みのすべての画像に転送マークを付けます。
全 OFF	撮影済みのすべての画像から転送マークを外します。
複数画像選択	画像選択画面（95）で、転送マークを付ける画像を選びます。

転送マークを付けた画像には、1 コマ再生モードで マーク（7）が表示され、4 コマまたは 9 コマサムネイル表示モードで マーク（45）が表示されます。

画像選択画面の操作方法は、95 ページをご覧ください。

画像コピー

内蔵メモリーの画像を SD カードへ、または SD カードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。

最初にコピー元/コピー先を選びます。

IN→SD	内蔵メモリーに記録されている画像をSDカードへコピーします。
SD→IN	SD カードに記録されている画像を内蔵メモリーへコピーします。

次にコピー方法を選びます。

［**選択画像コピー**］は、コピーしたい画像を選び（95）コピーできます。［**全画像コピー**］は内蔵メモリー/SD カードのすべての画像をコピーできます。

画像コピーについてのご注意

- 画像コピー中にコピー先の空き容量が不足したときは、画像コピーが中止され、エラーメッセージが表示されます。
- コピーできる画像ファイルの形式は、JPEG、AVI、WAV　です。これ以外の形式の画像ファイルはコピーできません。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像のコピーはできません。

［撮影画像がありません］のメッセージについて

SD カードに画像が記録されていないときに再生モードに切り換えると、［**撮影画像がありません**］と表示されますが、MENU ボタンを押すと［**画像コピー**］画面が表示され、内蔵メモリーの画像を SD カードにコピーできます。

コピーした画像のファイル名について（115）

- 選択画像コピーを行うと、コピー先にすでに作成されているフォルダ内に選択した画像がコピーされ、コピー先およびコピー元双方での最も大きいファイル番号＋ 1 からの連番で、ファイル名が付きます。
  例：コピー元メモリーのファイル番号の最大値が 32（DSCN0032.JPG）で、コピー先メモリーのファイル番号の最大値が 18（DSCN0018.JPG）のときは、コピーした画像のファイル名は、DSCN0033 からの連番になります。
- 全画像コピーを行うと、内蔵メモリー/SDカードの全画像がフォルダごとコピーされます。フォルダ名は、新規のフォルダ番号（コピー先にある最大の番号に 1 を加えた番号）を付けた名前となります。コピー先に新しいフォルダを作成できないときは、コピーは実行されず、エラーメッセージが表示されます。

プリント指定、転送マーク設定、プロテクト設定について

［**プリント指定**］（81）を行ったり、［**転送マーク設定**］（98）を ON にした画像をコピーしても、これらの設定内容はコピーされません。ただし、［**プロテクト設定**］（98）をした画像をコピーしたときは、コピー先の画像もプロテクトされます。

カメラに関する基本設定—セットアップメニュー

セットアップメニューには、以下の項目があります。

メニュー項目		内容	📖
MENU	メニュー切り換え	メニューの表示形式を切り換えます。	101
	高速起動	オープニング画面と起動音の有無を設定します。	102
	オープニング画面	電源を ON にしたときに表示される「オープニング画面」について設定します。	102
	日時設定	内蔵時計を合わせます。	103
	モニター設定	画面の表示内容や明るさを設定します。	106
DATE	デート写し込み	画像に撮影日時を写し込む設定を行います。	107
	操作音	操作音について設定します。	109
	オートパワーオフ	待機状態に入るまでの時間を設定します。	109
IN/	メモリーの初期化 / カードの初期化（フォーマット）	内蔵メモリー /SD カードを初期化します。	110
	言語 / LANGUAGE	画面に表示される言語を設定します。	111
	インターフェース	パソコンやテレビとの接続に必要な設定を行います。	111
C	設定クリアー	各種設定を初期状態に戻します。	112
Ver.	バージョン情報	ファームウェアの情報を表示します。	113

セットアップメニューの表示方法

MODE ボタンを押して撮影モードメニューまたは再生モードメニューを表示し、マルチセレクターで（セットアップ）を選んで OK ボタンを押すと、セットアップメニューが表示されます。



- メニューの選択と設定にはマルチセレクターを使います（9）。
- セットアップメニューを終了するには、MODE ボタンを押します。

メニュー切り換え

メニューの表示方法を、［**文字タイプ**］（初期設定）と［**アイコンタイプ**］の 2 種類から選択できます。

［**アイコンタイプ**］に設定するとメニューの全項目を 1 画面に表示できます。アイコンタイプの場合、選択中のメニュー名は画面上部に表示されます。



文字タイプ



アイコンタイプ

高速起動

［**ON**］（初期設定）に設定すると、電源を ON にしたときにオープニング画面とオープニング音が再生されず、すぐに撮影できる状態になります。

オープニング画面を設定する場合は、［**OFF**］に設定してください。

オープニング画面

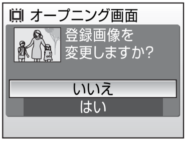
カメラの電源をONにしたときに液晶モニターに表示されるオープニング画面を設定します。

オープニング画面を設定するときは、［**高速起動**］を［**OFF**］にしてください。

Nikon	電源を ON にしたとき、オープニング画面が表示されます。
アニメーション （初期設定）	電源を ON にしたとき、オープニングアニメーションが表示されます。
撮影した画像	内蔵メモリー /SD カードの画像を、オープニング画面として登録できます。［**画像の選択**］画面で画像を選び（95）、OK ボタンを押します。登録した画像はカメラに記憶されるため、その画像を削除したり SD カードを入れかえたりしても、オープニング画面は変わりません。 • ［**画像モード**］（84）を［**16:9**］にして撮影した画像は選べません。

［撮影した画像］を選んだ場合

すでに画像を登録していると、登録していた画像を変更するかどうかを確認する画面が表示されます。



日時設定

カメラに内蔵された時計を設定します。

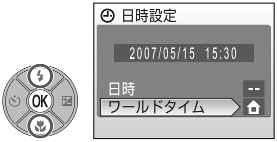
海外旅行などに便利なワールドタイム（時差を自動的に計算する）機能も設定できます。

日時	内蔵時計の日付と時刻を設定します。設定方法については「表示言語と日時を設定する」（16 ~ 17）をご覧ください。
ワールドタイム	自宅（⌂）のタイムゾーン（地域）や夏時間（サマータイム）の設定や変更を行います。また、訪問先のタイムゾーン（✈）を登録すると、自宅（⌂）との時差（105）を自動的に計算し、撮影日時を現地時間で記録できます。海外旅行などに便利です。

時差のある地域で使うには

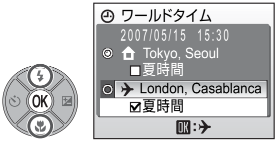
1 マルチセレクターで［**ワールドタイム**］を選び、OK ボタンを押す

- ［**ワールドタイム**］画面が表示されます。



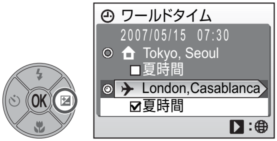
2 ✈（訪問先）を選び、OK ボタンを押す
訪問先の時計に切り換わります。

- 夏時間（サマータイム）が現在実施されている地域でお使いになる場合は、［**夏時間**］を選んで OK ボタンを押し（時間が 1 時間進みます）、マルチセレクターの上を押します。



3 マルチセレクターの右を押す

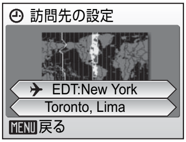
- ［訪問先の設定］画面が表示されます。



4 訪問先の地域を選び、Ⓚ ボタンを押す

- 訪問先の地域が切り換わります。
- 訪問先の時計に設定されているときは、撮影時の画面に ✈ マークが表示されます。







日時設定についてのご注意

カメラの内蔵時計は、カメラのバッテリーとは別の時計用電池で動いています。カメラにバッテリーを入れるか AC アダプターを接続すると、時計用電池が約 10 時間で充電され、数日間、設定した日時を記憶できます。

⌂（自宅）の設定について

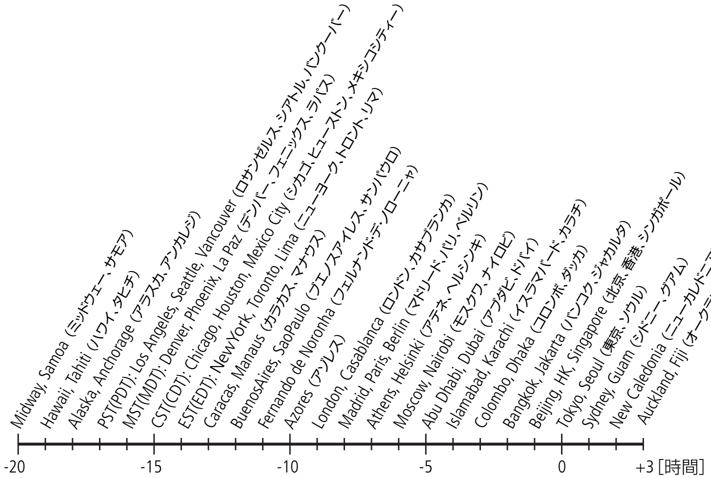
自宅のタイムゾーンに戻すには、ステップ 2 で ⌂（自宅）マークを選んでください。
自宅のタイムゾーンを変更するには、ステップ 2 で ⌂（自宅）マークを選び、✈（訪問先）と同様の手順でタイムゾーンを変更してください。

夏時間の設定について

- 夏時間（サマータイム）が実施されていないときに日時設定した場合；
  日時設定後に夏時間が実施された場合は、［**夏時間**］のチェックボックスをオン［✔］にすれば、カメラの時刻が 1 時間進みます。
- 夏時間の実施中に［**夏時間**］のチェックボックスをオン［✔］にして日時設定した場合；
  日時設定後に夏時間の期間が終了したときは、［**夏時間**］のチェックボックスをオフにすれば、カメラの時刻が 1 時間戻ります。

タイムゾーンについて

タイムゾーンと時差の関係は以下のとおりです。1 時間未満の時差がある場合は、［日時設定］で正確な時刻に合わせてください。



モニター設定

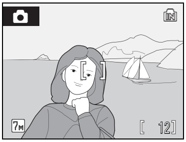
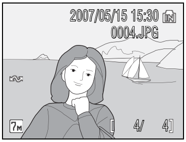
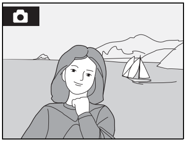
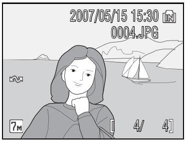
画面の表示内容や明るさを設定します。

モニター表示設定	撮影、再生時の画面に表示される情報について設定します。
画面の明るさ	画面の明るさを 5 段階で調節できます。

［モニター表示設定］について

画面に表示される情報に関する設定を行います。

液晶モニターの表示内容については「液晶モニターの表示内容」（6、7）をご覧ください。

	撮影時	**再生時**
情報 ON		
情報 AUTO （初期設定）	［**情報 ON**］と同じ表示が 5 秒間続いた後、［**情報 OFF**］に切り換わります。	
情報 OFF		
方眼＋ 情報 AUTO	 （オート撮影）モードまたは高感度モードでは［**情報AUTO**］の表示内容に加えて、構図を決める際の参考となる格子線が表示されます。 他の撮影モードでは、［**情報 AUTO**］と同じです。	 ［**情報 AUTO**］と同じです。

DATE デート写し込み

画像に直接日時を写し込みます。DPOF（132）に対応していないプリンターで日付入り画像をプリントしたいときなどに使用します。

OFF（初期設定）	日付、時刻のどちらも写し込みません。
年・月・日	撮影した画像の右下に、日付が写し込まれます。
年・月・日・時刻	撮影した画像の右下に、日付と時刻が写し込まれます。
誕生日カウンター	お子様の成長記録や植物の観察日記などに便利な機能です。

デート写し込みの設定は、撮影時の画面で確認できます（6）。［OFF］のときは何も表示されません。

デート写し込みについてのご注意

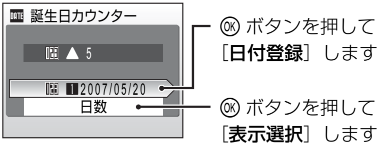
- 一度写し込まれた日時を画像から消したり、撮影した後で日時を写し込むことはできません。
- ［**画像モード**］（84）が［**TV（640）**］の画像にデート写し込みを行うと、写し込んだ日付が見えにくい場合があります。画像モードは［**パソコン（1024）**］以上に設定してください。
- 年月日の並びは、［**日時設定**］（16、103）での設定と同じになります。

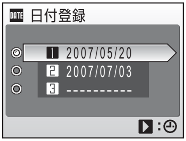
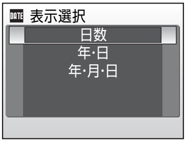
「デート写し込み」と「プリント指定」の違いについて

DPOF 対応のプリンターでプリントするときは、［**プリント指定**］（81）で撮影日時や撮影情報をプリントするように設定できます。「**デート写し込み**」と「**プリント指定**」の違いについては、「［**デート写し込み**］との違いについて」（82）をご覧ください。

誕生日カウンターの使い方

特定の日付からの日数を画像に入れられます。誕生日や結婚式までの日数をカウントダウン形式で入れたり、お子様が産まれた日からの経過日数を入れるなどの用途に使えます。



日付登録	❶～❸のいずれかを選んでマルチセレクターの**右**を押すと、［**日付設定**］画面が表示されます（103）。日付を設定後、OK ボタンを押してください。日付は 3 種類まで登録できます。他の日付に切り換えるには、❶～❸のいずれかを選んで OK ボタンを押してください。	
表示選択	日付の表示形式を選んで OK ボタンを押してください。	

誕生日カウンターを使って撮影した画像には、以下のように日付が写し込まれます。



記念日まであと 2 日の場合



記念日から 2 日後の場合

🔊 操作音

操作音について設定します。

設定音	設定音（電子音 1 回：設定完了時など）や警告音（電子音 3 回：禁止動作を行ったときなど）の ON（初期設定）/OFF を設定します。
シャッター音	シャッターをきったときのシャッター音の種類を［**1**］（初期設定）、［**2**］、［**3**］、または［**OFF**］から選べます。
音量	シャッター音とオープニング音（102）の音量を［**大**］、［**標準**］（初期設定）、または［**OFF**］から選べます。

オートパワーオフ

電源を ON にしたまま何も操作しないで一定時間が過ぎると、バッテリーの消耗を抑えるために液晶モニターが消灯し、待機状態（21）に入ります。待機状態になると、電源ランプが点滅します。

待機状態に入るまでの時間を［**30 秒**］、［**1 分**］（初期設定）、［**5 分**］、または［**30 分**］から選べます。待機状態に入ってから、何も操作しないでさらに約 3 分経過すると、電源が OFF になります。

オートパワーオフについてのご注意

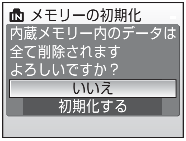
以下の場合は、待機状態に入るまでの時間が決まっています。

- メニューの表示中：3 分
- スライドショーのエンドレス再生中：30 分

/ メモリー / カードの初期化

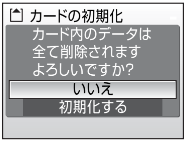
内蔵メモリーまたは SD カードを初期化します。

内蔵メモリーの初期化



内蔵メモリーを初期化するときは、SD カードを取り出してください。セットアップメニューの項目に［**メモリーの初期化**］が表示されます。

SD カードの初期化



SD カードをカメラに入れると、SD カードを初期化できます。セットアップメニューの項目に［**カードの初期化**］が表示されます。

初期化についてのご注意

- 内蔵メモリー/SDカードを初期化すると、内蔵メモリー/SDカード内のデータはすべて削除されます。必要なデータは初期化する前にパソコンなどに転送してください。
- 初期化中は、電源を OFF にしたり、バッテリーや SD カードを取り出したりしないでください。
- 他の機器で使った SD カードを COOLPIX S200 で初めて使うときは、初期化してからお使いください。

言語 /LANGUAGE

画面に表示される言語を、日本語（初期設定）または英語に設定します。

インターフェース

パソコンやテレビとの接続に必要な設定を行います。

USB	パソコンやプリンターとの通信方式を［MTP/PTP］（初期設定）と［Mass Storage］から選びます。 詳しくは、「パソコンに接続する」（71、パソコンとの接続時）、または「プリンターに接続する」（75、プリンターとの接続時）をご覧ください。
ビデオ出力	ビデオの出力方式を［NTSC］と［PAL］から選べます。［NTSC］と［PAL］はいずれも、アナログカラーテレビ放送の規格です。日本ではNTSC 方式が、欧州では PAL 方式が主流です。
転送設定	［ON］（初期設定）にすると、設定後に撮影するすべての画像に転送マーク（74）が付きます。

C 設定クリアー

［**はい**］を選ぶと、カメラの以下の設定が初期設定にリセットされます。

以下の項目がリセットされます。

撮影の基本機能

項目	初期設定
フラッシュモード（28）	AUTO
セルフタイマー（30）	OFF
マクロモード（31）	OFF
露出補正（32）	0

シーンモード

項目	初期設定
シーンメニュー（34）	ポートレート

フェイスクリアーメニュー

項目	初期設定
ポートレート効果（44）	標準

動画メニュー

項目	初期設定
動画設定（60）	カメラ再生 320
微速度撮影のインターバル設定（62）	30 秒
ストップモーションの再生速度（63）	5fps
AF-MODE（61）	シングル AF
電子式手ブレ補正（61）	OFF

撮影メニュー

項目	初期設定
画像モード（84）	7M 標準（3072）
ホワイトバランス（86）	オート
連写（88）	単写
インターバル撮影のインターバル設定（89）	30 秒
BSS（90）	OFF
ISO 感度設定（91）	オート
ピクチャーカラー（91）	標準カラー
電子式手ブレ補正（92）	AUTO

セットアップメニュー

項目	初期設定
メニュー切り換え（101）	文字タイプ
高速起動（102）	ON
オープニング画面（102）	アニメーション
モニター表示設定（106）	情報 AUTO
画面の明るさ（106）	3
デート写し込み（107）	OFF
設定音（109）	ON
シャッター音（109）	1
音量（109）	標準
オートパワーオフ（109）	1 分
転送設定（111）	ON

その他

項目	初期設定
用紙設定（77、79）	プリンターの設定
スライドショーのインターバル設定（96）	3 秒

- ［**設定クリアー**］を行うと、ファイル番号の連番（115）もクリアーされます。クリアー後に撮影した画像には、内蔵メモリー/SD カード内の最大ファイル番号の次の番号から連番が付けられます。ファイル名の連番を 0001 に戻したいときは、内蔵メモリー/SD カード内の画像をすべて削除（97）してから、［**設定クリアー**］を行ってください。
- 以下のメニューの項目は、［**設定クリアー**］を行っても初期設定には戻りません。

  撮影メニュー：
  プリセットホワイトバランスのプリセット値（87）

  セットアップメニュー：
  ［**オープニング画面**］として登録した画像（102）、［**日時設定**］（103）、［**誕生日カウンター**］の登録日（108）、［**言語 /LANGUAGE**］（111）、［**インターフェース**］（111）の［**USB**］と［**ビデオ出力**］

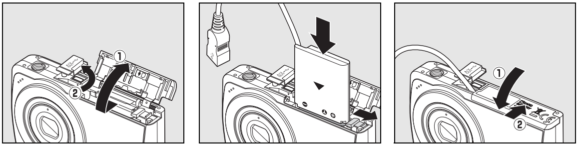
Ver. バージョン情報

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。



付 録

別売アクセサリー

充電式バッテリー	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL10
充電器	バッテリーチャージャー MH-63 ※
AC アダプター	AC アダプター EH-62D ※ ＜ EH-62D の取り付け方＞ 1 2 3  バッテリー /SD カードカバーを閉める前に、AC アダプターのコードがバッテリー室の溝に正しく入っているかを必ずご確認ください。コードが溝からはみ出していると、カバーを閉めたときにカバーを破損する恐れがあります。
USB ケーブル	USB ケーブル UC-E6
AV ケーブル	オーディオビデオケーブル EG-CP14

※日本国内専用電源コード（AC100V 対応）付属。日本国外でお使いになるには、別売の専用コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービスセンターにお問い合わせください。
また、オンラインショップ（ニコンダイレクト）http://shop.nikon-image.com/ でもお求めいただけます。

推奨 SD カード一覧

以下の SD カードの動作を確認しています。

SanDisk 社製	64MB、128MB、256MB、512MB、1GB、2GB ※1、4GB ※1、2 10MB/s の高速転送タイプ：512MB、1GB、2GB ※1 20MB/s の高速転送タイプ：1GB、2GB ※1
東芝製	64MB、128MB、256MB、512MB、1GB、2GB ※1、4GB ※1、2 10MB/s の高速転送タイプ：128MB、256MB、512MB、1GB
松下電器（Panasonic）製	64MB、128MB、256MB、512MB、1GB、2GB ※1、4GB ※1、2 10MB/s の高速転送タイプ：256MB 20MB/s の高速転送タイプ：512MB、1GB、2GB ※1
Nikon 製	10MB/s の高速転送タイプ：1GB

※ 1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がこれらの SD カードに対応していないときは、付属の USB ケーブルでカメラとパソコンを接続してください。
※ 2 SDHC 規格 SDHC™ に対応しています。

上記カードの機能、動作の詳細については、各カードメーカーにお問い合わせください。
最新の動作確認済み SD カードについては、当社ホームページのサポート情報をご覧ください。

記録データのファイル名とフォルダ名

このカメラで撮影した静止画、動画、および音声ファイルには、以下のようなファイル名が付けられます。

DSCN0001.JPG

識別子
（カメラの画面には表示されません）

加工されていない静止画、および付随する音声メモ、動画、音声レコード	DSCN
再生時に電子式手ブレ補正を行った画像および付随する音声メモ	VSCN
トリミング画像および付随する音声メモ	RSCN
スモールピクチャーおよび付随する音声メモ	SSCN
D- ライティング画像および付随する音声メモ	FSCN
微速度撮影、ストップモーションで撮影した画像	INTN

ファイル番号
（0001 からの連番で付けられます）

拡張子
（ファイルの種類を示します）

静止画	.JPG
動画	.AVI
音声メモ、音声レコード	.WAV

- ファイルが保存されるフォルダは、「フォルダ番号＋ NIKON」（例：100NIKON）という名前で、自動的に作られます。フォルダ内のファイル数が 200 に達すると、新しいフォルダが作られます（例：100NIKON → 101NIKON）。フォルダ内のファイル番号が 9999 に達したときも新しいフォルダが作られ、ファイル番号は 0001 に戻ります。
- 音声レコード（65）のデータは「SOUND」フォルダに保存されます。
- パノラマアシストモード（40）では、撮影のたびに「フォルダ番号＋ P_XXX」という名前のフォルダ（例：101P_001）が作られ、ファイル番号 0001 から始まる一連の画像が保存されます。
- インターバル撮影（89）では撮影のたびに「フォルダ番号＋ INTVL」という名前のフォルダ（例：101INTVL）が作られ、ファイル番号 0001 から始まる一連の画像が保存されます。
- 画像データや音声データを内蔵メモリーと SD カードの間でコピーする場合（69、99）、ファイル名は以下のようになります。
  - 「選択画像コピー」または「選択データコピー」：使用中のフォルダ（または次回の撮影で使われるフォルダ）に、データがコピーされます。コピーされたデータのファイル名は、「内蔵メモリーおよび SD カード内の最大ファイル番号＋ 1」から連番で付けられます。
  - 「全画像コピー」または「全データコピー」：データはフォルダごとにコピーされます。フォルダ名は「コピー先の最大フォルダ番号＋ 1」から連番で付けられます。ファイル名は変わりません。
- フォルダ番号が999のときにファイル数が200個またはファイル番号が9999に達すると、それ以上撮影できません。SD カードを交換するか、内蔵メモリー /SD カードを初期化（110）してください。

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

レンズ	レンズのガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないように注意してください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布などでガラス部分の中央から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。汚れが取れないときは、乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。硬いもので拭くと傷が付くことがありますのでご注意ください。
液晶モニター	ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。強く拭くと破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。
カメラボディー	ゴミやホコリをブロアーで吹き払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。 **ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。**

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

保管について

長期間カメラをお使いにならないときは、バッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前に、電源が OFF になっていることをご確認ください。

次の場所にカメラを保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が 50 ℃以上、または－ 10 ℃以下の場所
- 湿度が 60% を超える場所

取り扱い上のご注意

カメラについて

● **強いショックを与えないでください**

カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズやレンズバリアーに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● **水に濡らさないでください**

カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● **急激な温度変化を与えないでください**

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。カメラをバックやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

● **強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください**

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● **長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください**

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は CCD の褪色・焼き付きを起こす恐れがあります。また、その際撮影された画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● **保管する際には**

カメラを長期間お使いにならないときは、必ずバッテリーを取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

● **バッテリーや AC アダプターを取り外すときは必ず電源を OFF にしてください**

電源が ON の状態で、バッテリーや AC アダプターを取り外すと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

● **液晶モニターについて**

- 液晶モニターの特性上、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。記録される画像には影響はありません。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくいことがあります。
- 液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因になります。ホコリやゴミなどが付着したときは、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。万一、液晶モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますので充分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

● **スミアーについて**

明るい被写体を写すと、液晶モニター画像に縦に尾を引いたような（上下が帯状に白く明るくなる）現象が発生することがあります。この現象をスミアー現象といい、故障ではありません。撮影された画像（動画を除く）には影響はありません。

● **セルフタイマーランプ**

セルフタイマーランプ（4、30）に使用されている LED（発光ダイオード）は、右記の IEC 規格に準拠しています。

クラス1 LED製品
IEC60825-1 Edition 1.2-2001

バッテリーについて

● **使用上のご注意**

- 長時間お使いになったバッテリーは、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が 0 ～ 40 ℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。バッテリーの性能劣化や故障の原因となります。充電は室温（5 ～ 35 ℃）で行ってください。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたときは、すぐに使用を中止して、ご購入店またはニコンサービスセンターに修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、必ず付属の端子カバーを付けてください。

● **充電について**

撮影の前に、充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりませんので、ご注意ください。

- 充電が完了したバッテリーを、続けて再充電しないでください。バッテリー性能が劣化します。
- 充電直後にバッテリーの温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。
- カメラの使用直後など、バッテリー内部の温度が高くなっているときは、バッテリーの温度が下がるのを待ってから充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性能が劣化する原因となります。

● **予備バッテリーを用意する**

撮影の際は、予備バッテリーをご用意ください。特に、日本国外の地域によっては入手が困難な場合がありますので、ご注意ください。

● **低温時のバッテリーについて**

バッテリーは一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時にお使いになるときは、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

● **低温時には容量の充分なバッテリーを使い、予備のバッテリーを用意する**

低温時に消耗したバッテリーをお使いになると、カメラが作動しないことがあります。低温時に撮影する場合は充分に充電されたバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互にお使いください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻るとお使いいただける場合があります。

● **バッテリー接点について**

バッテリーの接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがありますので、ご注意ください。

● **残量について**

残量のなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源スイッチの ON/OFF を繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなったバッテリーは、充電してからお使いください。

● **保管について**

- お使いにならないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。カメラやバッテリーチャージャーに取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微小電流が流れ続けることで過放電になり、使用できなくなるおそれがあります。
- バッテリーをしばらくお使いにならないときは、使い切った状態で保管してください。
- 長期間保管するときは、年に 1 回程度、充電してから使い切り、保管してください。
- 付属の端子カバーを付けて、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が 15 ～ 25 ℃くらいの乾燥したところをおすすめします。暑いところや極端に寒いところは避けてください。

● **寿命について**

充分に充電したにもかかわらず、バッテリーの使用期間が極端に短くなってきたときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお求めください。

● **リサイクルについて**

充電を繰り返して劣化し使用できなくなったバッテリーは、再利用しますので廃棄しないでリサイクルにご協力ください。端子部にテープなどを貼り付けて絶縁させてから、ニコンサービスセンターやリサイクル協力店へご持参ください。

Li-ion

警告メッセージ

画面に表示される警告メッセージの意味は、以下のとおりです。

表示	意味	対処法	
（点滅）	カメラの時計が 設定されていません。	日付と時刻を設定してください。	103
	電池の残量が 少なくなりました。	バッテリーを充電または交換の 準備をしてください。	12
電池残量が ありません	電池の残量が ありません。	バッテリーを充電または 交換してください。	12
AF ● （赤色点滅）	ピントを合わせる ことができません。	• ピントを合わせ直してください。 • フォーカスロック撮影を お試しください。	24、25
記録中 しばらくお待ち ください	画像の記録中です。	記録が終了して警告表示が 消灯するまでお待ちください。	25
カードがロック されています	SD カードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。	「Lock」を解除してください。	18
このカードは 使用できません	SD カードへのアクセス異常です。	• 動作確認済みのカードを使って ください。 • カードの端子部分が汚れていないか確認してください。 • カードが正しく挿入されているか確認してください。	114 19 18
カードに異常が あります			
初期化されて いません いいえ 初期化する	SD カードが、COOLPIX S200 用に初期化されていません。	［**初期化する**］を選んで OK ボタンを押し、SD カードを初期化してください。	19
メモリー残量 がありません	データを記録する 空き容量がありません。	• 画像モードを変更してください。 • 不要な画像や音声データを削除してください。 • SD カードを交換してください。 • SD カードをカメラから取り出し、内蔵メモリーを使ってください。	84 26、53、64、68、97 18 19

表示	意味	対処法	
画像を保存できません	画像記録中にエラーが発生しました。	内蔵メモリー /SD カードを初期化してください。	110
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。	• SD カードを交換してください。 • 内蔵メモリー /SD カードを初期化してください。	18 110
	編集できない画像を編集しようとしました。	トリミングやスモールピクチャーが可能な条件を確認してください。	47
	オープニング画面に登録できない画像です。	スモールピクチャーやトリミングで作成した画像で、画像サイズが 320 × 240 以下のもの、および［**画像モード**］を［**16:9**］にして撮影した画像は登録できません。	50、51、84
	画像コピー先の容量不足です。	コピー先の不要な画像を削除してください。	97
音声を登録できません	これ以上記録できないファイル番号に達しました。	• SD カードを交換してください。 • 内蔵メモリー /SD カードを初期化してください。	18 110
この画像はすでに編集されています D- ライティングはできません	スモールピクチャー、トリミング、D- ライティングで作成した画像に D- ライティングで補正しようとしました。	編集された画像は、D- ライティングで補正できません。	47
動画記録できません	SD カードに動画を記録するのに時間がかかっています。	画像記録処理の速いSDカードに交換してください。	114
撮影画像がありません	• 撮影済みの画像または録音済みの音声データがありません。	–	–
音声データがありません	• SD カードに画像または音声データが入っていません。	内蔵メモリーからSDカードにコピーする場合は、MENU ボタンを押してください。［画像コピー］または［音声データコピー］画面が表示されます。	69、99
このファイルは表示できません	パソコンや他社のカメラで作成されたファイルです。	このカメラでは再生できません。	–
このデータは再生できません			

表示	意味	対処法	参照ページ
ⓘ 表示可能な画像がありません	カレンダーモード/撮影日一覧モードで表示しようとした画像が、日時未設定です。	–	–
ⓘ このファイルは削除できません	画像にプロテクトがかかっています。	プロテクトを解除してください。	98
ⓘ 自宅と訪問先が同じタイムゾーンです	自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定しました。	–	103
レンズエラー ❗	レンズの作動不良です。	電源を入れ直してください。エラー表示が続くときは、ニコンサービスセンターまでご連絡ください。	11、136
ⓘ 通信エラー	パソコンやプリンターとの通信中に、USB ケーブルが外れました。	パソコンに警告メッセージが表示されたときは、［**OK**］をクリックして PictureProject を終了してください。カメラの電源を OFF にしてケーブルを再接続してから、もう一度転送してください。	71、76
	お使いのパソコンのOSとカメラの USB 通信方式の組み合わせでは、転送できません。	セットアップメニューの［**インターフェース**］→［**USB**］の設定を確認してください。	71、72
	PictureProject が起動していません。	–	–
ⓘ 転送マーキングされた画像がありません	転送マーク設定された画像がないのに、パソコンに画像を転送しようとしました。	再生メニューで転送マークを設定してから転送してください。	74、98、111
ⓘ 転送エラー	画像転送中にエラーが発生しました。	カメラとパソコンの接続状況やバッテリー残量を確認してください。	20、71
システムエラー ❗	カメラの内部回路にエラーが発生しました。	電源を OFF にしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源を ON にしてください。エラー表示が続くときは、ニコンサービスセンターまでご連絡ください。	11、14、20、136

表示	意味	対処法	🕮
ⓘ🖶 プリンターエラー プリンターを確認してください	プリンターに異常があります。	プリンターを確認し、エラーの原因を取り除いた後、［**継続**］を選んで Ⓞ ボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
ⓘ🖶 プリンターエラー 用紙を確認してください	指定したサイズの用紙がセットされていません。	指定したサイズの用紙をセットした後、［**継続**］を選んで Ⓞ ボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
ⓘ🖶 プリンターエラー 紙詰まりです	用紙が詰まりました。	詰まった用紙を取り除いた後、［**継続**］を選んで Ⓞ ボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
ⓘ🖶 プリンターエラー 用紙がありません	用紙がセットされていません	指定したサイズの用紙をセットした後、［**継続**］を選んで Ⓞ ボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
ⓘ🖶 プリンターエラー インクを確認してください	インクに異常があります。	インクを確認した後、［**継続**］を選んで Ⓞ ボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
ⓘ🖶 プリンターエラー インクがありません	インクがなくなりました。	インクを交換した後、［**継続**］を選んで Ⓞ ボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
ⓘ🖶 プリンターエラー ファイルが異常です	プリントする画像ファイルに異常があります。	［**キャンセル**］を選び Ⓞ ボタンを押して、プリントを中止してください。	–

※プリンターの使用説明書もあわせてご覧ください。

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービスセンターにお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

表示・設定・電源関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	
液晶モニターに何も映らない	• 電源が入っていません。 • バッテリー残量がありません。 • 節電機能により待機状態になっています。シャッターボタンを半押ししてください。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。充電が完了するまでお待ちください。 • カメラとテレビが AV ケーブルで接続されています。 • 微速度撮影中またはインターバル撮影中です。	11 20 21、24、109 29 70 62、89
液晶モニターがよく見えない	• 液晶モニターの明るさを調整してください。 • 液晶モニターが汚れています。 • 節電機能により液晶モニターが約50%の明るさになっています。	106 116 21
カメラの電源が突然切れる	• バッテリー残量がありません。 • 無操作状態が続いたため、オートパワーオフ機能が働きました。 • 低温下ではカメラやバッテリーが正常に動作しないことがあります。	20 21、109 118
撮影日時が正しく表示されない	• 日時を設定していない場合は（撮影時に時計マークが点滅している）、静止画の撮影日時が［0000/00/00　00:00］、動画の撮影日時や音声レコードの録音日時が［2007/01/01 00:00］と記録されます。［**セットアップ**］メニューの［**日時設定**］で日時を正しく設定してください。 • 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くないので、定期的に日時設定を行うことをおすすめします。	16、103 103
撮影情報や画像情報が表示されない	セットアップメニュー［**モニター設定**］の［**モニター表示設定**］が［**情報 OFF**］になっています。	106
［**デート写し込み**］が選べない	セットアップメニュー［**日時設定**］が設定されていません。	16、103

こんなときは	考えられる原因や対処法	👁
［**デート写し込み**］を有効にしたのに、日付が印字されない	以下の場合は日付が写し込まれません。 • シーンモードの［**スポーツ**］、［**ミュージアム**］、［**パノラマアシスト**］になっているとき • 撮影メニューの連写モードが［**連写**］になっている、または［**BSS**］が［**ON**］になっているとき • 撮影メニューの［**電子式手ブレ補正**］が［**AUTO**］になっているとき。 • ブレ軽減モードのとき • 動画のとき	35、38、39 88、90 92 42 58
設定内容が初期状態に戻ってしまった	バックアップ電池が切れたため、設定がリセットされました。	104、112

●デジタルカメラの特性について

きわめて希に、液晶モニターに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。このような場合は、電源を OFF にしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源を ON にしてみてください。これによってカメラが作動しなくなったときのデータは失われるおそれがありますが、すでに内蔵メモリーまたは SD カードに記録されているデータは失われません。この操作を行ってもカメラに不具合が続くときは、ニコンサービスセンターにお問い合わせください。

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	👁
撮影できない	• 再生モードになっているときは、▶ボタンまたはシャッターボタンを押してください。 • メニューが表示されているときは、MENUボタンを押してください。 • バッテリー残量がありません。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。	8、24、26 9 20 29
ピントが合わない	• オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 • 電源を入れ直してください。	25 11

こんなときは	考えられる原因や対処法	
画像がぶれる	• フラッシュを使ってください。 • ブレ軽減モードで撮影してください。 • 高感度モードで撮影してください。 • 電子式手ブレ補正機能を使ってください。 • BSS（ベストショットセレクター）を使ってください。 • 三脚などでカメラを安定させてください（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。	28 42 33 92 90 30
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュモードを（発光禁止）にしてください。	29
フラッシュが 発光しない	• フラッシュモードが 発光禁止になっています。 • フラッシュが発光しないシーンモードになっています。 • ブレ軽減モードになっています。 • モード（［**微速度撮影**］、［**ストップモーション**］をのぞく）になっています。 • 撮影メニュー［**連写**］モードが［**連写**］か［**マルチ連写**］、または［**BSS**］が［**ON**］になっています。	28 34 42 58 88、90
光学ズームが使えない	動画撮影中は使えません。	58
電子ズームが使えない	• 撮影メニュー［**連写**］モードが［**マルチ連写**］のときは、電子ズームは使えません。 • 一部のシーンモードでは、電子ズームは使えません。	88
［**画像モード**］が選べない	撮影メニュー［**連写**］モードが［**マルチ連写**］のときは、設定できません。	88
シャッター音が 鳴らない	• セットアップメニュー［**操作音**］の［**シャッター音**］が［**OFF**］になっています。 • 撮影メニューの連写モードが［**連写**］または［**マルチ連写**］になっている、または［**BSS**］が［**ON**］になっています。 • シーンモードが［**スポーツ**］または［**ミュージアム**］になっています。 • ブレ軽減モードまたは モードになっています。	109 88、90 35、38 42、58
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	116
画像の色合いが 不自然になる	適切なホワイトバランスが選ばれていません。	86
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO 感度が高くなっています。 →フラッシュを使ってください。 →低い ISO 感度にしてください。 →ノイズ低減機能付きのシーンモードで撮影してください。	28 91 35 ~ 39

こんなときは	考えられる原因や対処法	
画像が暗すぎる	• フラッシュモードが（発光禁止）になっています。 • フラッシュが指などでさえぎられています。 • 被写体にフラッシュの光が届いていません。 • 露出を補正してください。 • 高感度モードにするか、ISO 感度を上げてください。 • 逆光で撮影しています。シーンモードの［**逆光**］にするか、フラッシュモードを（強制発光）にしてください。	28 22 28 32 33、91 28、39
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	32
赤目以外の部分が補正された	フラッシュモードが［赤目軽減自動発光］のときや、フェイスクリアーモード時、シーンモードの［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］で撮影すると、ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。上記以外の撮影モードで、フラッシュモードを［**オート**］または［**強制発光**］にして撮影してください。	28 35、36 43

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	
再生できない	• パソコンか他社製のカメラによって画像が上書きされたか、ファイル名やフォルダ名が変更されました。 • 微速度撮影中、ストップモーション撮影中、またはインターバル撮影中です。	–
画像の拡大表示ができない	動画やスモールピクチャー、320 × 240 以下にトリミングされた画像は拡大表示できません。	–
音声メモを録音できない	動画には音声メモを付けられません。	52
D- ライティング、電子式手ブレ補正、トリミング、スモールピクチャーができない	• 動画は編集できません。 • ［画像モード］を［16:9］にして撮影した画像は、電子式手ブレ補正を除き、編集できません。 • D-ライティング、電子式手ブレ補正、トリミング、スモールピクチャーが可能な条件を確認してください。 • 次のような場合は動作を保証していません。 - このカメラ以外で撮影した画像を編集する - このカメラで編集した画像をこのカメラ以外で再生する	47 47、84 47 –
画像がテレビに映らない	• セットアップメニュー［**インターフェース**］の［**ビデオ出力**］が正しく設定されていません。 • 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。内蔵メモリーの画像を再生するときは SD カードを取り出してください。	111 18

こんなときは	考えられる原因や対処法	👁
カメラをパソコンに接続しても、PictureProject が自動起動しない	• カメラの電源が OFF になっています。 • バッテリー残量がありません。 • USB ケーブルが正しく接続されていません。 • セットアップメニュー［**インターフェース**］→［**USB**］が正しく設定されていません。 • パソコンにカメラが正しく認識されていません。 • PictureProject が自動起動しない設定になっています。 PictureProject については、付属の PictureProject ソフトウェア使用説明書（CD-ROM）（銀色）をご参照ください。	11 20 73 72 — —
転送マークを付けられない	転送マークは 1000 コマ以上の画像には付けられません。PictureProject の［**転送**］ボタンで転送してください。	73
転送マークを付けたのに、認識されない	このカメラ以外のカメラで転送設定した画像です。 もう一度このカメラで転送マーク設定を行ってください。	98、111
画像を転送できない	以下の場合はカメラの Ⓞ ボタンでは転送できません。PictureProject の［**転送**］ボタンで転送してください。 • 内蔵メモリーからの画像の転送を［**USB**］の［**Mass Storage**］設定で行うとき • SD カードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されているとき	18、71
転送 / プリントする画像が表示されない	画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。内蔵メモリーの画像を転送 / プリントするときは SD カードを取り出してください。	18
カメラ側で用紙設定ができない	PictBridge 対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」を行うことができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。 • カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していない。 • 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使ってる。	77、79

主な仕様

ニコン デジタルカメラ COOLPIX S200

型式		コンパクトデジタルカメラ
有効画素数		7.1 メガピクセル
撮像素子		1/2.5 型原色 CCD、総画素数 7.41 メガピクセル
レンズ		光学 3 倍 ズームニッコールレンズ
	焦点距離	6.3-18.9mm（35mm 判換算 38-114 mm 相当の撮影画角）
	絞り	F3.1-5.9
	レンズ構成	5 群 6 枚
電子ズーム		最大 4 倍（35mm 判換算で約 456 mm 相当の撮影画角）
手ブレ補正		電子式
オートフォーカス		コントラスト検出方式
	撮影距離	• レンズ前約 60 cm ~ ∞ • マクロモード時は約 10 cm（△ マークから広角側）~ ∞
	AF エリア	中央
液晶モニター		2.5 型 TFT 液晶、反射防止コート付き、約 153,000 ドット、輝度調節機能付き（5 段階）
	視野率（撮影時）	上下左右とも約 98%（対実画面）
	視野率（再生時）	上下左右とも約 100%（対実画面）
記録形式		
	記録媒体	内蔵メモリー（約 20 MB）、SD メモリーカード
	画像ファイル	DCF、Exif 2.2、DPOF 準拠
	ファイル形式	圧縮：JPEG-Baseline 準拠 動画：AVI 音声：WAV
画像モード		• 3072 × 2304［高画質（3072★）/ 標準（3072）］ • 2592 × 1944［標準（2592）］ • 2048 × 1536［エコノミー（2048）］ • 1024 × 768［パソコン（1024）］ • 640 × 480［TV（640）］ • 3072 × 1728（16:9）
ISO 感度		ISO 50、100、200、400、800、1000、オート(ISO 50 ～ 800)

露出		
	測光方式	マルチパターン測光（256 分割）、中央部重点測光（電子ズーム時）、スポット測光（電子ズーム時）
	露出制御	プログラムオート、露出補正（± 2 段の範囲で 1/3 段刻み）可能
	露出連動範囲（ISO 100）	広角側：+1.1 ～ +15.9 EV 望遠側：+2.8 ～ +17.7 EV
シャッター		メカニカルシャッターと CCD 電子シャッターの併用
	シャッタースピード	1/1000 ～ 4 秒
絞り		電磁駆動による絞り開口選択方式
	制御段数	2（F3.1、F4.6［広角側］）
セルフタイマー		約 10 秒、約 3 秒
内蔵フラッシュ		
	調光範囲（ISO 感度設定オート時）	約 0.3 ～ 4.6 m（広角側）、約 0.3 ～ 2.5 m（望遠側）
	調光方式	自動調光制御
インターフェース		USB
ビデオ出力		NTSC、PAL から選択可能
入出力端子		デジタル端子 (USB)/ オーディオビデオ (AV) 出力端子
言語		日本語、英語の 2 言語
電源		Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL10（リチウムイオン充電池：付属）× 1 個 AC アダプター EH-62D（別売）
撮影可能コマ数（電池寿命）※		約 230 コマ（EN-EL10 使用時）
寸法（幅×高さ×奥行き）		約 91.5 × 56.5 × 18.5mm（突起部除く）
質量		約 125 g（バッテリー、SD メモリーカード除く）
動作環境		
	使用温度	0 ～ 40 ℃
	使用湿度	85%以下（結露しないこと）

- 仕様中のデータは、すべて常温（25 ℃）、リチャージャブルバッテリー EN-EL10 をフル充電で使用時のものです。

※電池寿命測定方法を定めた CIPA（カメラ映像機器工業会）規格によるものです。測定条件は、23 (± 2) ℃、撮影ごとにズーム、2 回に 1 回の割合でフラッシュ撮影、画像モード [**標準（3072）**] です。撮影間隔、メニュー表示時間、画面表示時間などにより、コマ数は変動することがあります。

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL10

形式	リチウムイオン充電池
定格容量	3.7 V/740 mAh
使用温度	0 ～ 40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 31.5 × 39.5 × 6 mm（突起部除く）
質量	約 15 g（バッテリーケースを除く）

バッテリーチャージャー MH-63

定格入力	AC100-240 V　50/60 Hz　0.07-0.045 A
定格入力容量	7 ～ 10.8 VA
充電出力	DC 4.2 V/0.55 A
適用充電池	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL10
充電時間	約 100 分　※残量のない状態からの充電時間
使用温度	0 ～ 40 ℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 54 × 20 × 85 mm（突起部除く）
電源コード	長さ約 2m、日本国内専用、AC100 V 対応
質量	約 55 g（電源コードを除く）

使用説明書について

- 使用説明書の誤りになどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system (DCF)：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。
- DPOF (Digital Print Order Format)：デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif (Exchangeable image file format) Version 2.2：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報をいかして最適なプリント出力を得ることができます。詳しくはプリンターの使用説明書をご参照ください。
- PictBridge：デジタルカメラとプリンターのメーカー各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接プリントするための標準規格です。

索 引

英数・マーク

1 コマ再生モード　26、27
AC アダプター　114
AF-MODE　61
AF エリア　6
AV ケーブル　70、114
BSS　90
DPOF　132
DPOF プリント　81
DSCN　115
D- ライティング　48
EN-EL10　2、12、14、114
FSCN　115
ISO 感度　29、33、42、91
Li-ion リチャージャブルバッテリー　iv、2、10、12、14、114
PictBridge　75、132
RSCN　115
SD カード　18、114
SD カードスロット　5、18
SD カードの初期化　19、110
SSCN　115
USB　72、74、76、111
USB ケーブル　73、76、114
.AVI　115
.JPG　115
.WAV　115
AE-L　41
（W）ボタン　5、23、27、45、46、50、53、64
（T）ボタン　5、23、27、45、46、50、53、64
（T）ボタン　5、11
（露出補正）　32
シーンモード　34
動画モード　58
（決定）ボタン　5、9
（転送）ボタン　5、71、73
（モード）ボタン　5、8
（オート撮影）モード　20
（音声データ再生）モード　67
（音声レコード）モード　65
（カレンダー）モード　54
（高感度）モード　33
（再生）モード　8
（撮影 / 再生切り換え）ボタン　5、8、26
（削除）ボタン　5、26、53、64
（撮影日一覧）モード　55
（セットアップ）モード　100
（セルフタイマー）　5、30
電子式手ブレ補正　5、28、49、61、92
（フラッシュモード）　5、28
（ブレ軽減）ボタン　5、42
（ブレ軽減）モード　42
（マクロモード）　5、31
MENU（メニュー）ボタン　5、9

ア

赤目軽減自動発光　28
圧縮率　84、85
インターバル撮影　89
インターフェース　111
打ち上げ花火　38
海・雪　36
液晶モニター　5、6、7、116
オート撮影モード　8、20
オートパワーオフ　109
オートフォーカス　24、25
オープニング画面　102
音声データコピー　69
音声データ再生　67
音声データ再生モード　8、67
音声入力 / 映像入力端子　70
音声メモ　52
音声レコードモード　8、65
音声録音　52、58、65
音量　53、64、68

カ

顔認識 AF　43、44
拡大表示　27、46
拡張子　115
画像コピー　99
画像サイズ　84
画像モード　21、34、42、44、84、85
画面の明るさ　106

カレンダーモード　8、54
逆光　39
強制発光　28
記録可能コマ数　6、20、85
記録可能時間　6、60
クイック拡大　27、46
クール　91
クローズアップ　38
蛍光灯　86
ケーブル接続端子　5、70、73、76
言語 / LANGUAGE　111
光学ズーム　23
高感度モード　8、33
高速起動　102

サ

再生　26、27、45
再生メニュー　9、94
再生モード　8
再生モードメニュー　8
削除　97
撮影　20、22、24
撮影日一覧モード　8、55
撮影メニュー　9、83
撮影モードメニュー　8
サムネイル表示モード　45
三脚ネジ穴　5
シーンモード　8、34
識別子　115
時差　105
自動発光　28
シャッター音　109
シャッターボタン　4、24
充電器　12、114
充電式バッテリー　114
常時 AF　61
初期化　19、110
白黒　91
シングル AF　61
ズーム　23
ズームボタン　5、23
ストップモーション　63
ストラップ　4
スピーカー　4、53、64、67
スポーツ　35
スモールピクチャー　51
スライドショー　96
スローシンクロ　28
晴天　86
設定音　109
設定クリアー　112
セットアップメニュー　100
セットアップモード　8、100
セピア　91
セルフタイマー　30
セルフタイマーランプ　4、30
操作音　109

タ

タイムゾーン　105
ダイレクトプリント　75
端子カバー　5、114
単写　88
誕生日カウンター　107、108
デート写し込み　82、107
テレビ　70
電球　86
電源　11、20
電源スイッチ　4、11、20
電源ランプ　4、11、20
電子式手ブレ補正　5、28、49、61、92
電子ズーム　23
転送設定　111
転送マーク設定　98
動画再生　64
動画撮影　58
動画設定　60
動画メニュー　59
動画モード　8、58
トリミング　50
トワイライト　37
曇天　86

ナ

内蔵フラッシュ　4、28
内蔵メモリー　6、7、18、21、26
内蔵メモリーの初期化　110
夏時間　16、103、104
日時設定　16、103
ノイズ低減　36

ハ
バージョン情報　113
パーティー　36
パソコン　71
発光禁止　28
バッテリー　iv、v、2、12、14、114、118
バッテリー残量　20
バッテリー室　5、14
バッテリーロックレバー　5、14、15
バッテリー/SD カードカバー　5、14、18
パノラマアシスト　39、40
半押し　24
ピクチャーカラー　91
微速度撮影　62
日付のプリント　82、107
ビデオ出力　70、111
ビビットカラー　91
標準カラー　91
ピント　24、25、35～39、61
ファイル名　115
フェイスクリアーメニュー　44
フェイスクリアーモード　8、43
フォーカスロック撮影　25
フォルダ名　115
フラッシュ　28、29
フラッシュランプ　5、29
プリセットホワイトバランス　87
プリンター　75
プリント　75、77、79、81
プリント指定　81、95
ブレ軽減モード　5、42
プロテクト設定　98
ベストショットセレクター　90
別売アクセサリー　114
ポートレート効果　44
ホワイトバランス　86

マ
マイク　4、52、58、65
マクロモード　31
マルチセレクター　5、9
マルチ連写　88
ミュージアム　38
メニュー切り換え　101
メモリー残量　20
モニター設定　106
モニター表示設定　106
モノクロコピー　39

ヤ
夜景　37
夜景ポートレート　36
夕焼け　37
用紙設定　77、79

ラ
リチウムイオン充電池　iv、12、14、114
連写　88
レンズ　4、129
露出補正　32

ワ
ワールドタイム　16、103

アフターサービスについて

■この製品の操作方法や修理についてのお問い合わせは

この製品の操作方法や修理について、ご質問がございましたら、ニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

- ニコンカスタマーサポートセンターにつきましては、使用説明書裏面をご覧ください。

●お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAX または郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

■修理を依頼される場合は

ご購入店、またはニコンサービスセンターにご依頼ください。

- ニコンサービスセンターにつきましては、「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。
- ご転居、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼することができない場合は最寄りの販売店、またはニコンサービスセンターにご相談ください。
- 修理に出されるときに、SD カードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後 5 年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ご購入店またはニコンサービスセンターへお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービスセンターにお任せください。

■インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社ホームページでご覧いただくことができます。
  http://www.nikon-image.com/jpn/support/index.htm
- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行

FAX:03-5977-7499

【お問い合わせ承り書】 太枠内のみご記入ください

お問い合わせ日：		年	月	日
お買い上げ日：		年	月	日
製品名：	シリアル番号：			
フリガナ お名前：				
連絡先ご住所：□自宅　□会社 〒 TEL: FAX:				
ご使用のパソコンの機種名： メモリー容量： OS のバージョン： その他接続している周辺機器名： ご使用のアプリケーションソフト名： ご使用の当社ソフトウェアのバージョン名：	ハードディスクの空き容量： ご使用のインターフェースカード名：			
問題が発生した時の症状、表示されたメッセージ、症状の発生頻度： （おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください）				

※ このページはコピーしてお使いください。

※ 整理番号：

Nikon

製品の使い方と修理に関するお問い合わせ

＜ニコンカスタマーサポートセンター＞

市内通話料でOK ナビダイヤル®

全国共通
☎ **0570-02-8000**
市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30〜18:00（年末年始、夏期休暇等を除く毎日）
携帯電話、PHS、IP電話等をご使用の場合は、
(03) 5977-7033 におかけください。
FAXでのご相談は、**(03) 5977-7499** におかけください。

音声によるご案内に従い、ご利用窓口の番号を入力してください。お問い合わせ窓口の担当者がご質問にお答えいたします。

修理サービスのご案内

修理サービスのご案内を下記URLにて行っております。
インターネットを利用して修理サービスの申し込みができます。
「修理見積り」、「修理状況」、「納期」などもご確認できますのでご利用ください。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/service/repair/index.htm

<インターネットを利用できない方のお問合せ>
ニコンカメラ販売（株）　サービス部　　**電話：(045) 500-3050**
営業時間：9:30〜17:30（土・日曜日、祝日、年末年始、夏期休業などを除く毎日）

株式会社 ニコン
ニコンカメラ販売株式会社

Printed in Japan
SB7B02(10)
6MA27810--